

平成29年度 川崎区区民アンケート 報告書

川崎区役所

目 次

第1章 調査の概要	1
1 調査目的	1
2 調査方法	1
3 調査項目	1
4 回収状況	1
5 調査結果を見る上での注意事項	1
6 標本誤差	2
第2章 回答者の属性	3
第3章 調査結果の詳細	6
1 川崎区の住みやすさについて	6
（1）川崎区の住みやすさ	6
（2）今後の定住意向	8
（3）川崎区の満足度	10
2 川崎区役所の事業や広報について	30
（1）川崎区役所が特に力を入れるべき事業	30
（2）川崎市(区)役所の取組・発行物や区内施設の認知度	33
（3）行政情報の入手手段	53
（4）「市政だより」で取り上げて欲しいテーマ	56
3 防災における自助の取組について	60
（1）自助の取組として実践している取組	60
4 町内会・自治会活動、近所付き合い、地域包括ケアシステムなどについて	63
（1）町内会・自治会への加入状況	63
（2）町内会・自治会に加入していない理由	66
（3）町内会・自治会に加入していないことによる不安	69
（4）近所付き合いの程度	71
（5）地域包括ケアシステムの認知度	74
（6）地域包括ケアシステムに関する行動	77
（7）困り事を相談できる人の有無	78
（8）介護や支援に関する相談相手	81
5 「区制50周年」・「東海道川崎宿起立400年」について	84
（1）「区制50周年」にあたり重視すべき視点	84
（2）「区制50周年」で行う事業	87
（3）「東海道川崎宿起立400年」の認知度	89
（4）「東海道川崎宿起立400年」で力を入れていく取組	91
第4章 調査票	93

第 1 章 調査の概要

1 調査目的

「川崎区区民アンケート」は、区民の区政に対する意見やニーズ等を把握し、区政運営の参考とすることを目的として実施しました。

2 調査方法

- (1) 調査の地域 川崎区全域
- (2) 調査の対象者 川崎区在住の満18歳以上の男女個人
- (3) 標本の抽出 住民基本台帳からの層化二段無作為抽出
- (4) 標本数 2,000標本
- (5) 調査方法 郵送法（郵送配布一郵送回収）
- (6) 調査期間 平成29年11月7日（火）～平成29年11月24日（金）
- (7) 調査委託機関 株式会社 アストジェイ

3 調査項目

1 川崎区の住みやすさについて	(問 1～問 3)
2 川崎区役所の事業や広報について	(問 4～問 7)
3 防災における自助の取組について	(問 8)
4 町内会・自治会活動、近所付き合いなどについて	(問 9～問16)
5 「区制50周年」・「東海道川崎宿起立400年」について	(問17～問20)

4 回収状況

有効回収数 820人
有効回収率 41.0%

5 調査結果を見る上での注意事項

- ・本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数である。
- ・百分率（％）の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示した。したがって、単数回答（1つだけ選ぶ問）においても、四捨五入の影響で、％を足し合わせて100％にならない場合がある。
- ・複数回答（2つ以上選んでよい問）においては、％の合計が100％を超える場合がある。
- ・本文、表、グラフは、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合がある。

6 標本誤差

この調査結果を見る場合に、考慮すべき統計上の誤差がある。考慮すべき誤差（標本誤差）の大きさは、回答者数（標本数）が少ないほど大きく、また、回答比率が低いほど大きくなる。下記の表は、今回の調査結果の標本誤差を示したものである。例えば、調査の中のある設問の回答者数が820人であり、Aと回答した人の比率が60%だった場合、その結果を全体（母集団）の結果として考える時に、Aの回答比率は55.2%～64.8%であるとみることができる。

●今回の調査結果の標本誤差

回答比率 (p) n	90%または 10%程度	80%または 20%程度	70%または 30%程度	60%または 40%程度	50%程度
820	±3.0%	±4.0%	±4.5%	±4.8%	±4.9%
600	±3.5%	±4.6%	±5.3%	±5.7%	±5.8%
400	±4.2%	±5.7%	±6.5%	±6.9%	±7.1%
200	±6.0%	±8.0%	±9.2%	±9.8%	±10.0%
100	±8.5%	±11.3%	±13.0%	±13.9%	±14.1%

※ 上表は $\frac{N-n}{N-1} \div 1$ として算出している。

〈注／この表の見方〉

標本誤差とは、今回のように全体（母集団）の中から一部を抽出して行う標本調査では、全体を対象に行った調査と比べ、調査結果に差が生じることがあり、その誤差のことをいう。この誤差は、標本の抽出方法や標本数によって異なるが、その誤差を数学的に計算することが可能である。その計算式を今回の調査にあてはめて算出したのが、上記の表である。

標本誤差は次式で得られ、①比率算出の基数（n）、②回答の比率（p）によって誤差幅が異なる。

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

{

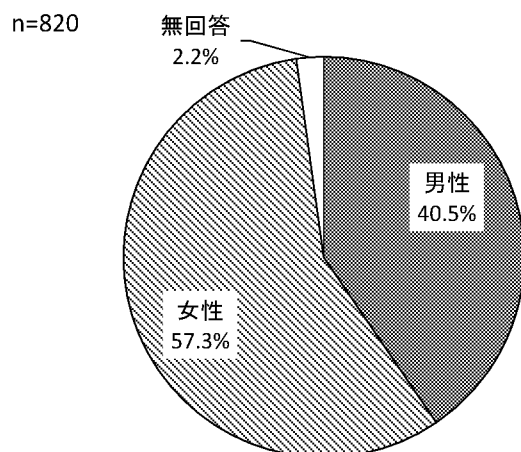
N = 母集団数（川崎区の18歳以上人口）

n = 比率算出の基数（回答者数）

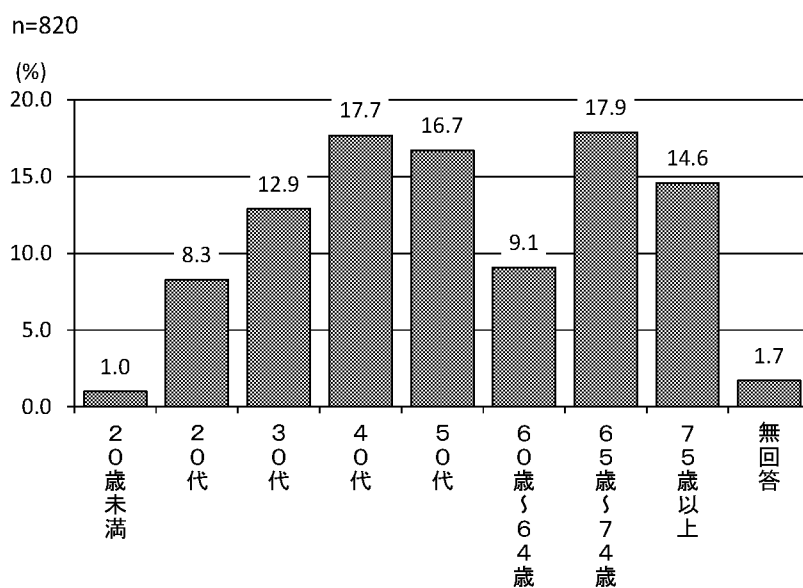
p = 回答の比率（%）

第2章 回答者の属性

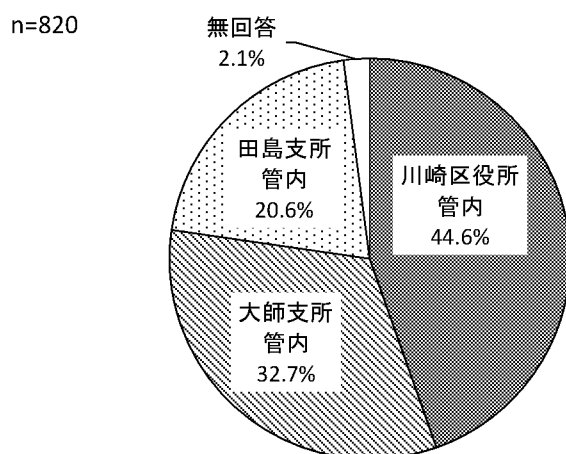
1 性別



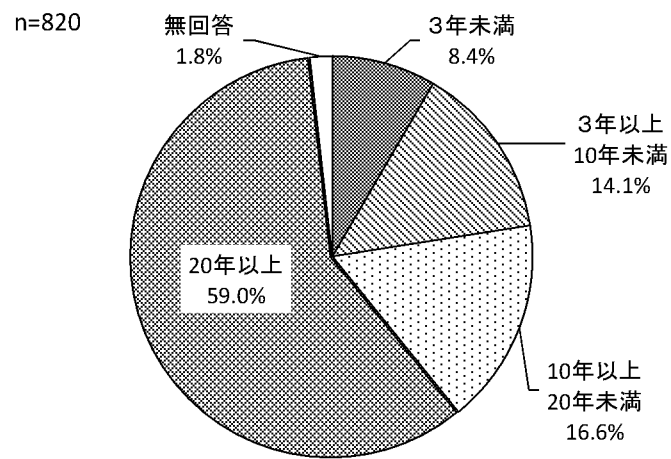
2 年齢



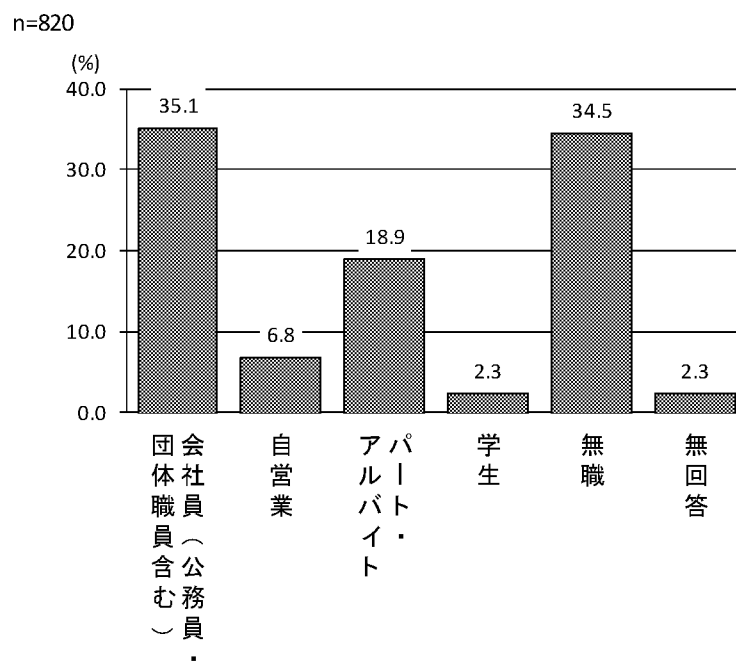
3 居住地区



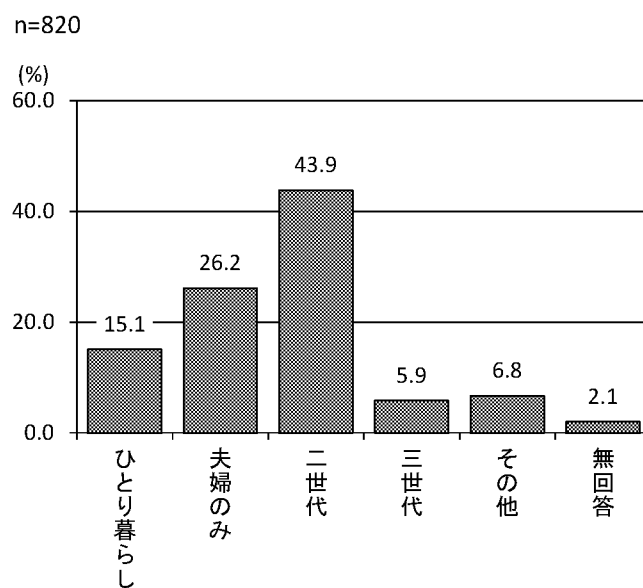
4 居住年数



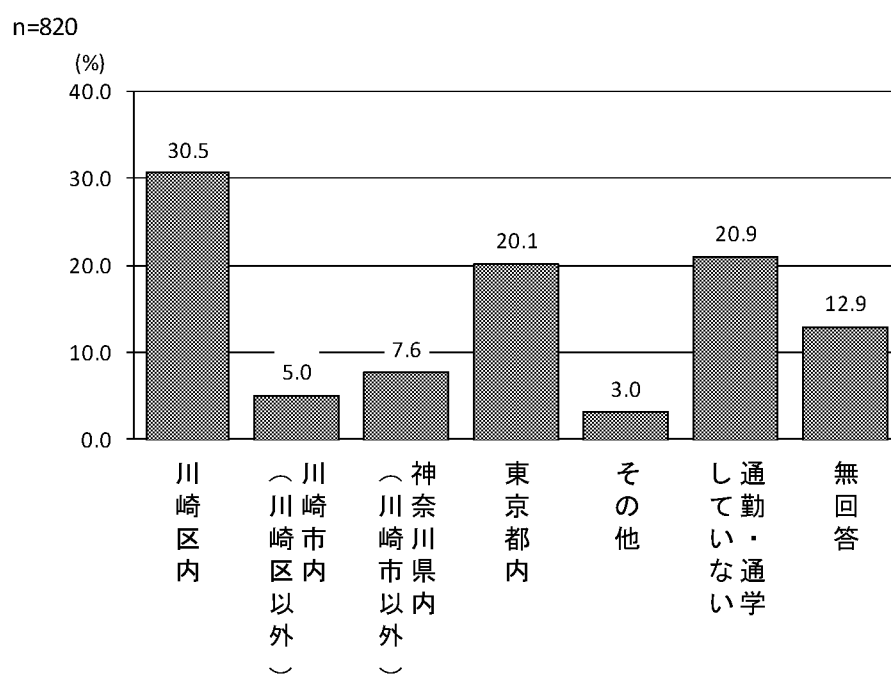
5 職業



6 世帯構成



7 通勤先・通学先



第3章 調査結果の詳細

1 川崎区の住みやすさについて

(1) 川崎区の住みやすさ

問1 川崎区の住みやすさをどのように思われますか。(あてはまるもの1つに○)

全 体 「どちらかといえば住みやすい」(53.8%)、「とても住みやすい」(26.8%)を合わせた<住みやすい>が80.6%となっている。平成27年度の結果と比較すると、<住みやすい>が4.1ポイント低くなっている。(図1-1-1)

性 別 <住みやすい>では「女性」(81.9%)が「男性」(80.7%)を1.2ポイント上回っている。(図1-1-2)

性年代別 <住みやすい>では、「男性30代」(86.4%)が最も高く、次いで「女性60代以上」(84.7%)、「女性20代以下」(84.3%)、「女性50代」(83.1%)となっている。一方、「とても住みにくい」、「どちらかといえば住みにくい」を合わせた<住みにくい>は、「男性50代」(11.2%)が最も高く、次いで女性30代(9.7%)となっている。(図1-1-2)

図1-1-1 川崎区の住みやすさ

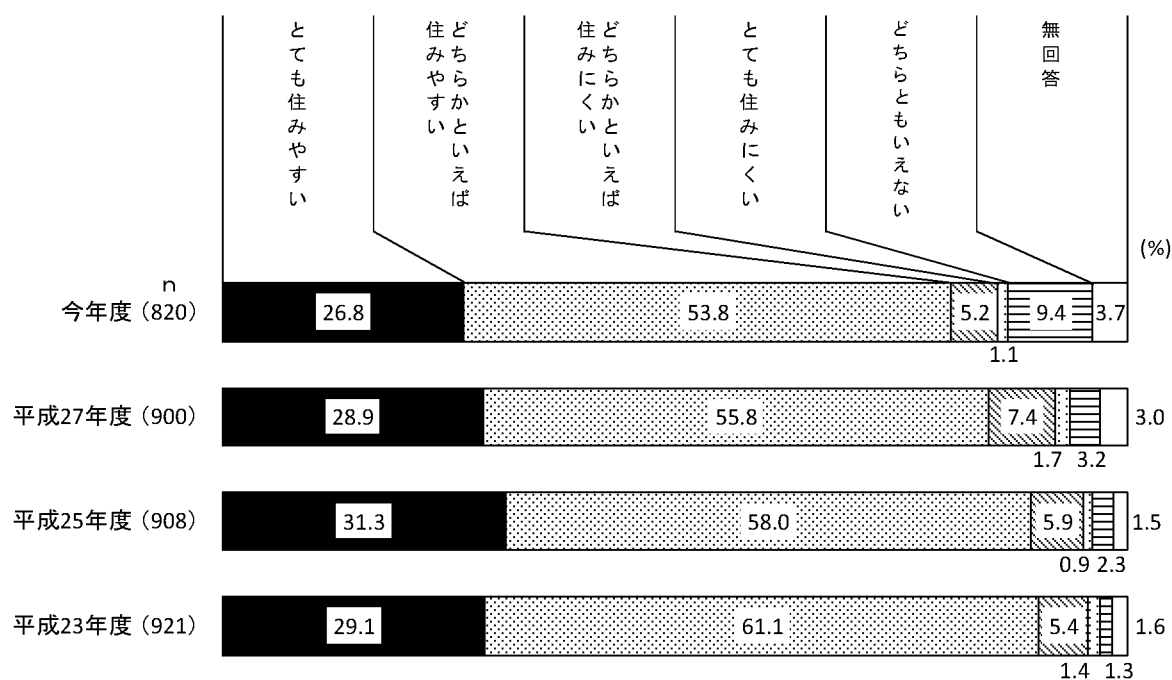
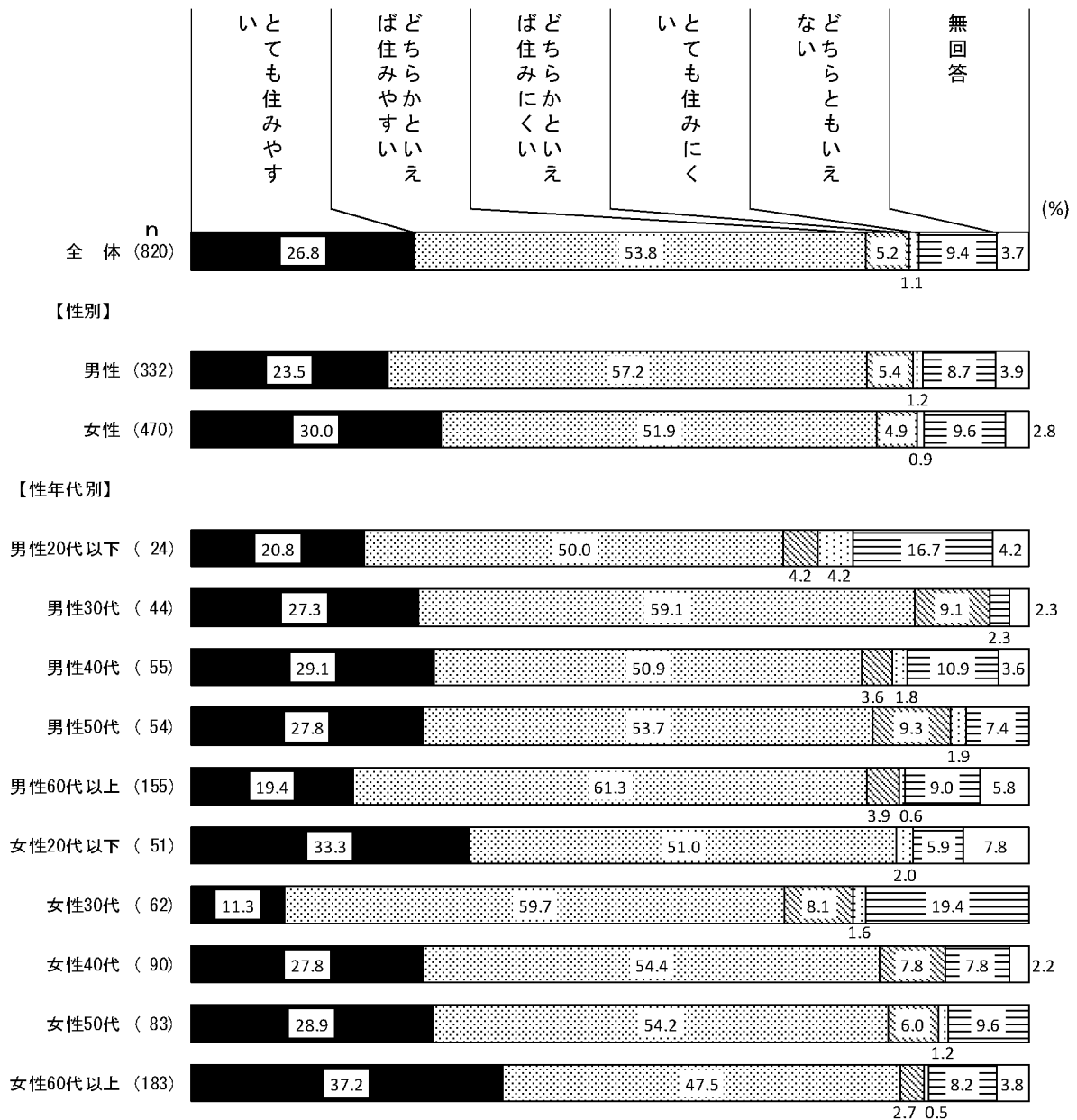


図 1－1－2 川崎区の住みやすさ <性別・性年代別>



(2) 今後の定住意向

問2 川崎区に住み続けたいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

全 体 「これからも住んでいたい」(67.1%)が最も高く、次いで「わからない」(16.3%)、「できれば市外へ移りたい」(8.7%)となっている。(図1-2-1)

性 別 性別では、とくに大きな差はみられなかった。(図1-2-2)

性年代別 「これからも住んでいたい」では、年齢が高くなるにつれて割合が高くなる傾向にあり、「女性60代以上」(81.4%)は8割を超えている。一方、「できれば市外へ移りたい」は、「女性30代」(16.1%)が最も高くなっている。(図1-2-2)

図1-2-1 今後の定住意向

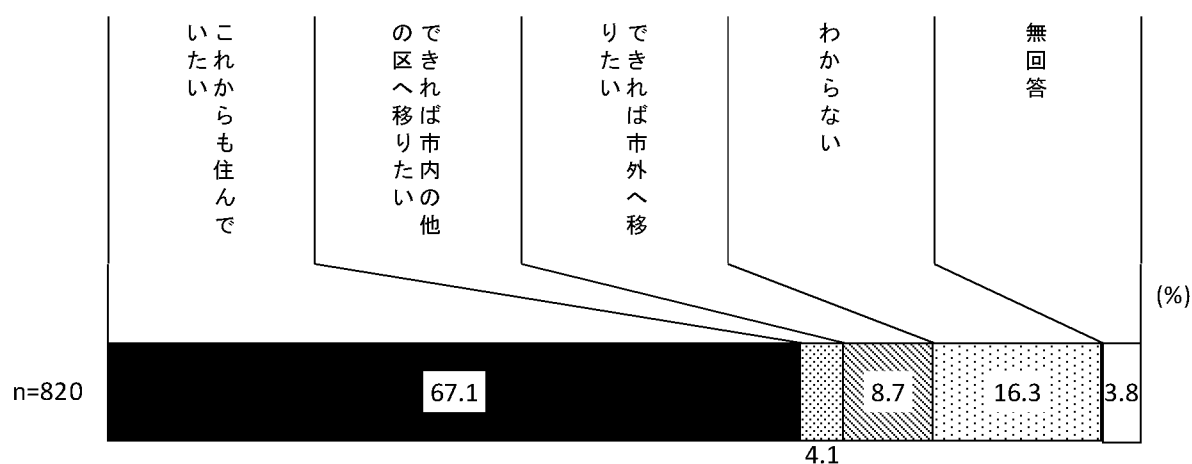
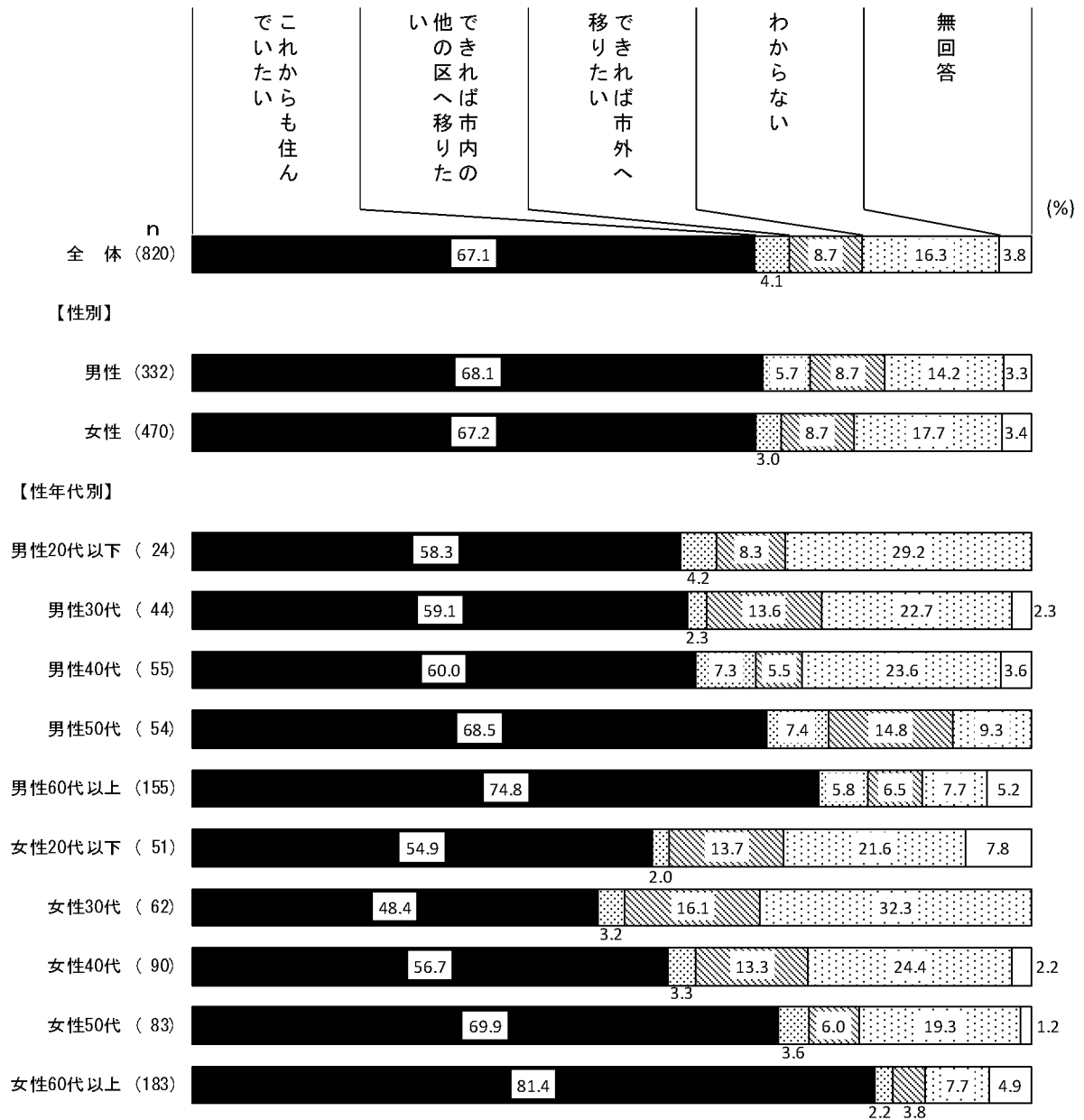


図 1－2－2 今後の定住意向 <性別・性年代別>



(3) 川崎区の満足度

問3 次の表にあげる項目の、満足度を教えてください。(①から⑱までの項目ごとに、あてはまるもの1つに○)

全 体 「満足」では「バス・電車などの交通の便」(51.0%)が最も高く、次いで「買い物などの日常生活の利便性」(48.2%)と続いている。一方、「不満」では「治安や風紀」(13.4%)、「放置自転車対策」(13.4%)などが高くなっている。

(図1-3-1)

性 別 「満足」では「地震や風水害などの災害対策」、「病院や救急医療などの地域医療の状況」などの12項目で「男性」が「女性」より高くなっている。一方、「買い物などの日常生活の利便性」、「バス・電車などの交通の便」などの7項目で「女性」が「男性」より高くなっている。(図1-3-3)、(図1-3-4)、(図1-3-5)、(図1-3-14)

図1-3-1 川崎区の満足度

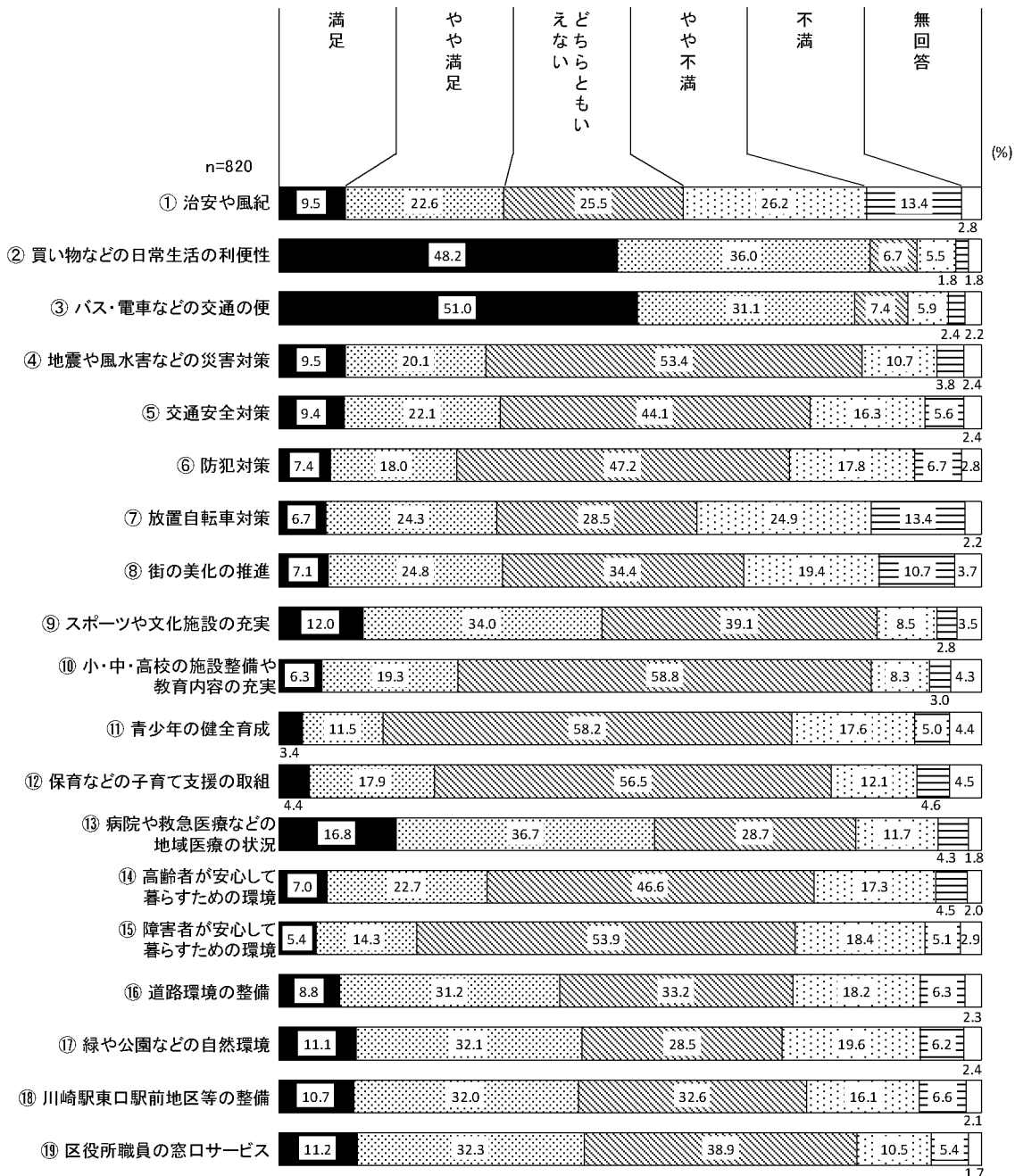


図 1－3－2 川崎区の満足度 ①治安や風紀 <性別・性年代別>

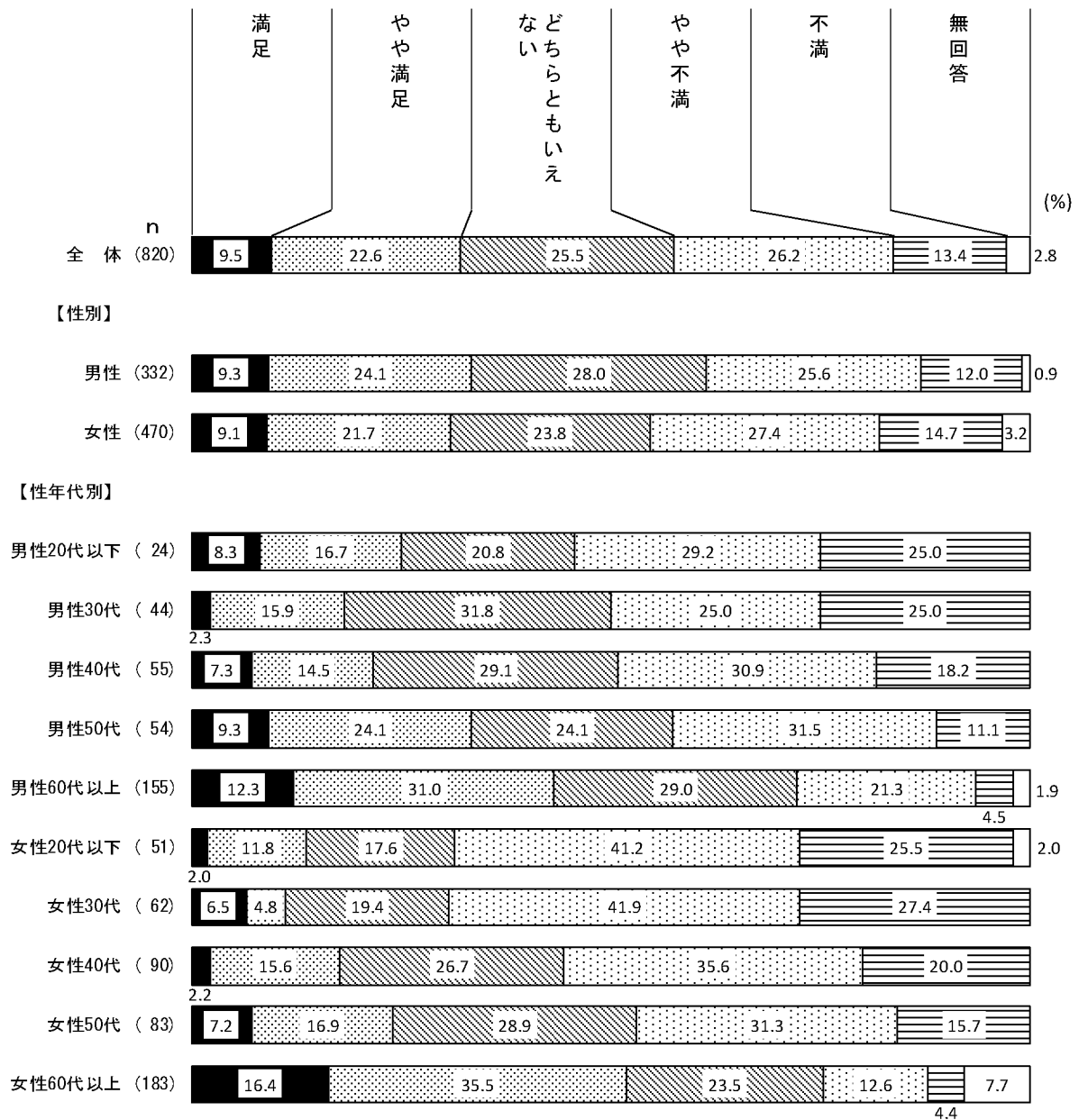


図 1－3－3 川崎区の満足度 ②買い物などの日常生活の利便性 <性別・性年代別>

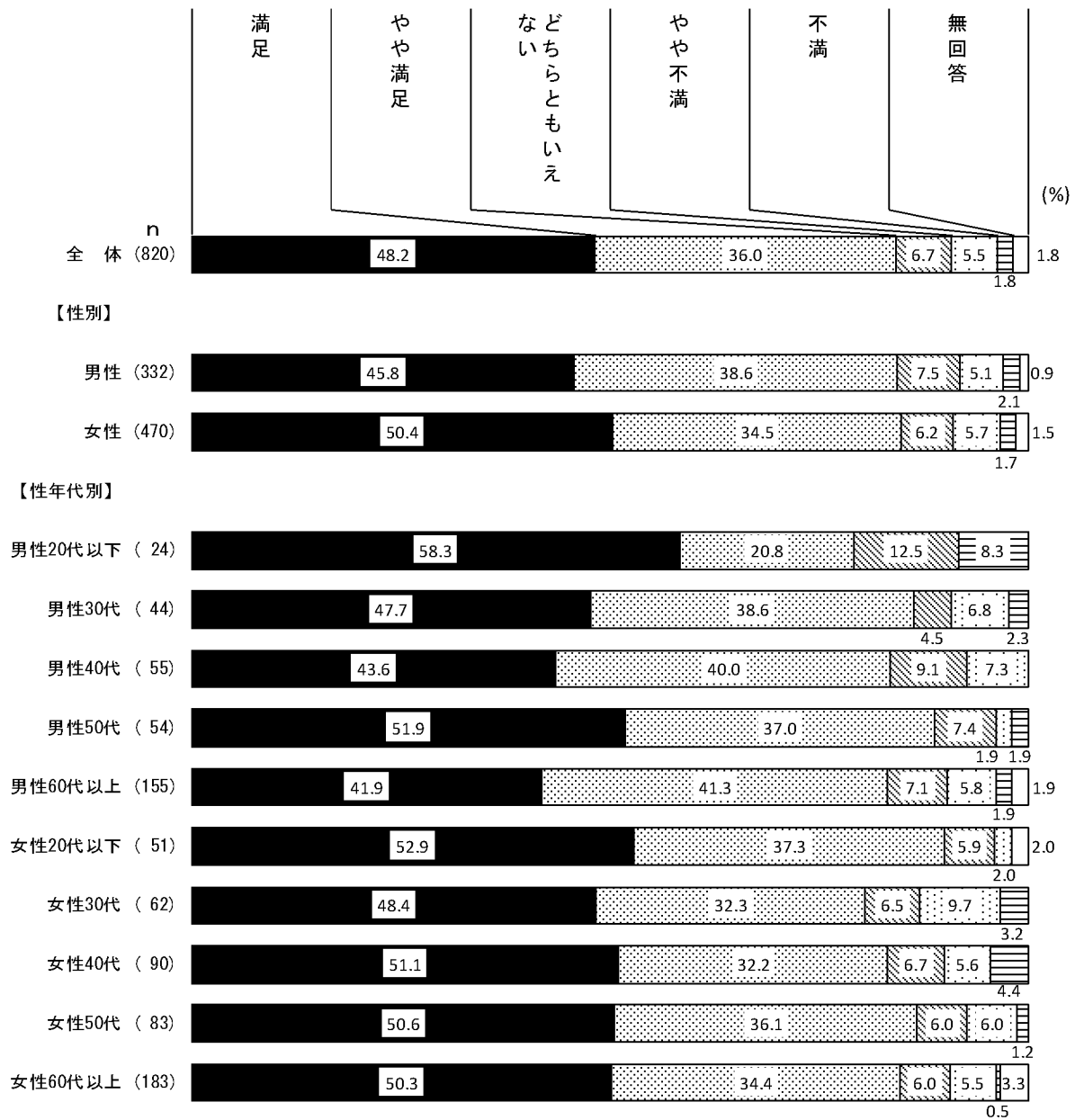


図 1－3－4 川崎区の満足度 ③バス・電車などの交通の便 <性別・性年代別>

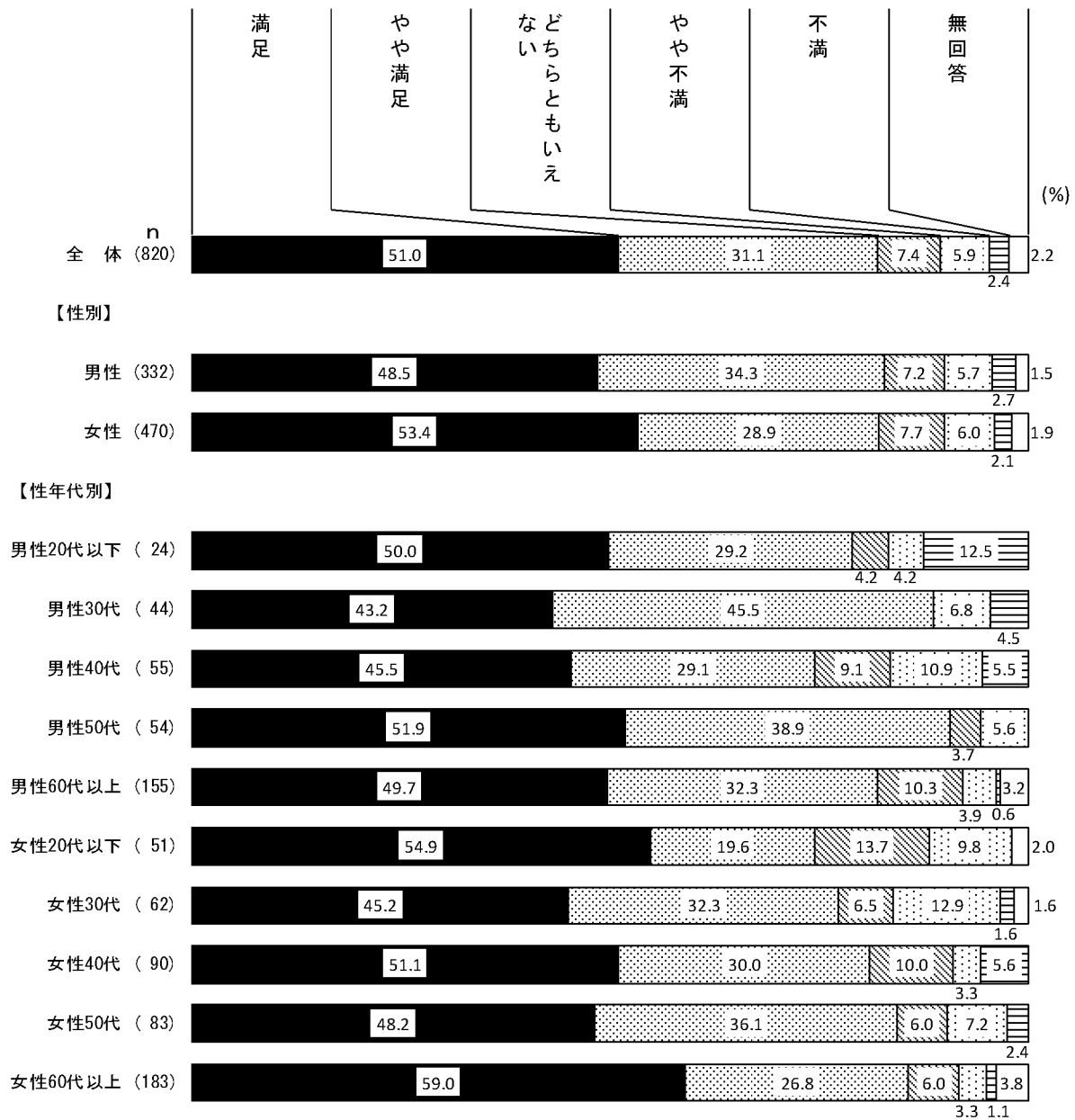


図 1－3－5 川崎区の満足度 ④地震や風水害などの災害対策 <性別・性年代別>

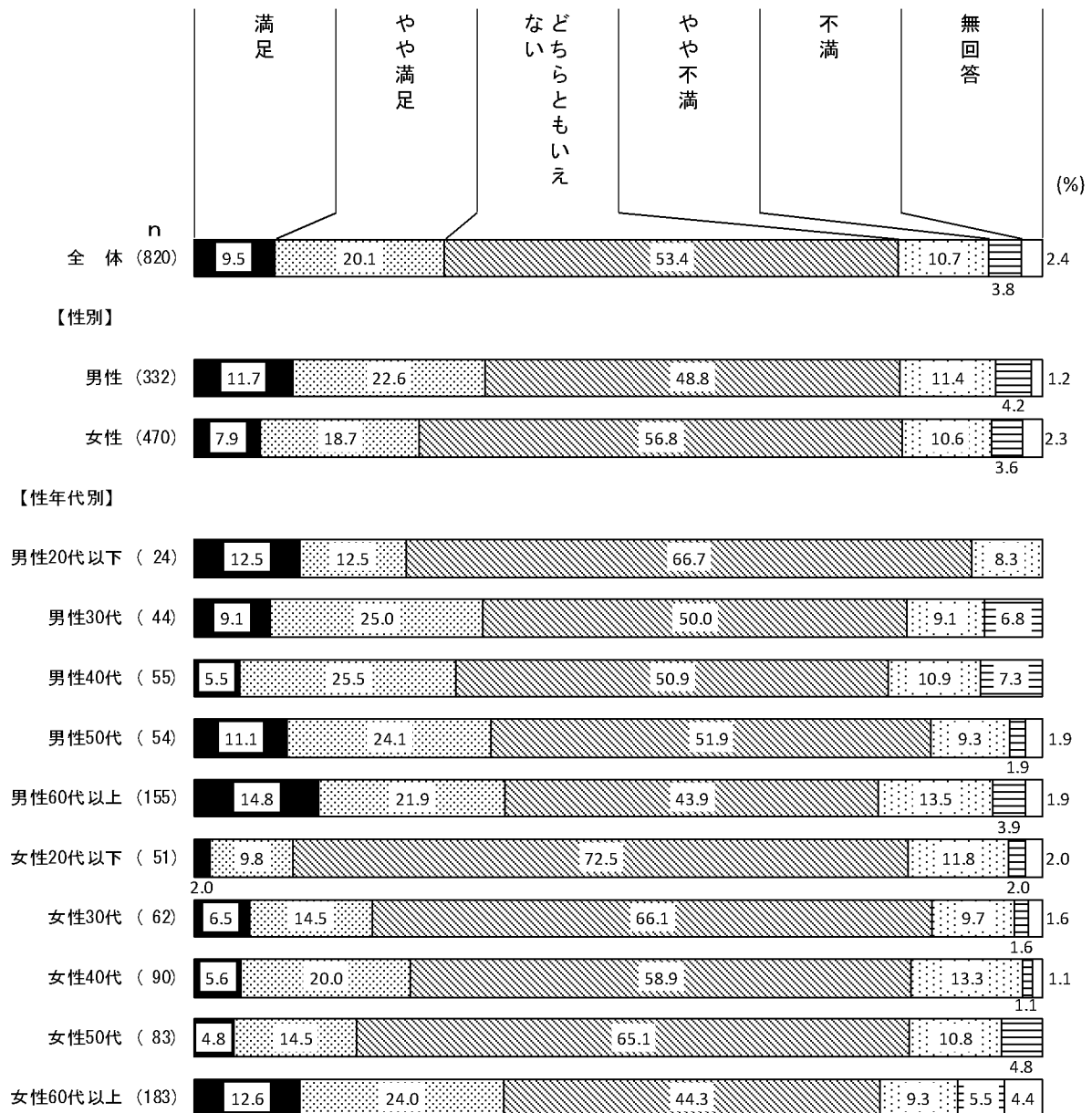


図1-3-6 川崎区の満足度 ⑤交通安全対策 <性別・性年代別>

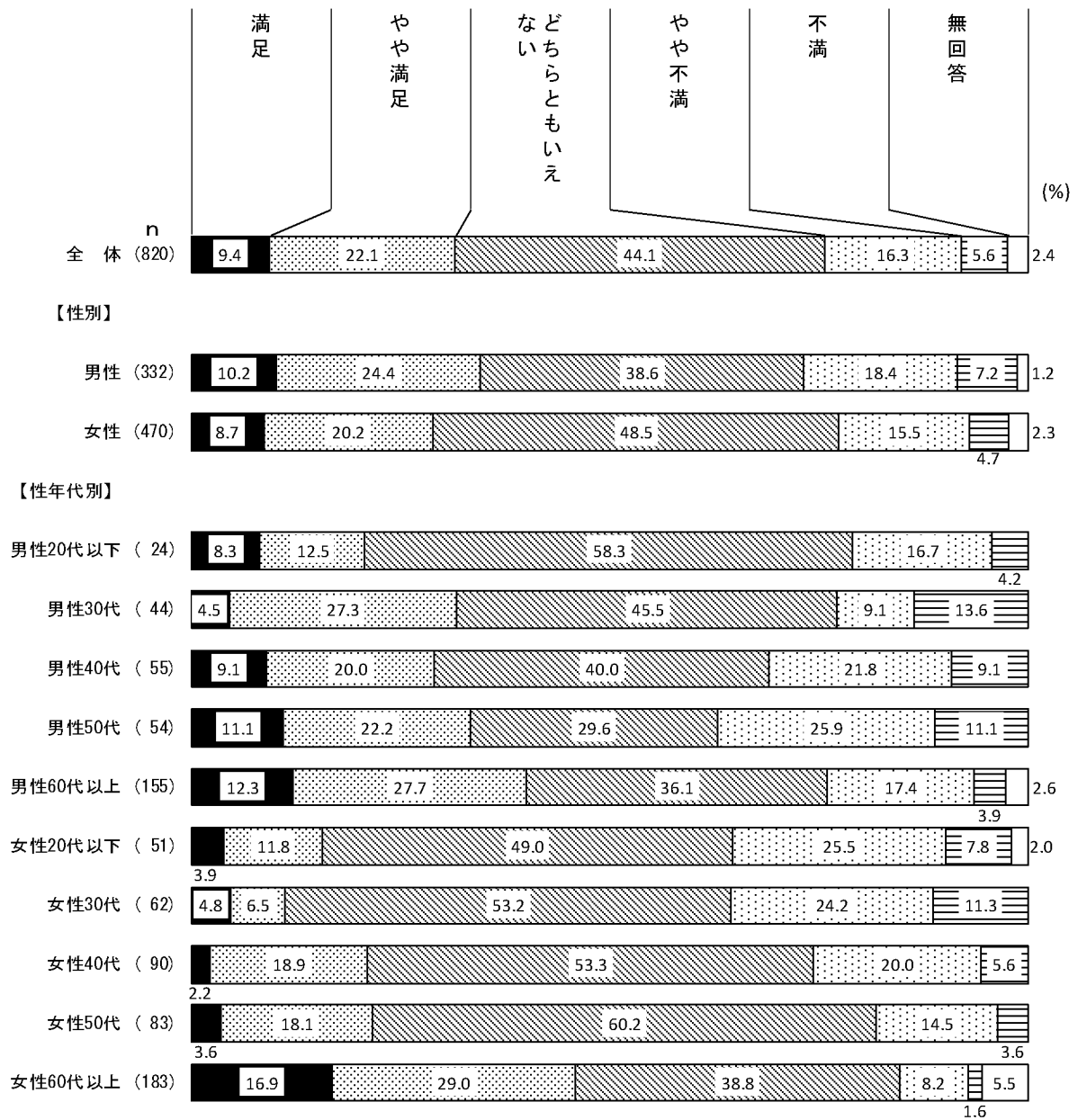


図 1－3－7 川崎区の満足度 ⑥防犯対策 ＜性別・性年代別＞

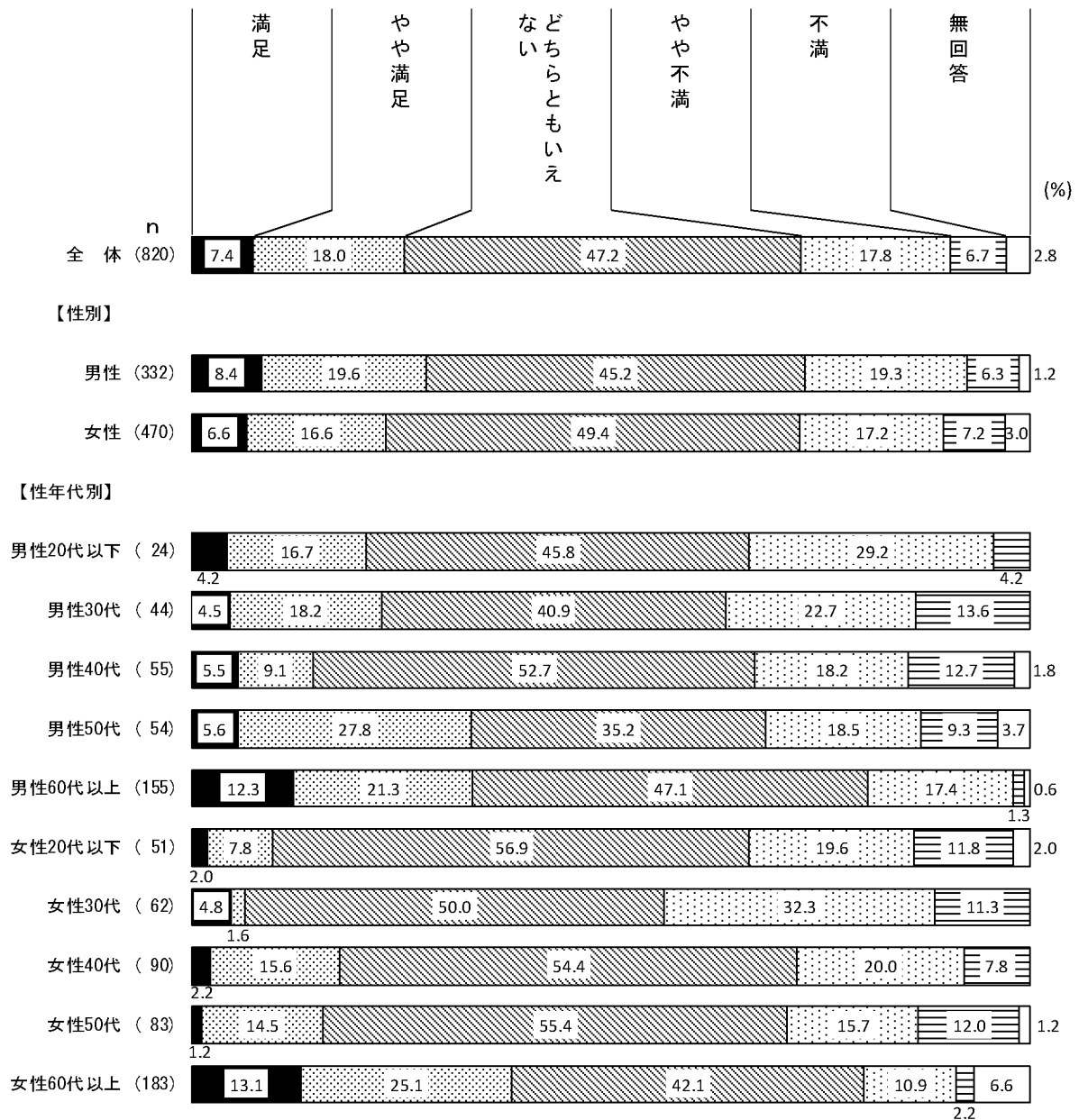


図 1－3－8 川崎区の満足度 ⑦放置自転車対策 <性別・性年代別>

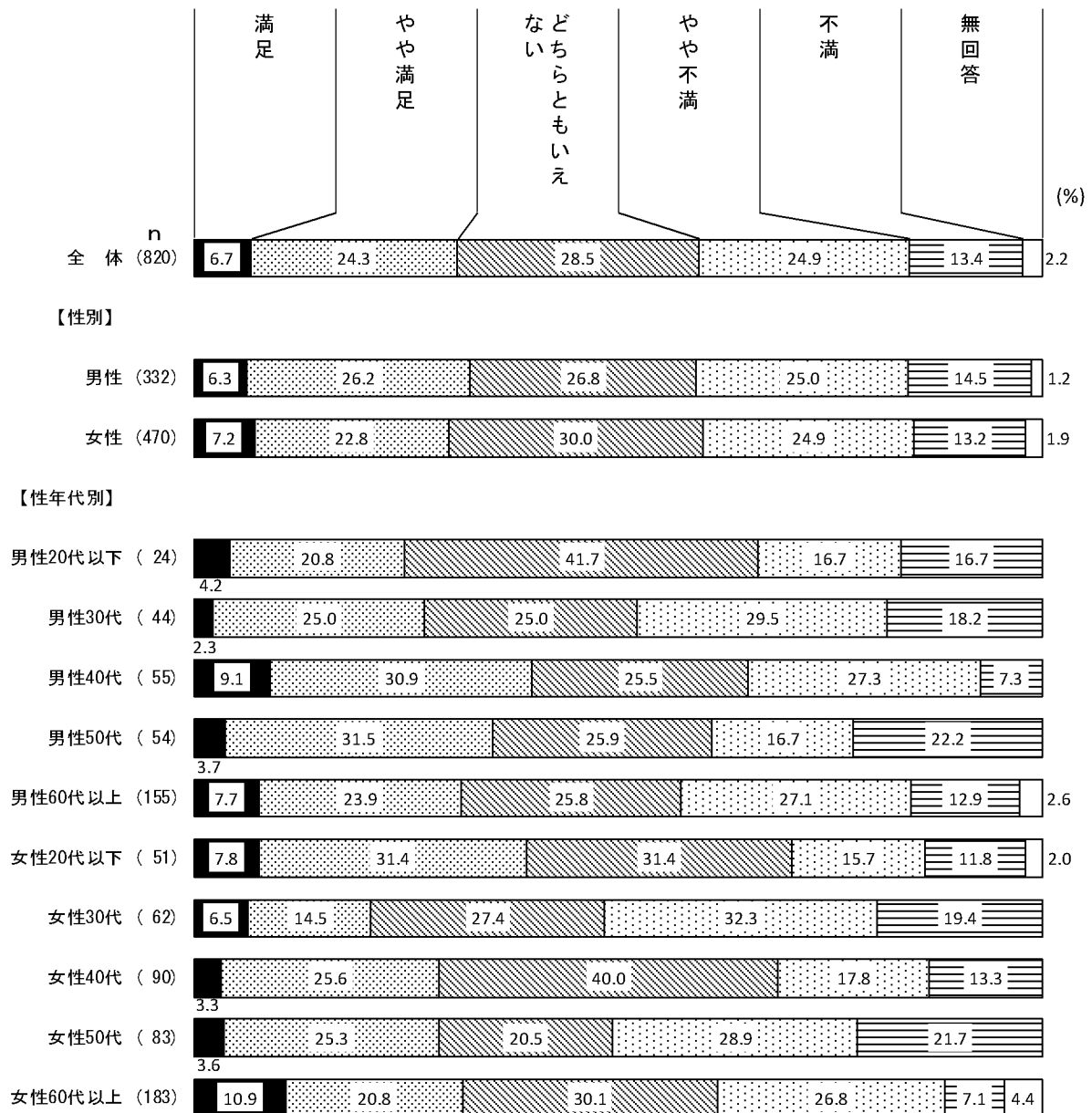


図 1－3－9 川崎区の満足度 ⑧街の美化の推進 <性別・性年代別>

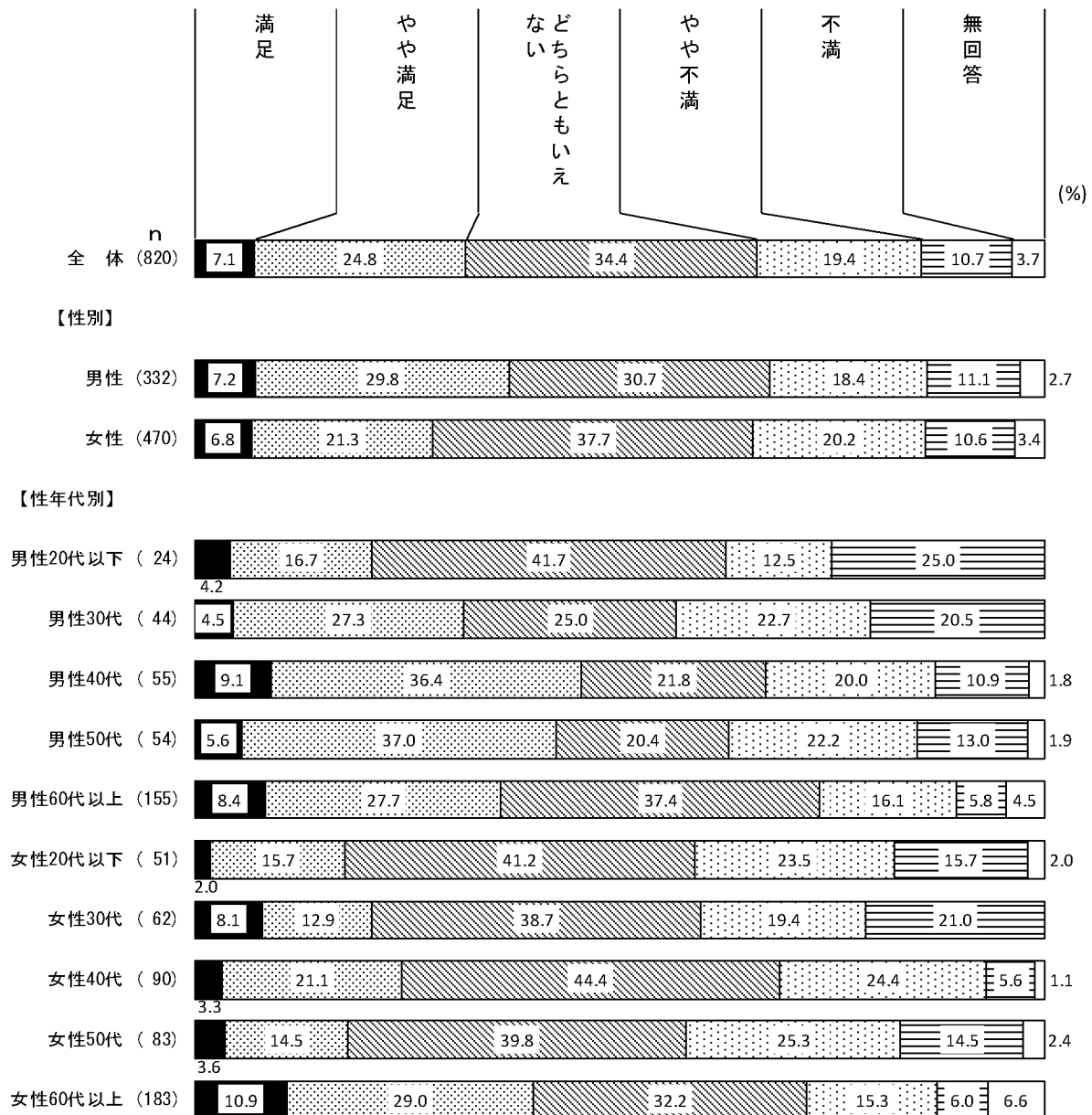


図 1－3－10 川崎区の満足度 ⑨スポーツや文化施設の充実 <性別・性年代別>

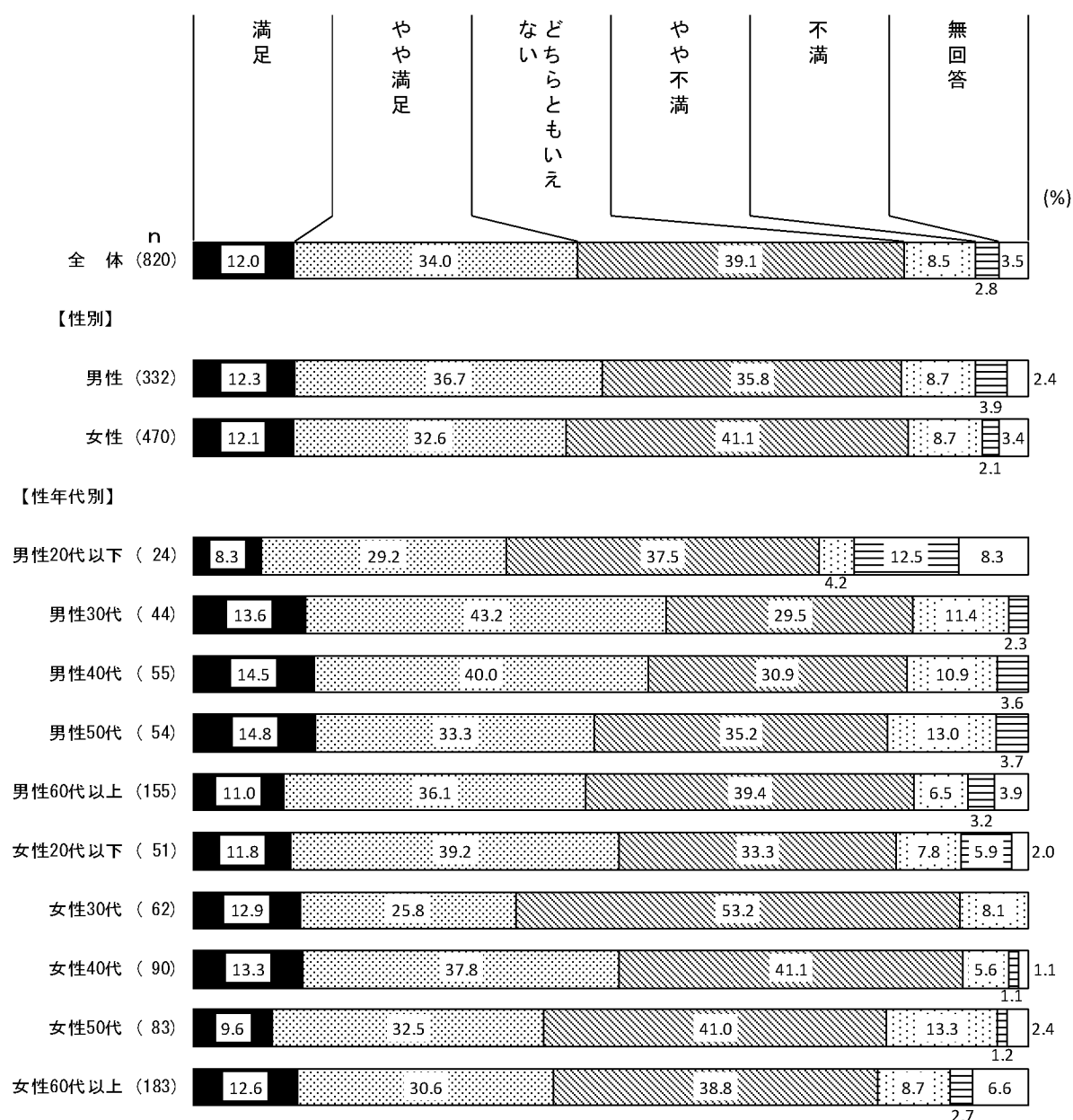


図 1-3-11 川崎区の満足度 ⑩小・中・高校の施設整備や教育内容の充実 <性別・性年代別>

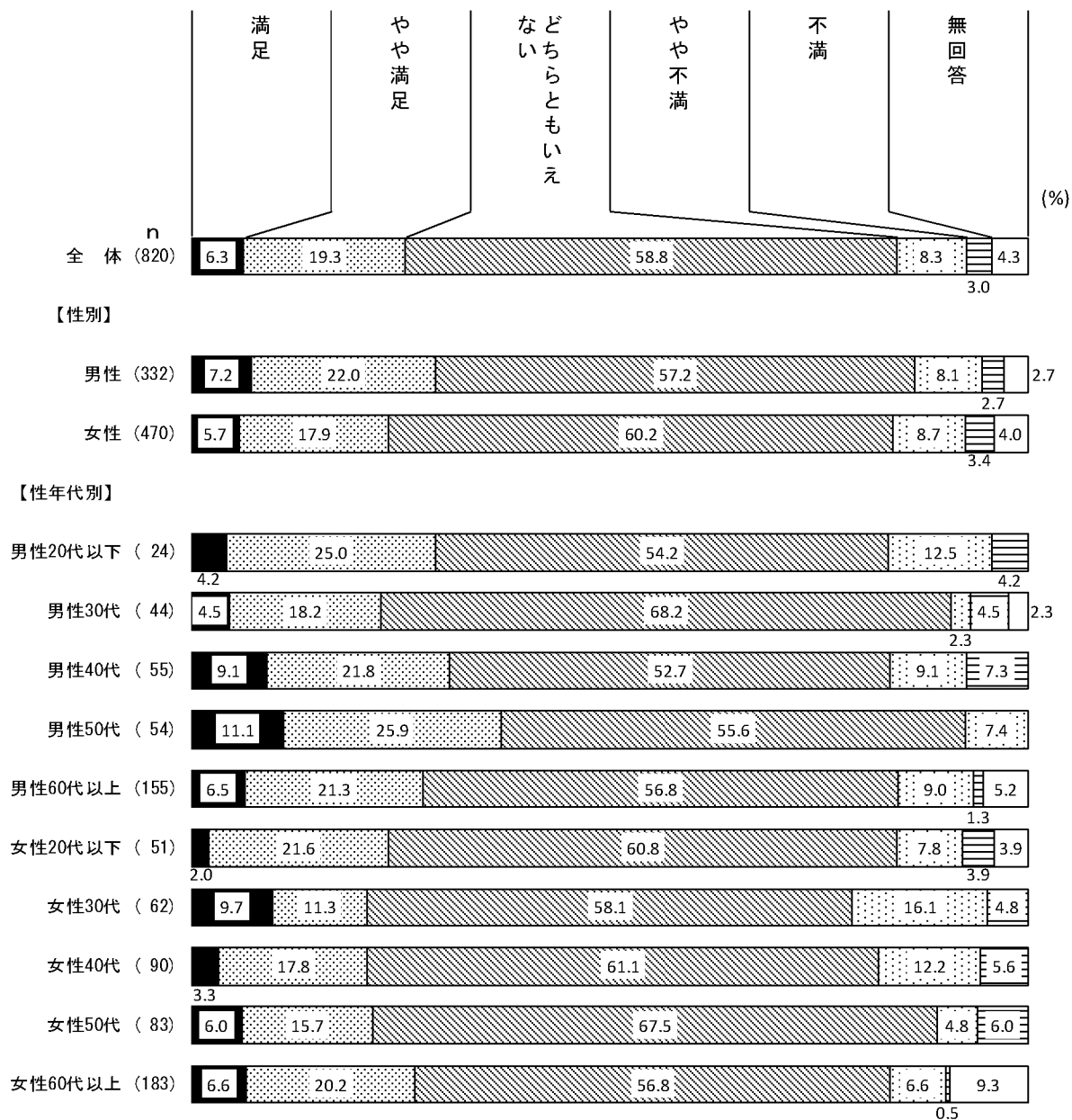


図 1－3－12 川崎区の満足度 ⑪青少年の健全育成 <性別・性年代別>

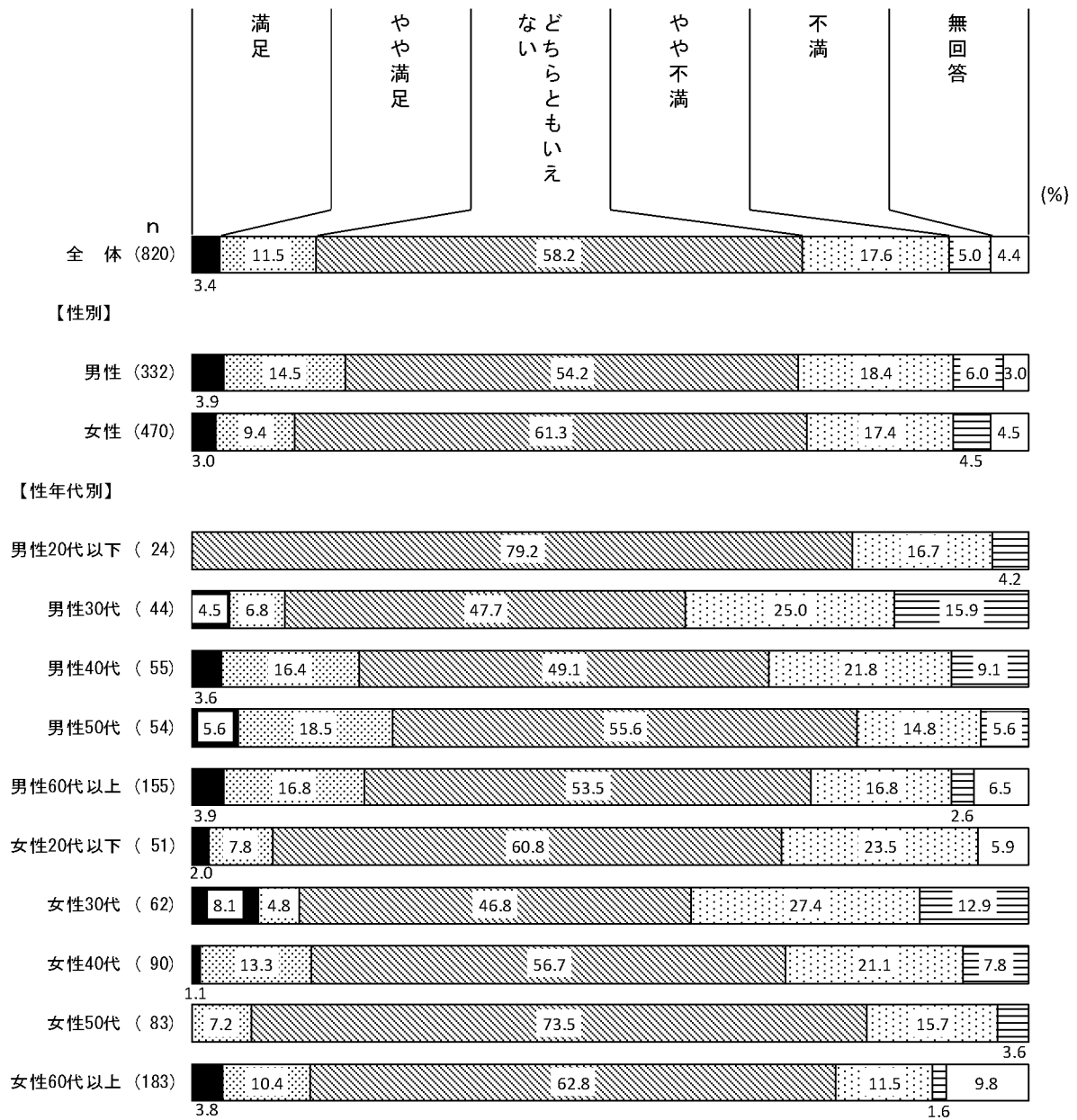


図 1－3－1 3 川崎区の満足度 ⑫保育などの子育て支援の取組 ＜性別・性年代別＞

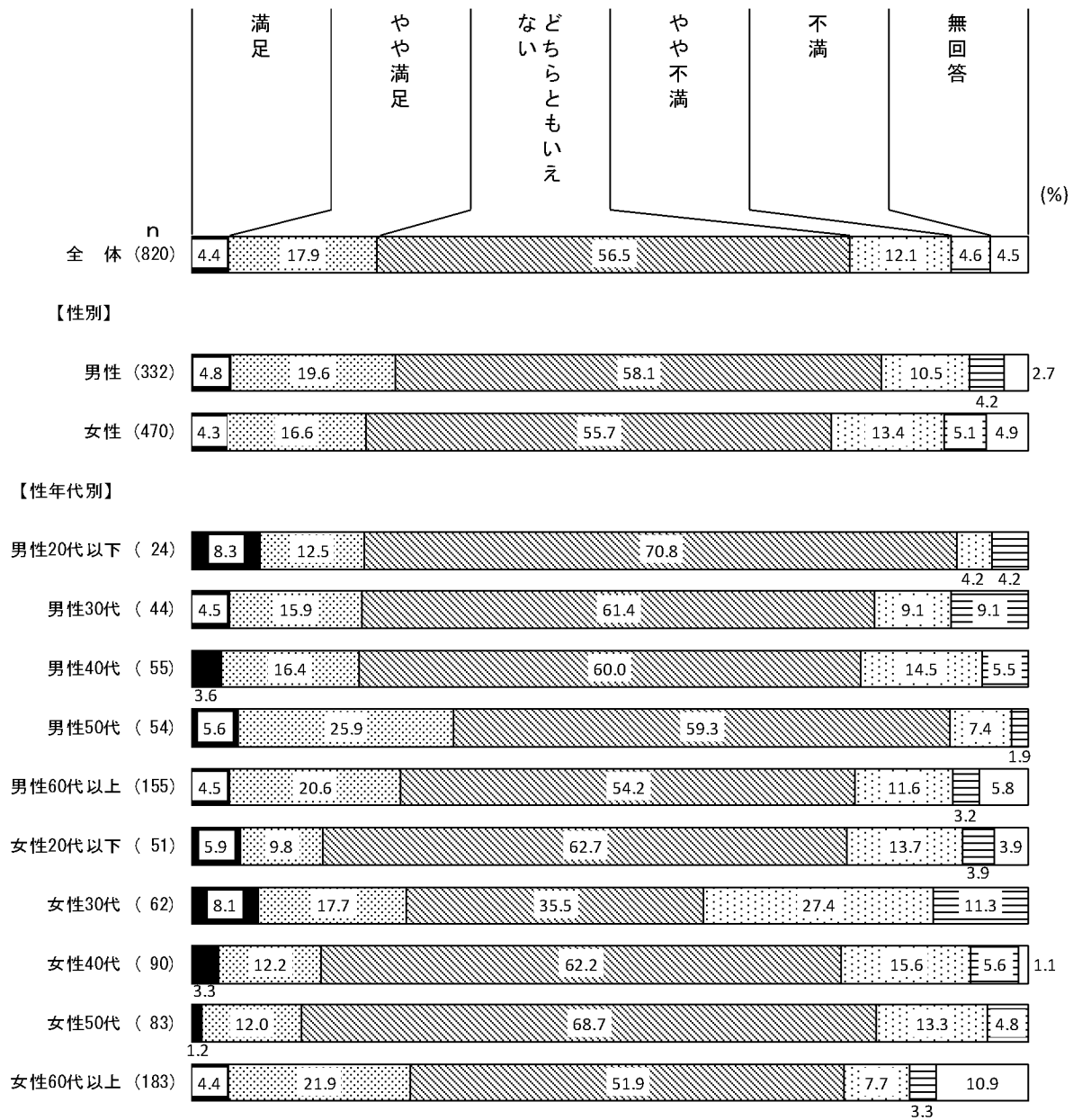


図 1－3－1 4 川崎区の満足度 ⑬病院や救急医療などの地域医療の状況 <性別・性年代別>

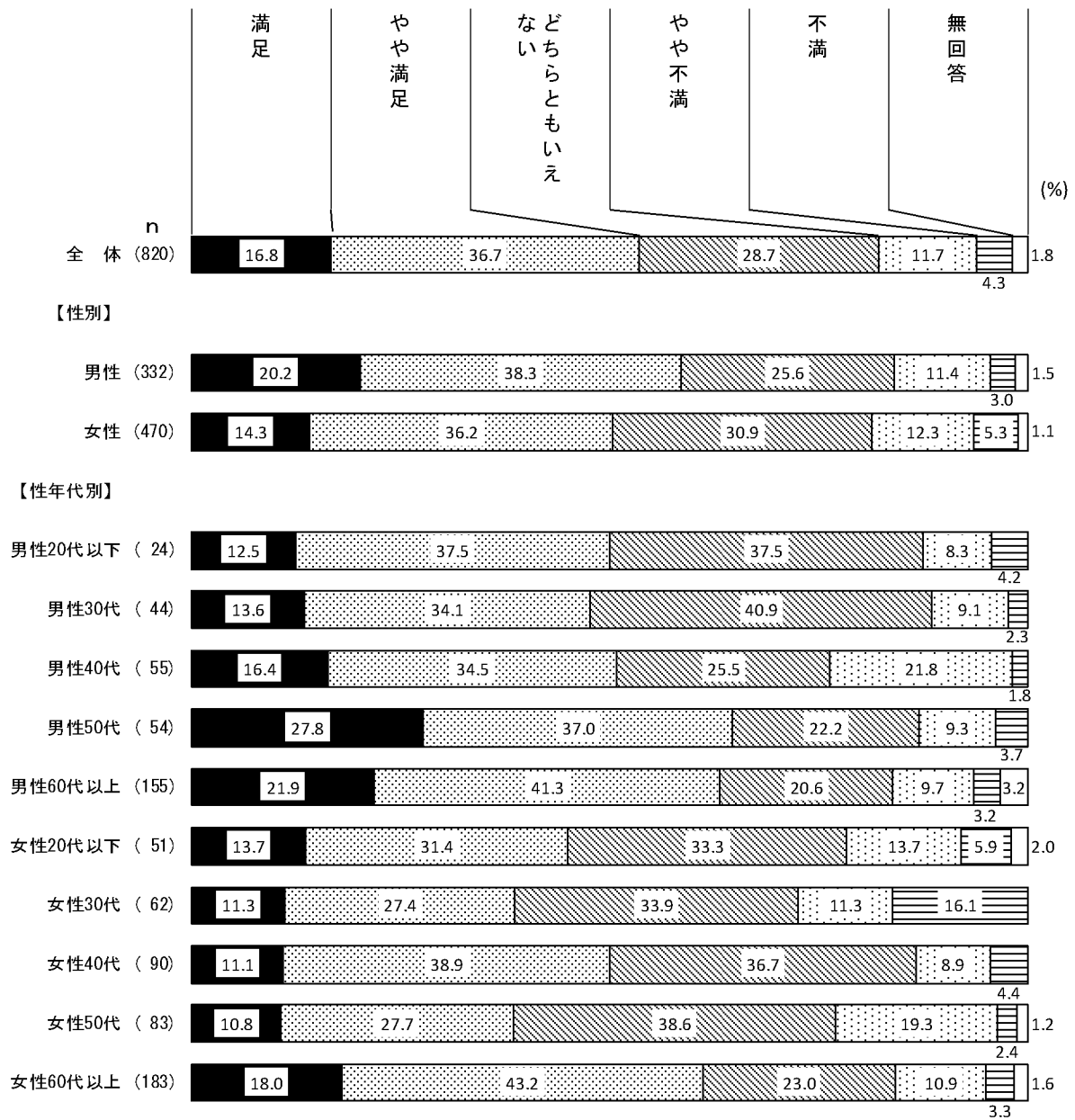


図1-3-15 川崎区の満足度 ⑭高齢者が安心して暮らすための環境 <性別・性年代別>

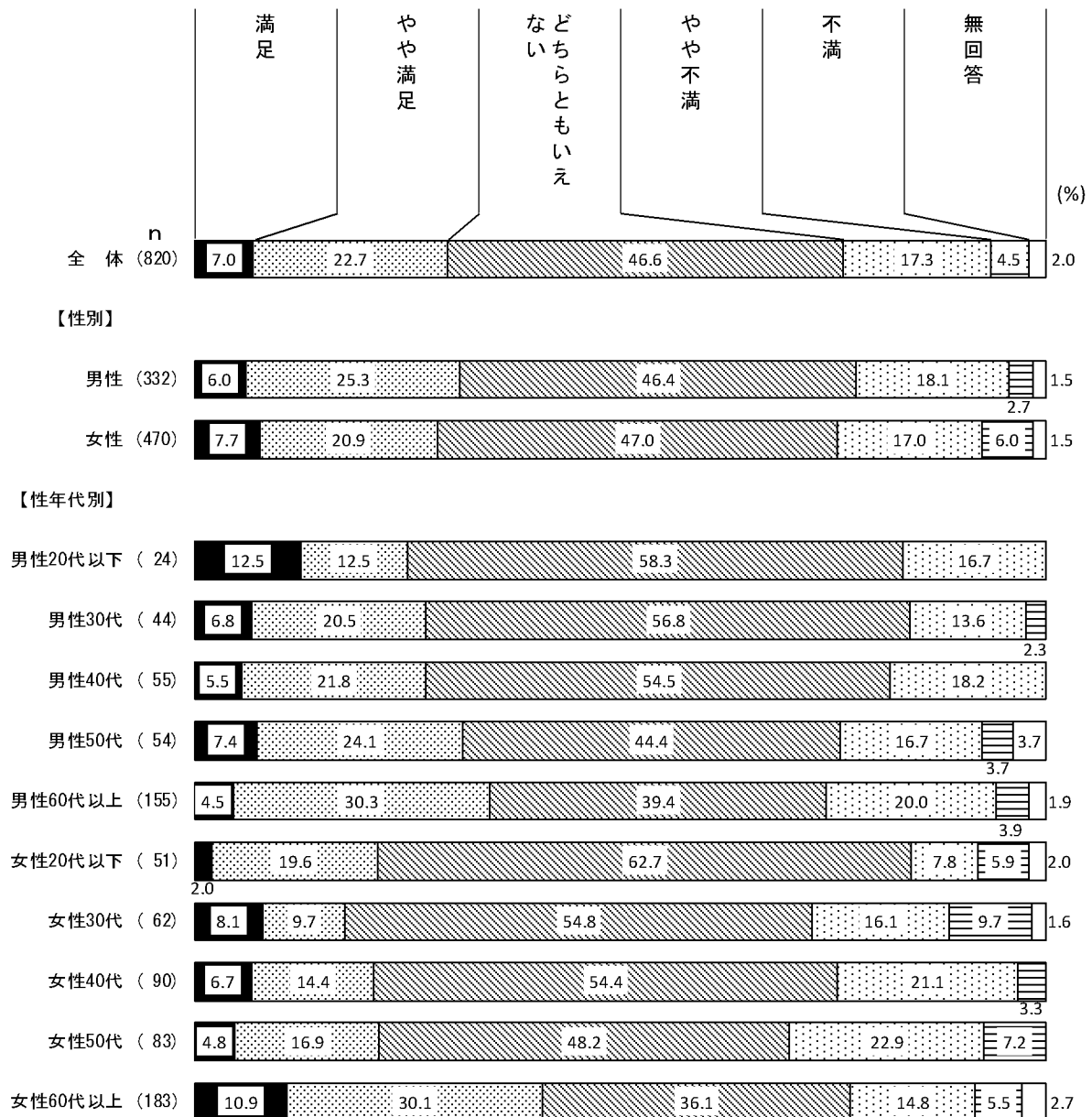


図1-3-16 川崎区の満足度 ⑮障害者が安心して暮らすための環境 <性別・性年代別>

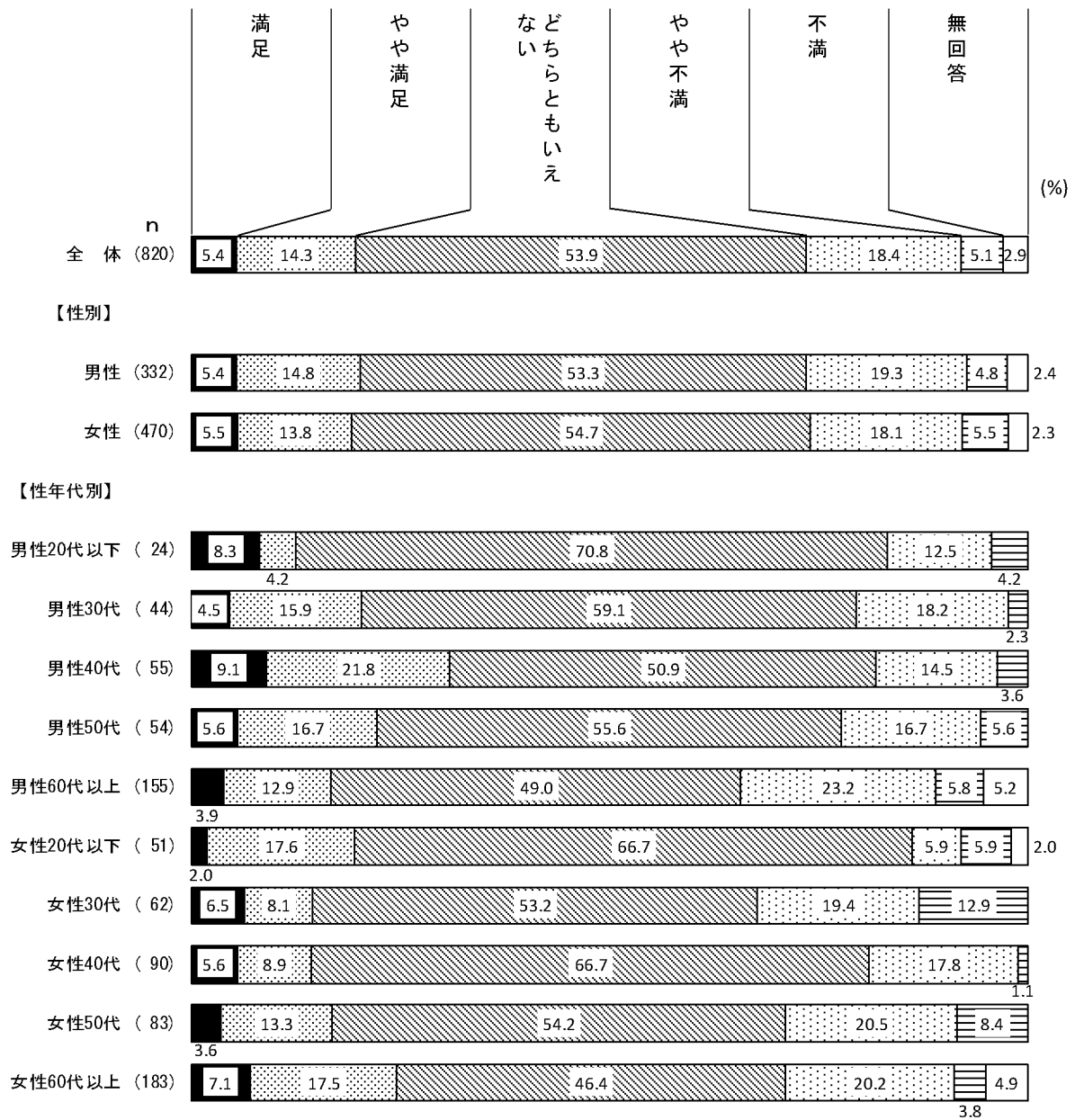


図1-3-17 川崎区の満足度 ⑩道路環境の整備 <性別・性年代別>

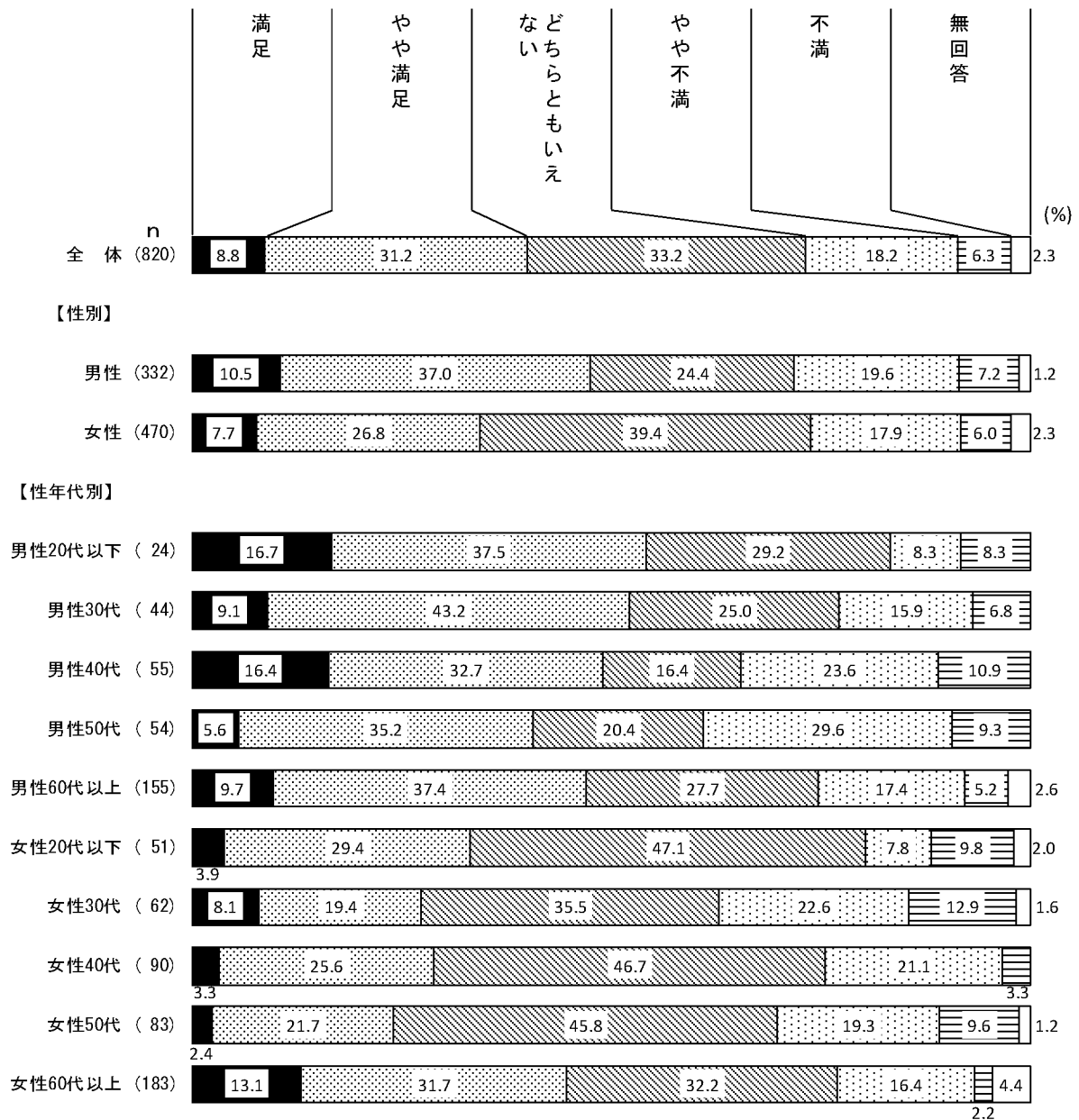


図 1－3－18 川崎区の満足度 ⑪緑や公園などの自然環境 <性別・性年代別>

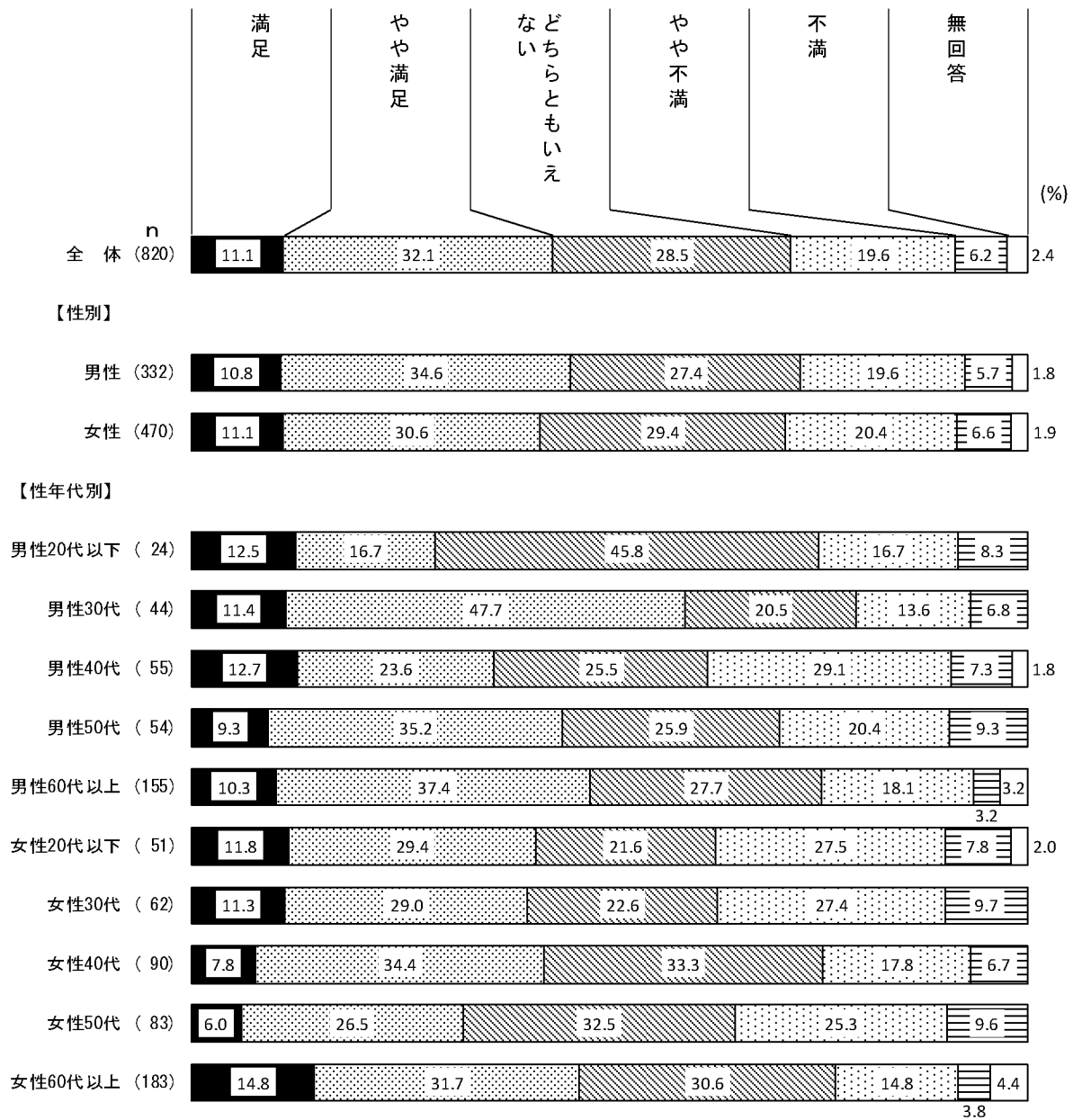


図 1－3－19 川崎区の満足度 ⑩川崎駅東口駅前地区等の整備 <性別・性年代別>

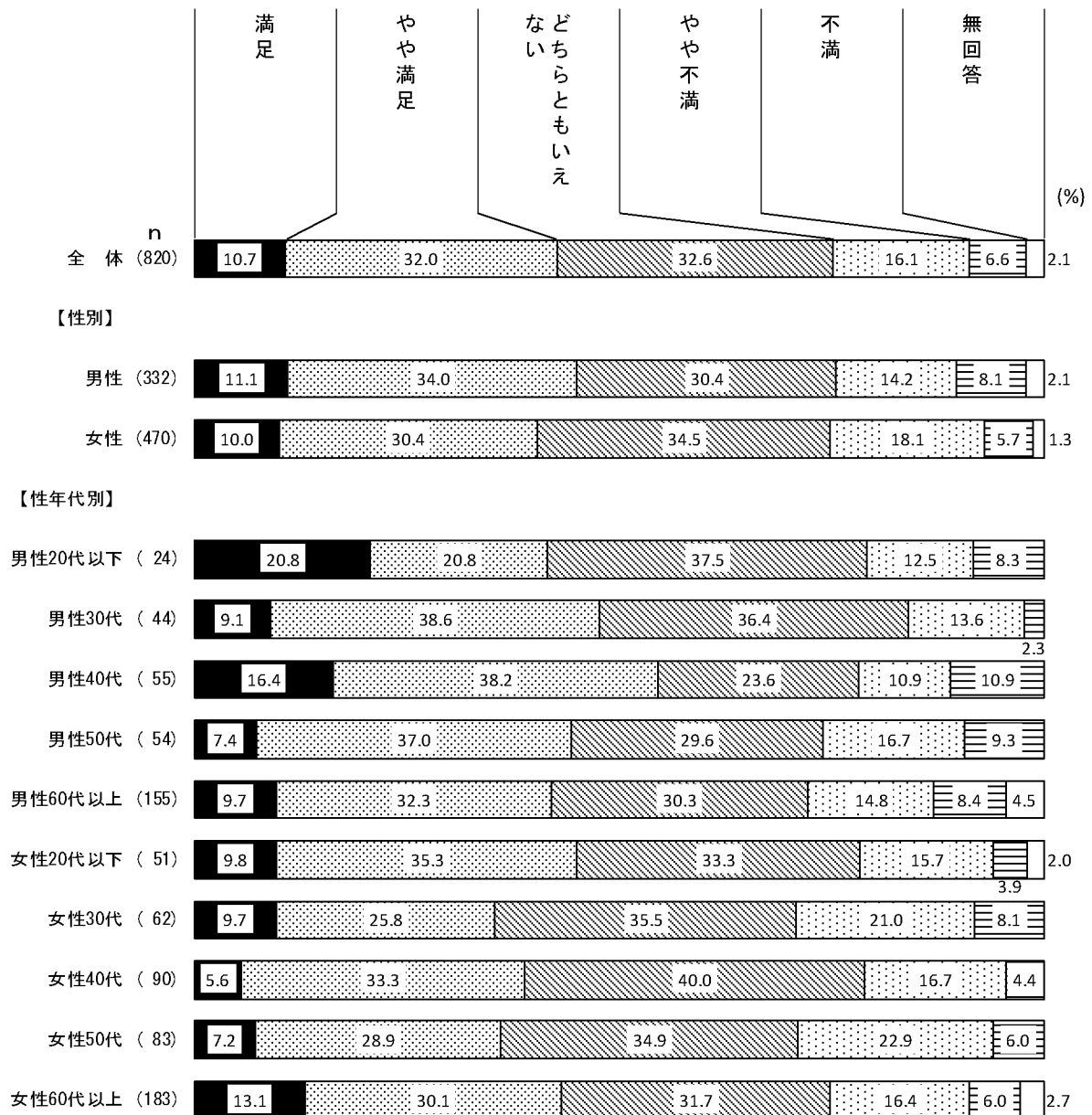
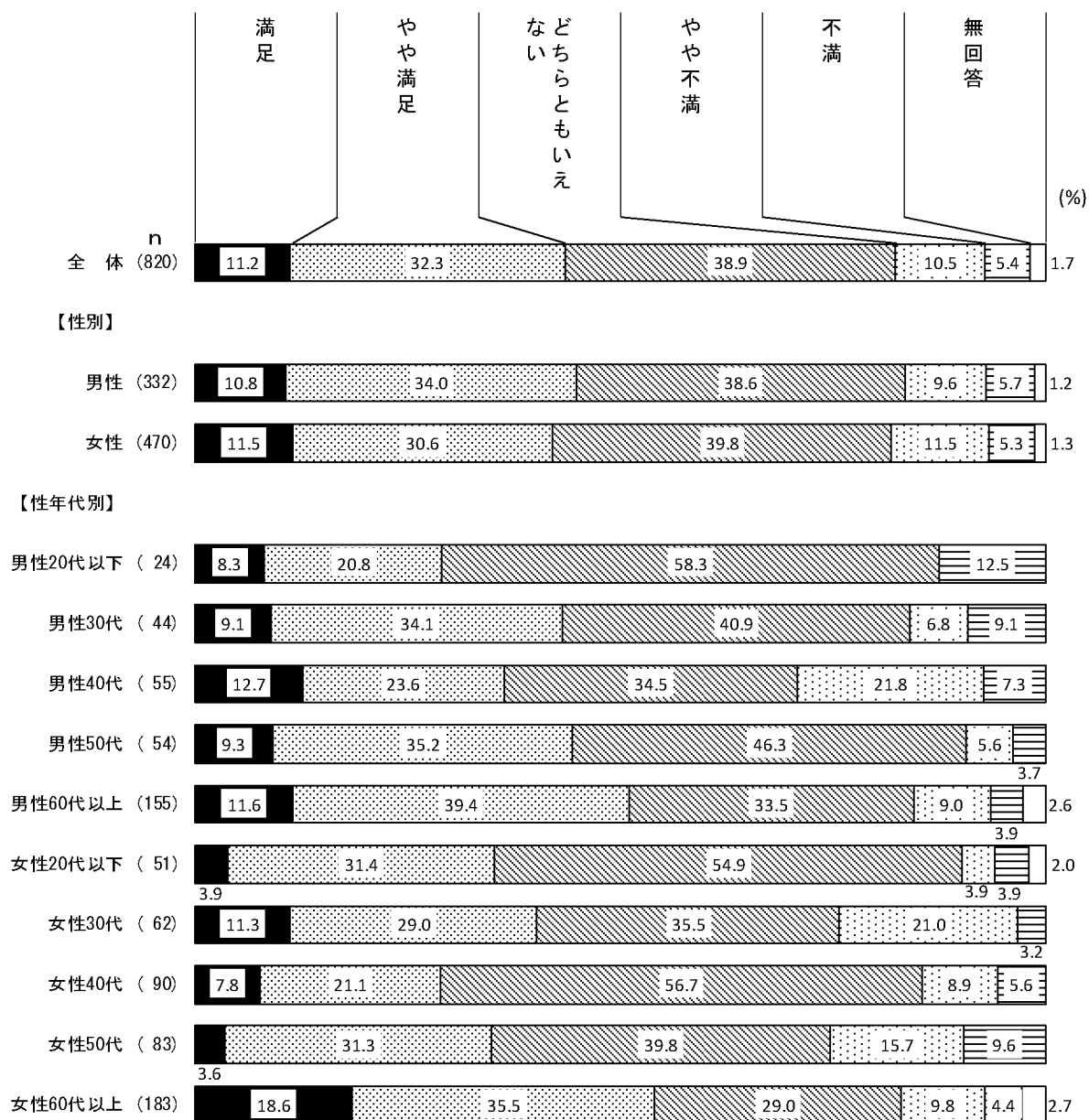


図 1－3－20 川崎区の満足度 ⑨区役所職員の窓口サービス <性別・性年代別>



2 川崎区役所の事業や広報について

(1) 川崎区役所が特に力を入れるべき事業

問4 川崎区役所が行う事業で、今後、特に力を入れるべきだと思う事業を教えてください。
(あてはまるものに、5つまで○)

全 体 「防犯・防火対策」(45.2%)が最も高く、次いで「高齢者福祉」(43.4%)、「防災対策」(41.0%)と続いている。(図2-1-1)

性 別 上位8項目の中では、「交通安全対策」では、「男性」(37.0%)が「女性」(27.9%)より9.1ポイント高くなっている。一方、「子育て支援」では、「女性」(37.2%)が「男性」(28.3%)より8.9ポイント高くなっている。(図2-1-2)

性年代別 「高齢者福祉」では「女性60代以上」(66.1%)、「男性60代以上」(59.4%)と年代が上がるにつれ割合が高くなっている。また、「子育て支援」では「女性30代」(67.7%)、「女性20代以下」(58.8%)と他の性年代に比べ割合が高くなっている。
(図2-1-2)

居住年数別 「高齢者福祉」では「20年以上」(52.9%)と居住年数が長くなるにつれ割合が高くなっている。一方、「環境美化、地域緑化」では「20年以上」(29.5%)と居住年数が長くなるにつれ割合が低くなっている。(図2-1-3)

図2-1-1 川崎区役所が特に力を入れるべき事業

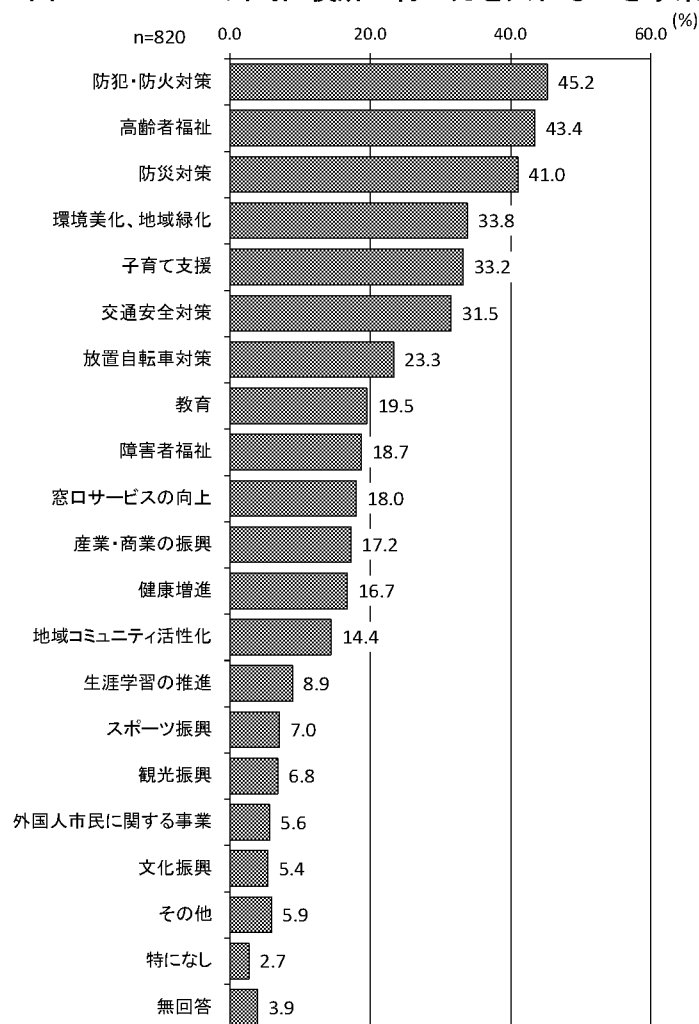


図2-1-2 川崎区役所が特に力を入れるべき事業 <性別・性年代別>

(上位8項目)

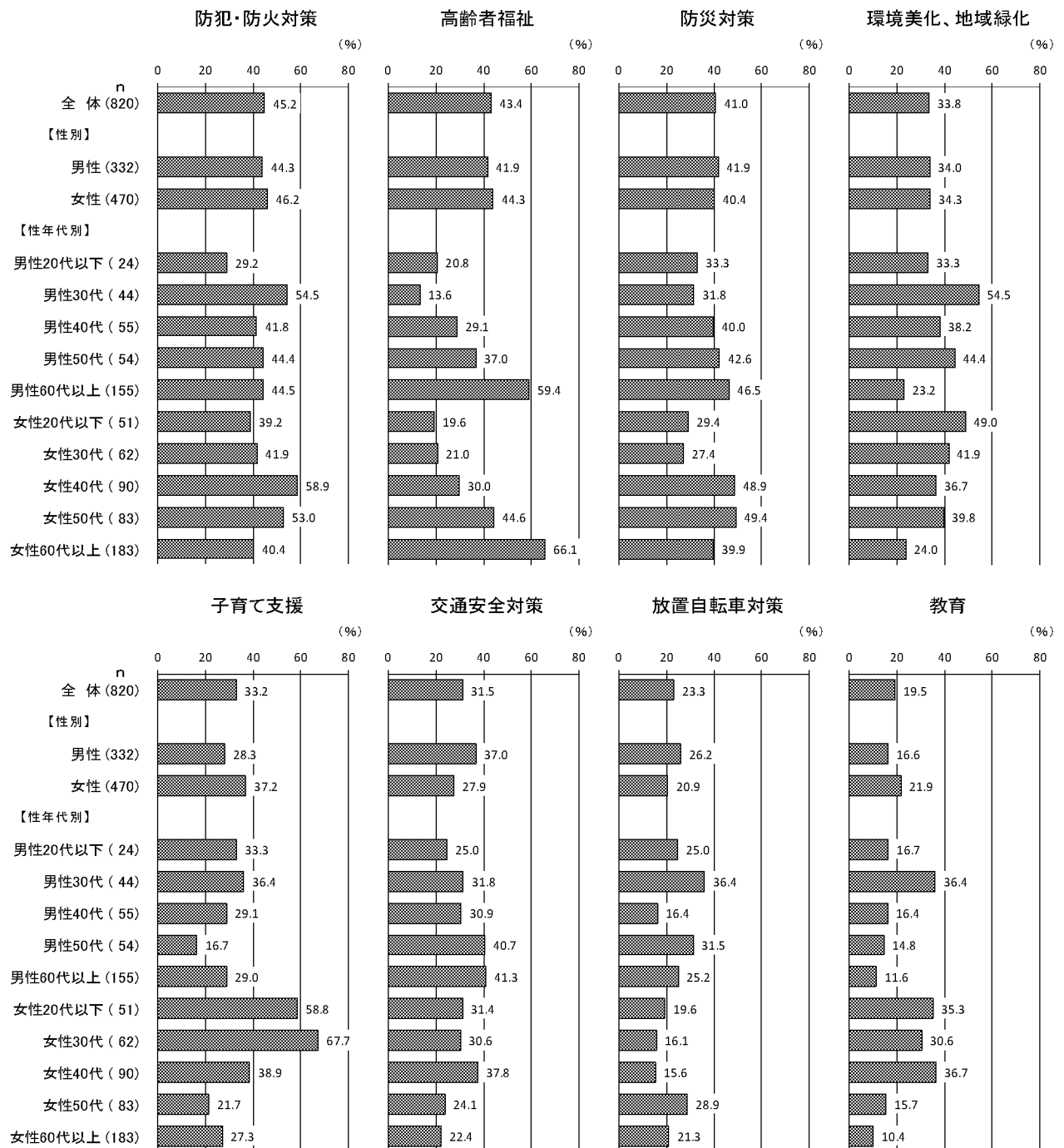
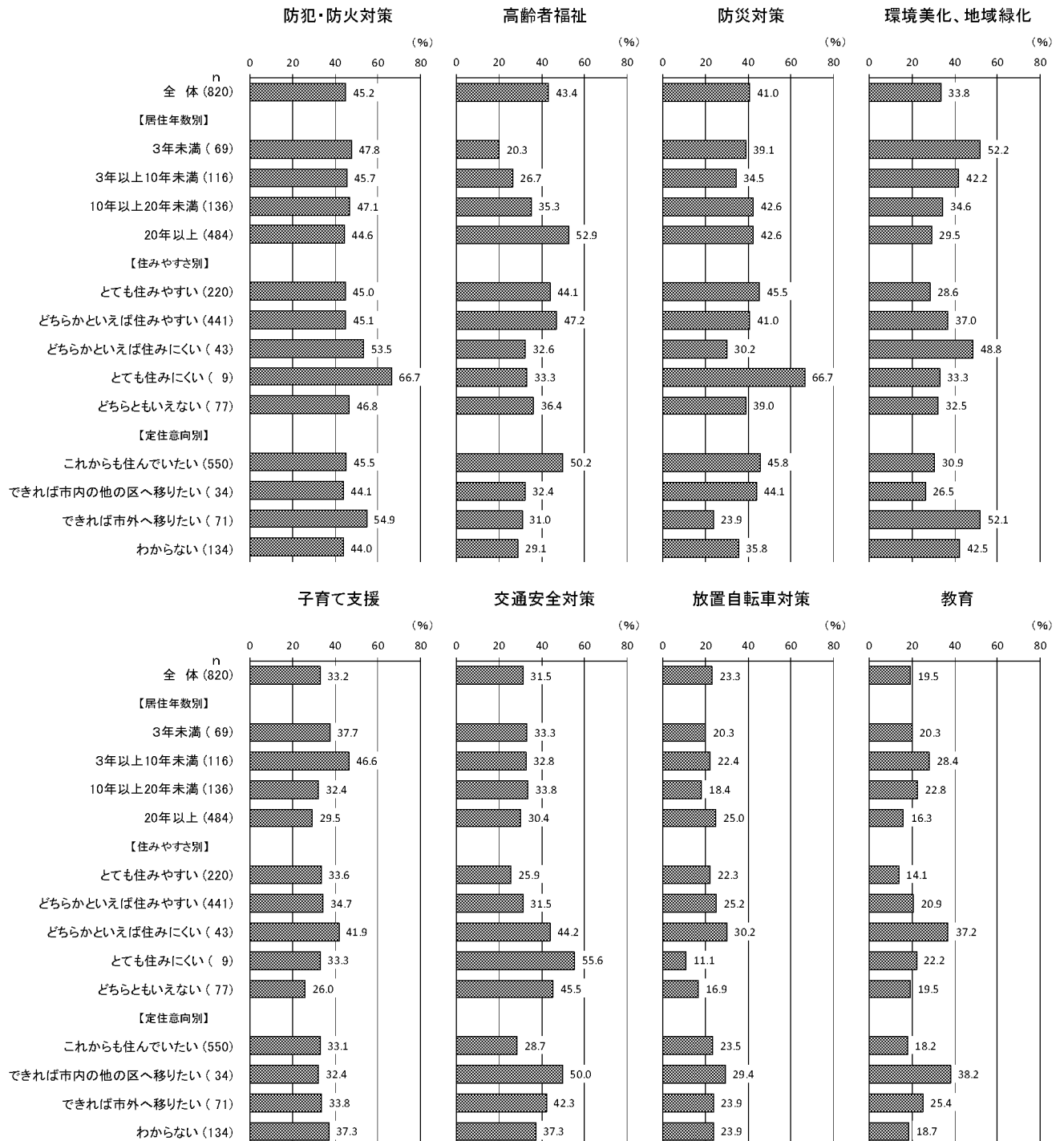


図 2－1－3 川崎区役所が特に力を入れるべき事業

＜居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別＞

(上位8項目)



(2) 川崎市(区)役所の取組・発行物や区内施設の認知度

問5 次の表にあげる「川崎市(区)役所の取組・発行物」や「区内の施設」などをご存じですか。(①から⑱までの項目ごとに、あてはまるもの1つに○)

全 体	「よく知っている」では「川崎駅周辺の自転車押し歩きエリア」(30.5%)が最も高く、次いで「避難場所(地震・洪水などの危険から逃れるための場所)」(29.6%)、「区内の放置自転車禁止区域」(24.3%)、「洪水ハザードマップ」(23.5%)、「住民票の写し等のコンビニ交付」(23.3%)と続いている。(図2-2-1)
性 別	「よく知っている」では「洪水ハザードマップ」、「区内の路上喫煙防止区域」などの8項目で「男性」が「女性」より高くなっている。一方、「区内の市民活動コーナー(教育文化会館・支所内)」、「地域包括支援センター(高齢者の福祉・医療・介護の相談窓口)」、「地域子育て支援センター」などの10項目で「女性」が「男性」より高くなっている。(図2-2-6)、(図2-2-9)、(図2-2-11)、(図2-2-13)、(図2-2-14)
性年代別	「避難場所(地震・洪水などの危険から逃れるための場所)」、「地域包括支援センター(高齢者の福祉・医療・介護の相談窓口)」では、年代が高くなるにつれて「よく知っている」の割合が高くなる傾向にある。(図2-2-5)、(図2-2-13)

図 2-2-1 川崎市(区)取組・発行物や区内施設の認知度

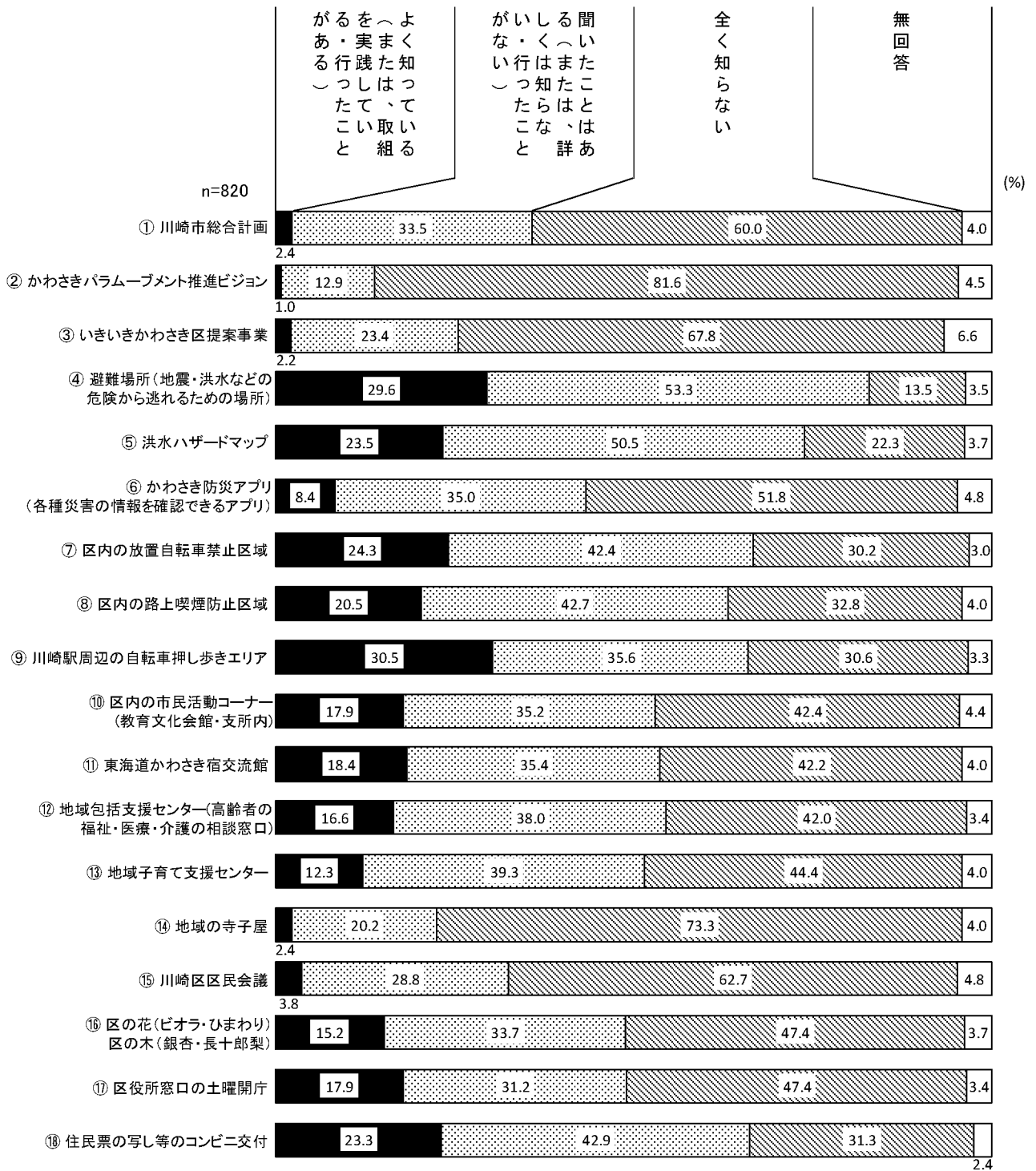


図 2-2-2 川崎市(区)取組・発行物や区内施設の認知度

①川崎市総合計画 <性別・性年代別>

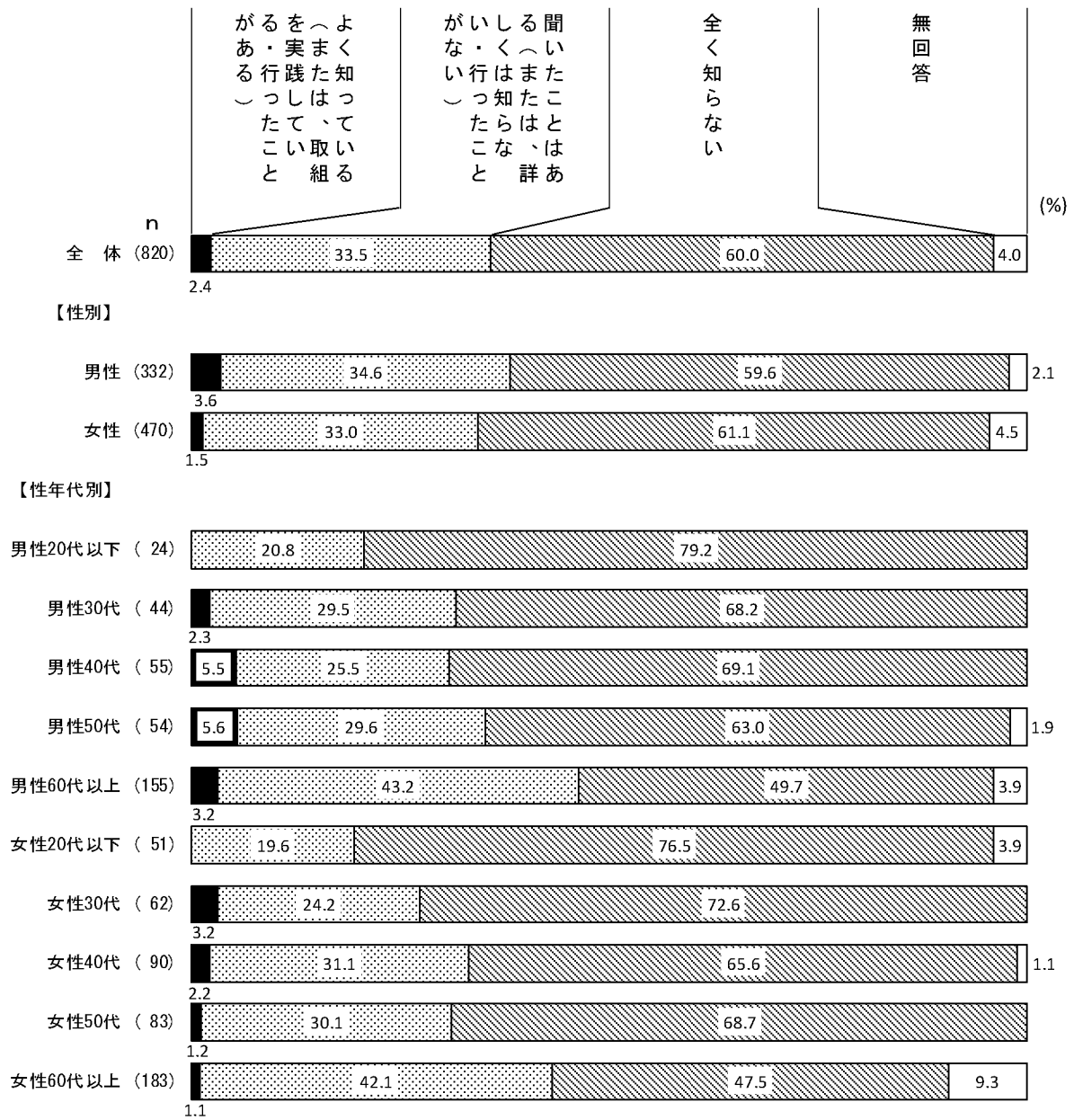


図2-2-3 川崎市(区)取組・発行物や区内施設の認知度
②かわさきパラムーブメント推進ビジョン <性別・性年代別>

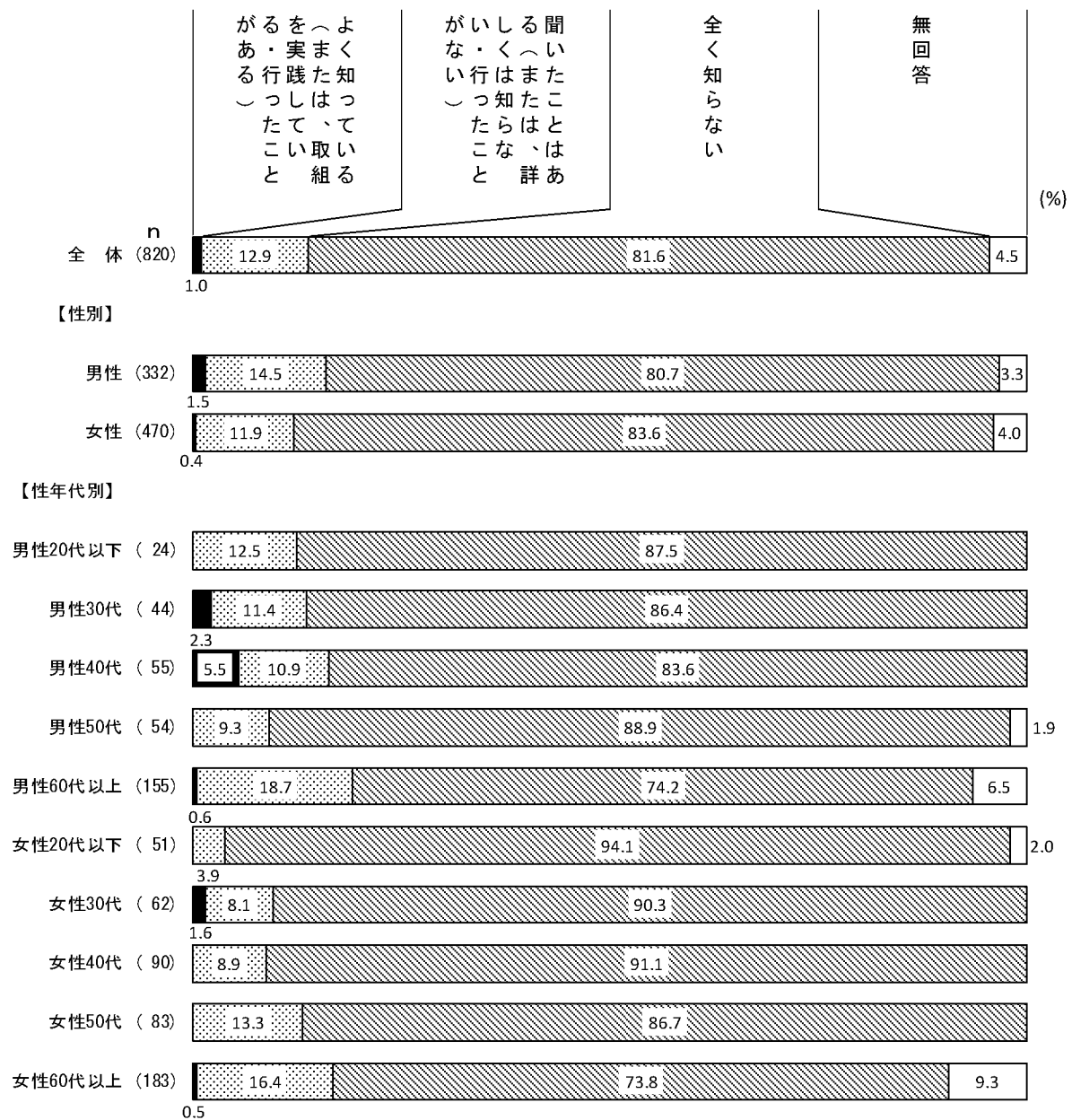


図2-2-4 川崎市(区)取組・発行物や区内施設の認知度

③いきいきかわさき区提案事業 <性別・性年代別>

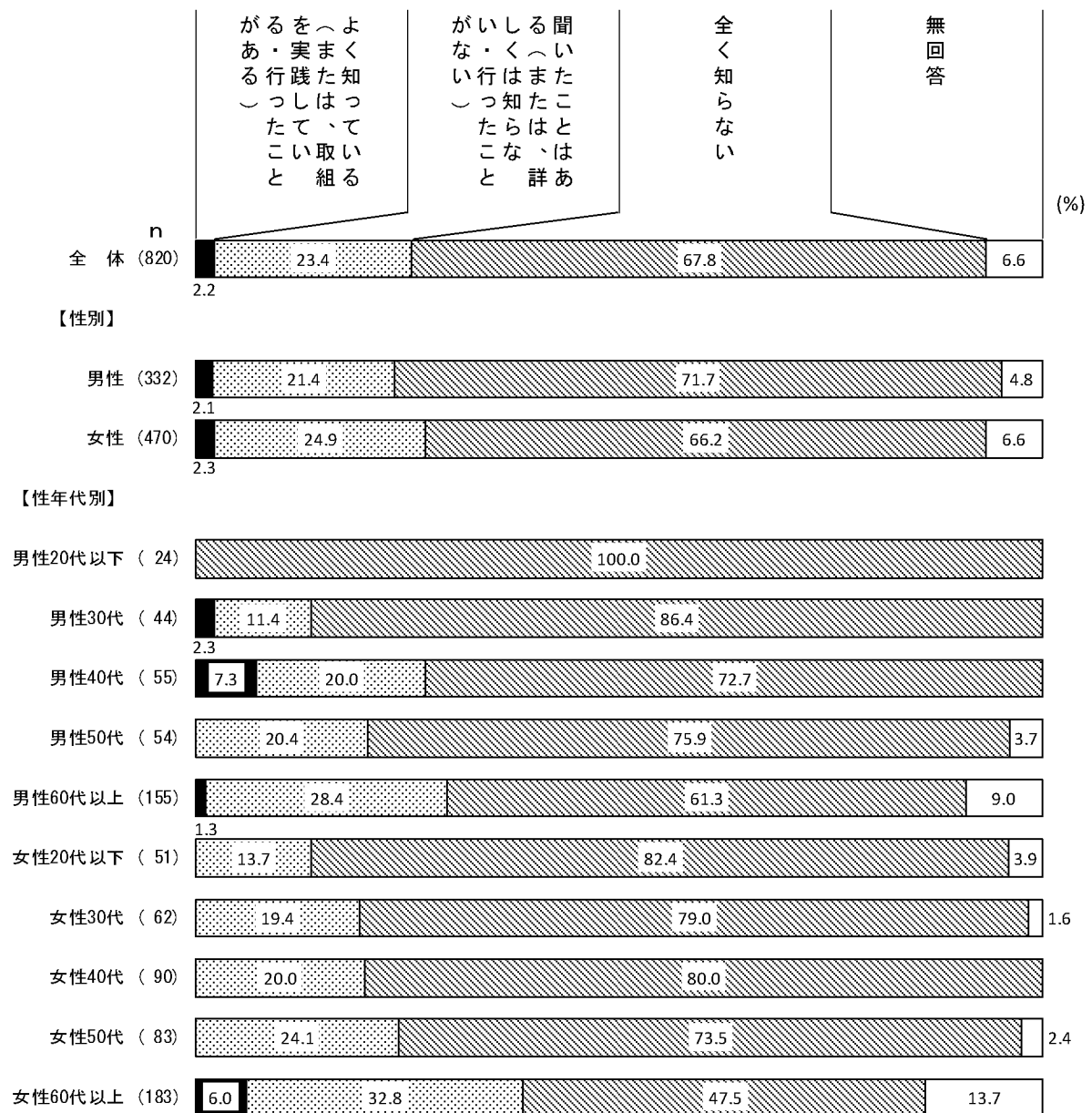


図2-2-5 川崎市(区)取組・発行物や区内施設の認知度

④避難場所（地震・洪水などの危険から逃れるための場所） ＜性別・性年代別＞

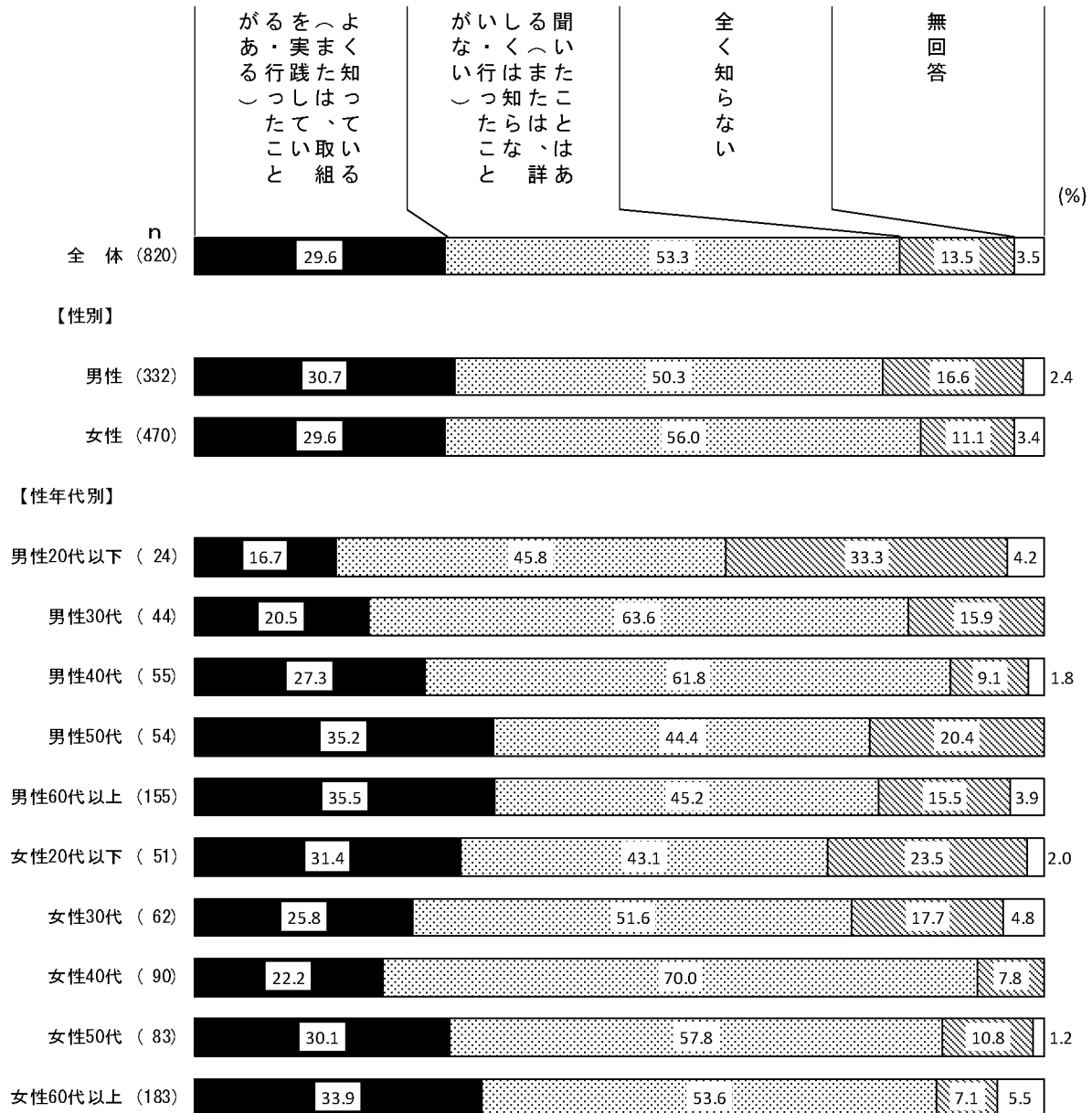


図2-2-6 川崎市(区)取組・発行物や区内施設の認知度

⑤洪水ハザードマップ <性別・性年代別>

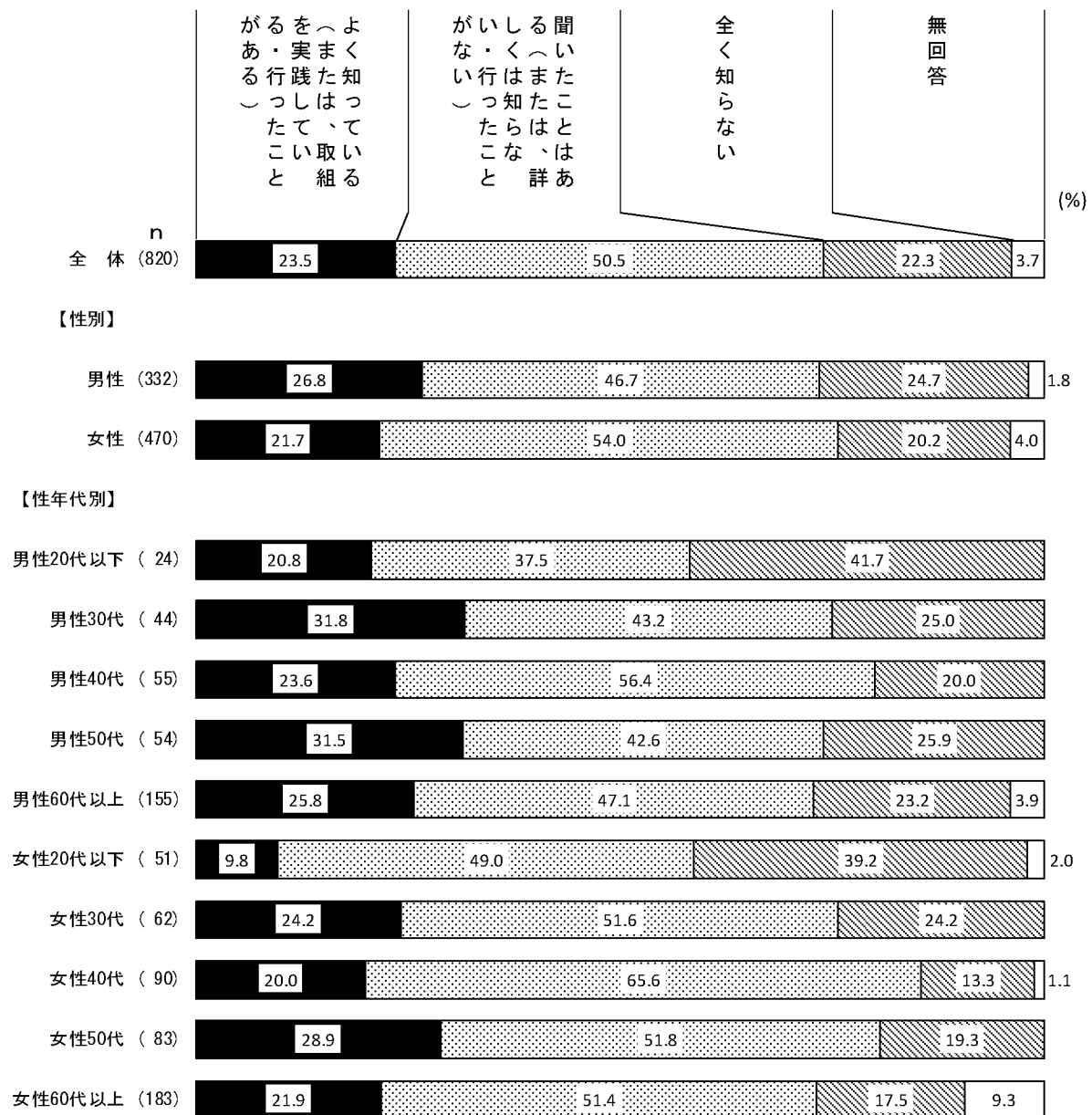


図2-2-7 川崎市(区)取組・発行物や区内施設の認知度

⑥かわさき防災アプリ（各種災害の情報を確認できるアプリ） ＜性別・性年代別＞

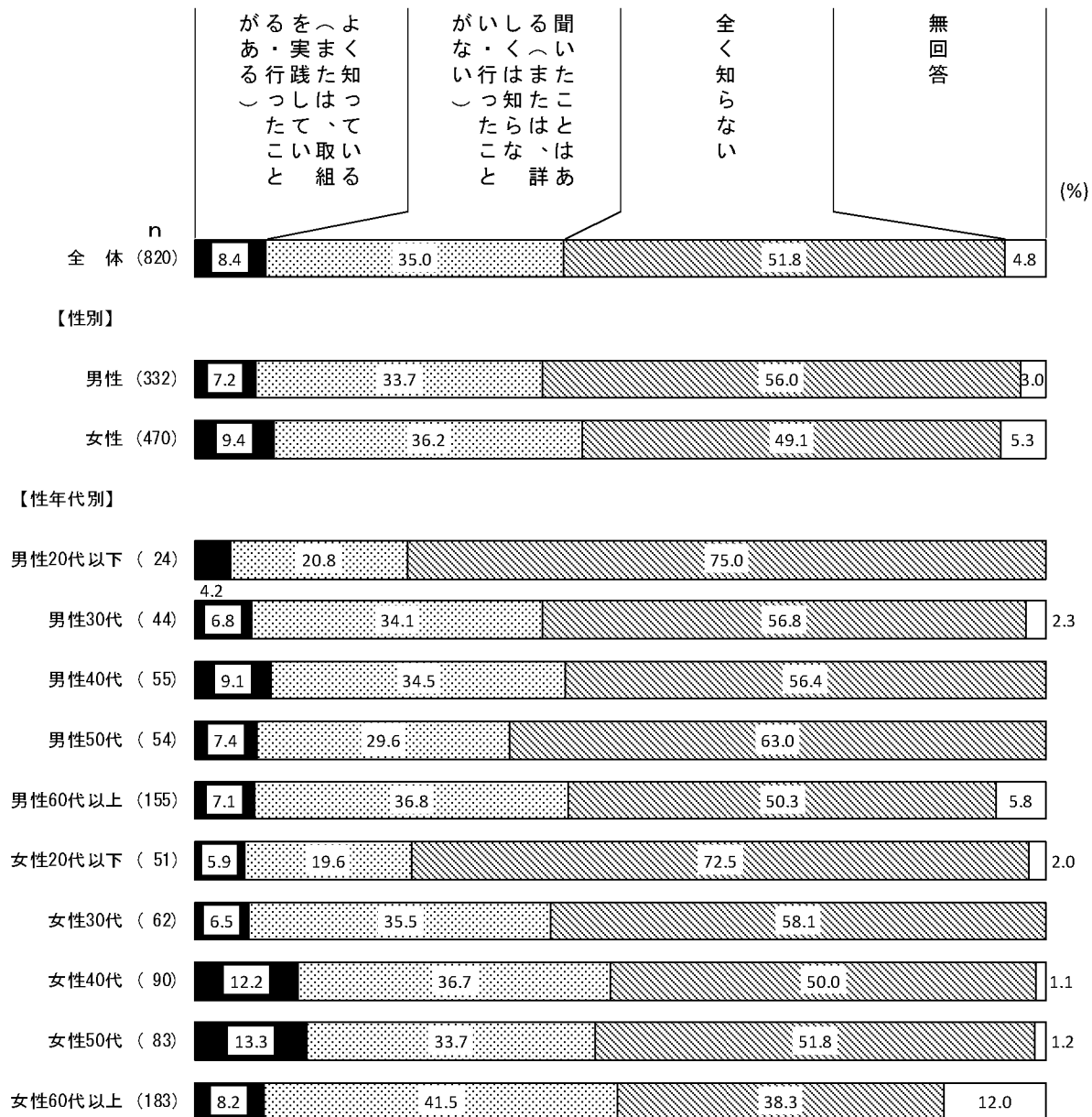


図2-2-8 川崎市(区)取組・発行物や区内施設の認知度

⑦区内の放置自転車禁止区域 <性別・性年代別>

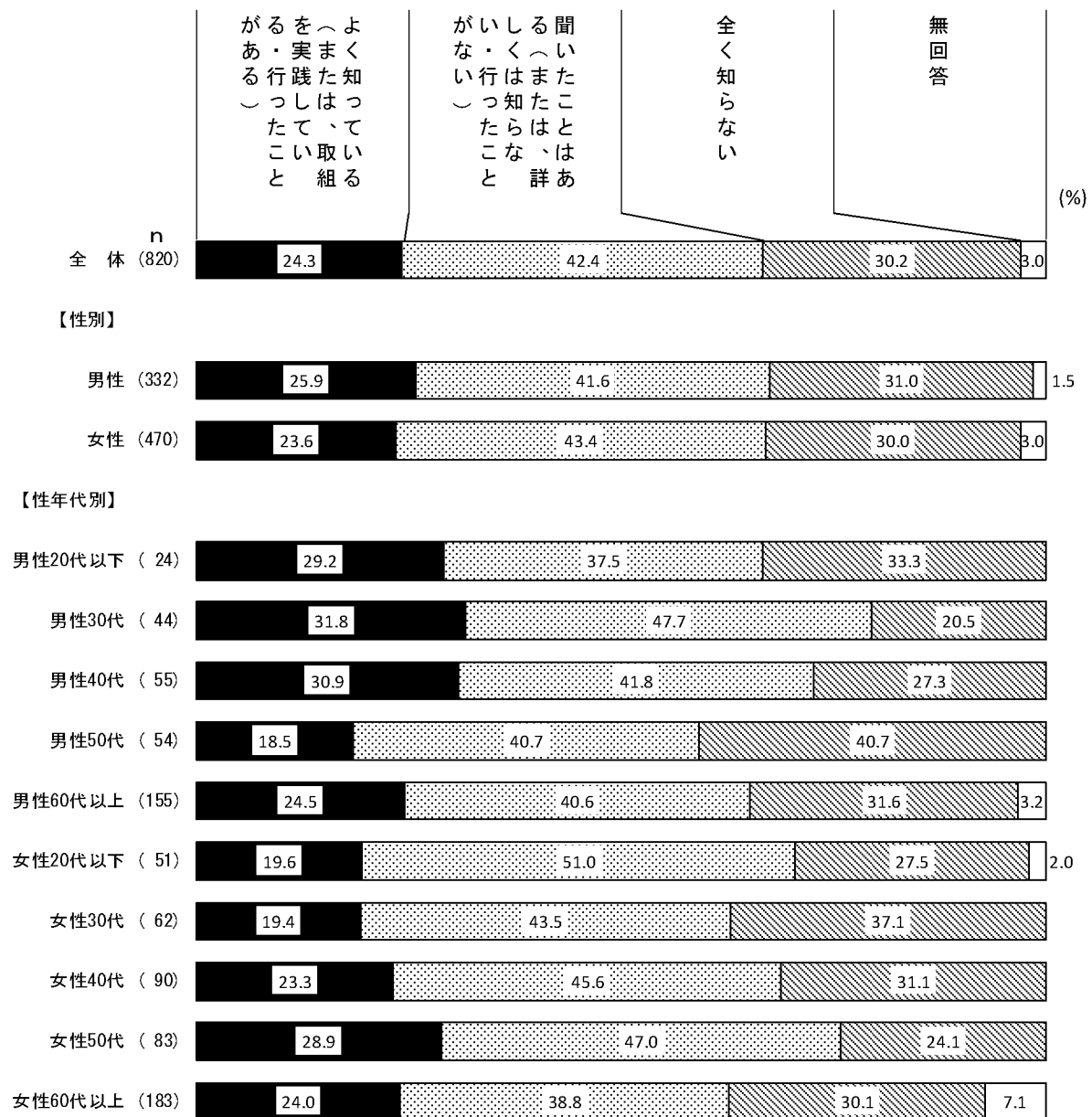


図2-2-9 川崎市(区)取組・発行物や区内施設の認知度

⑧区内の路上喫煙防止区域 <性別・性年代別>

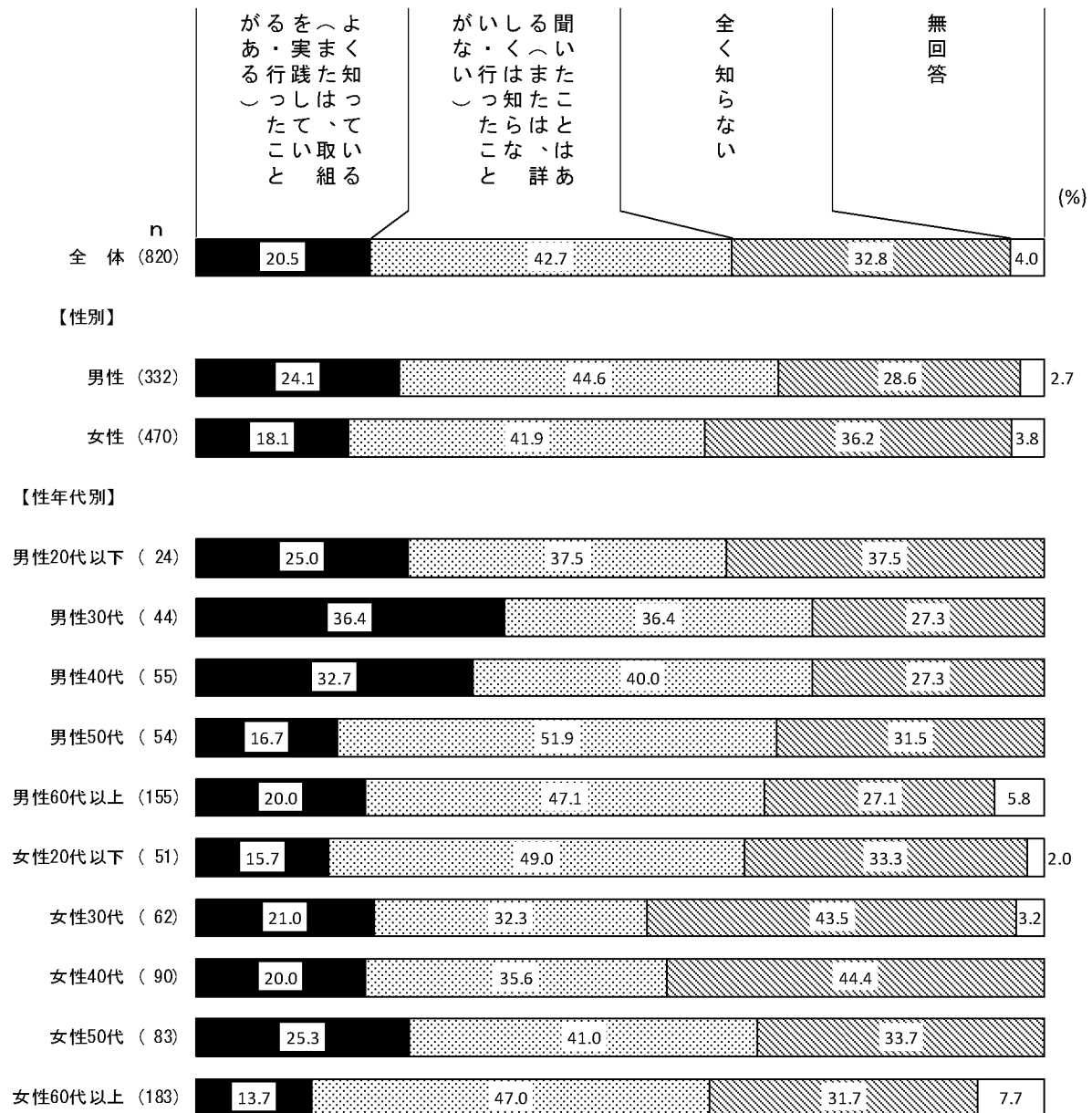


図 2-2-10 川崎市(区)取組・発行物や区内施設の認知度

⑨川崎駅周辺の自転車押し歩きエリア <性別・性年代別>

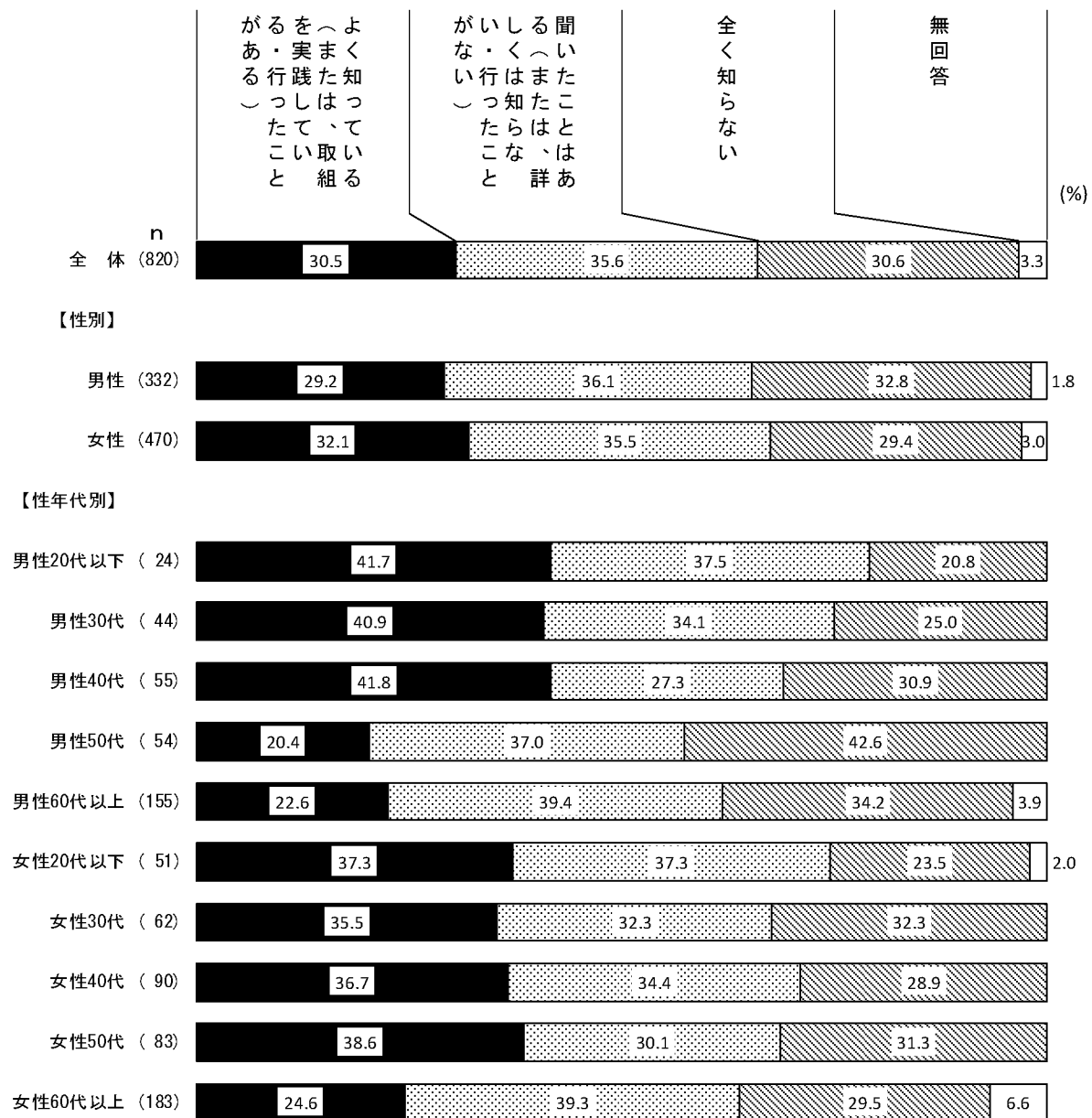


図2-2-11 川崎市(区)取組・発行物や区内施設の認知度
 ⑩区内の市民活動コーナー(教育文化会館・支所内) <性別・性年代別>

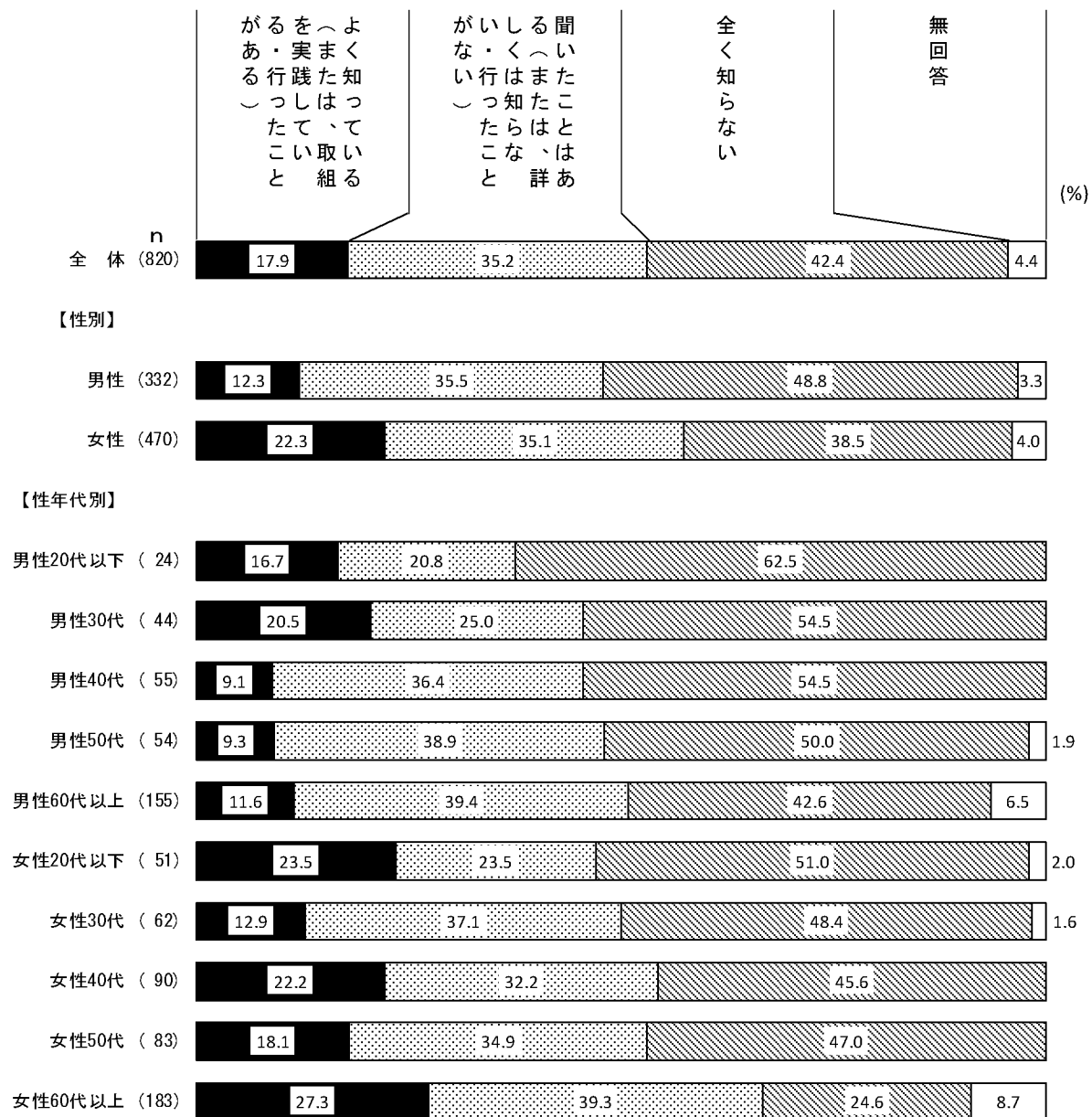


図2-2-12 川崎市(区)取組・発行物や区内施設の認知度

⑪東海道かわさき宿交流館 <性別・性年代別>

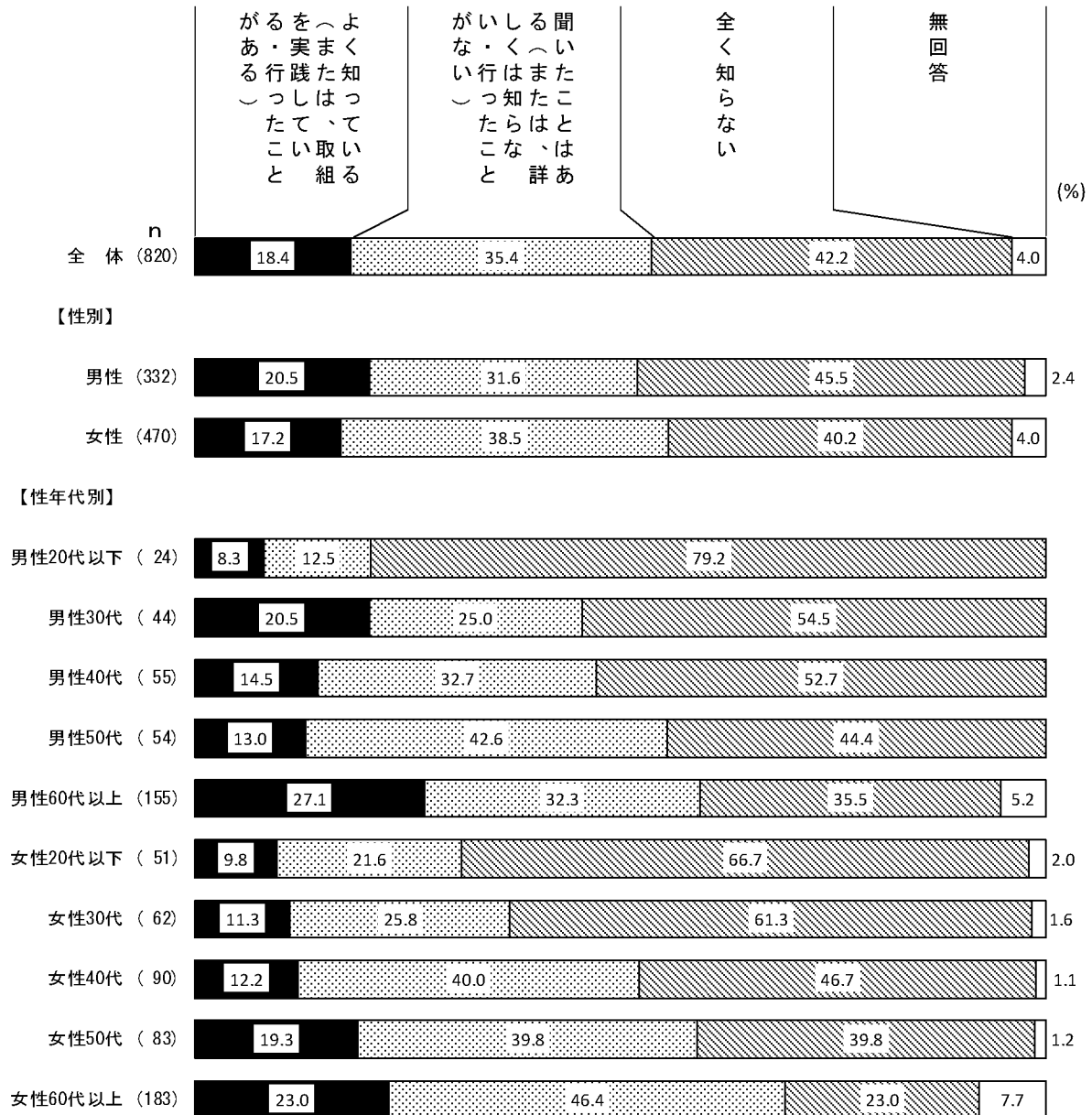


図2-2-13 川崎市(区)取組・発行物や区内施設の認知度

⑫地域包括支援センター(高齢者の福祉・医療・介護の相談窓口) <性別・性年代別>

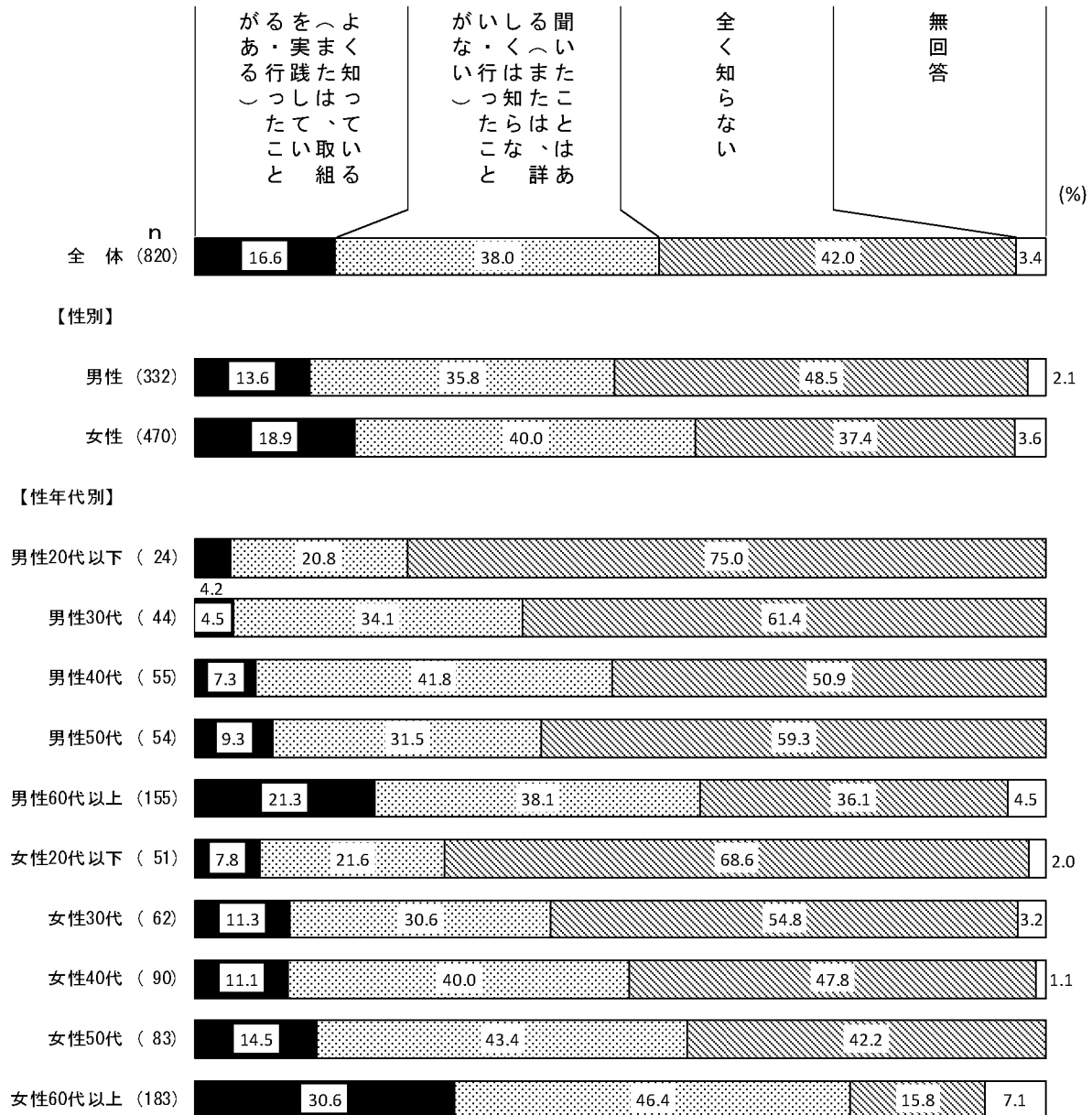


図2-2-14 川崎市(区)取組・発行物や区内施設の認知度

⑬地域子育て支援センター <性別・性年代別>

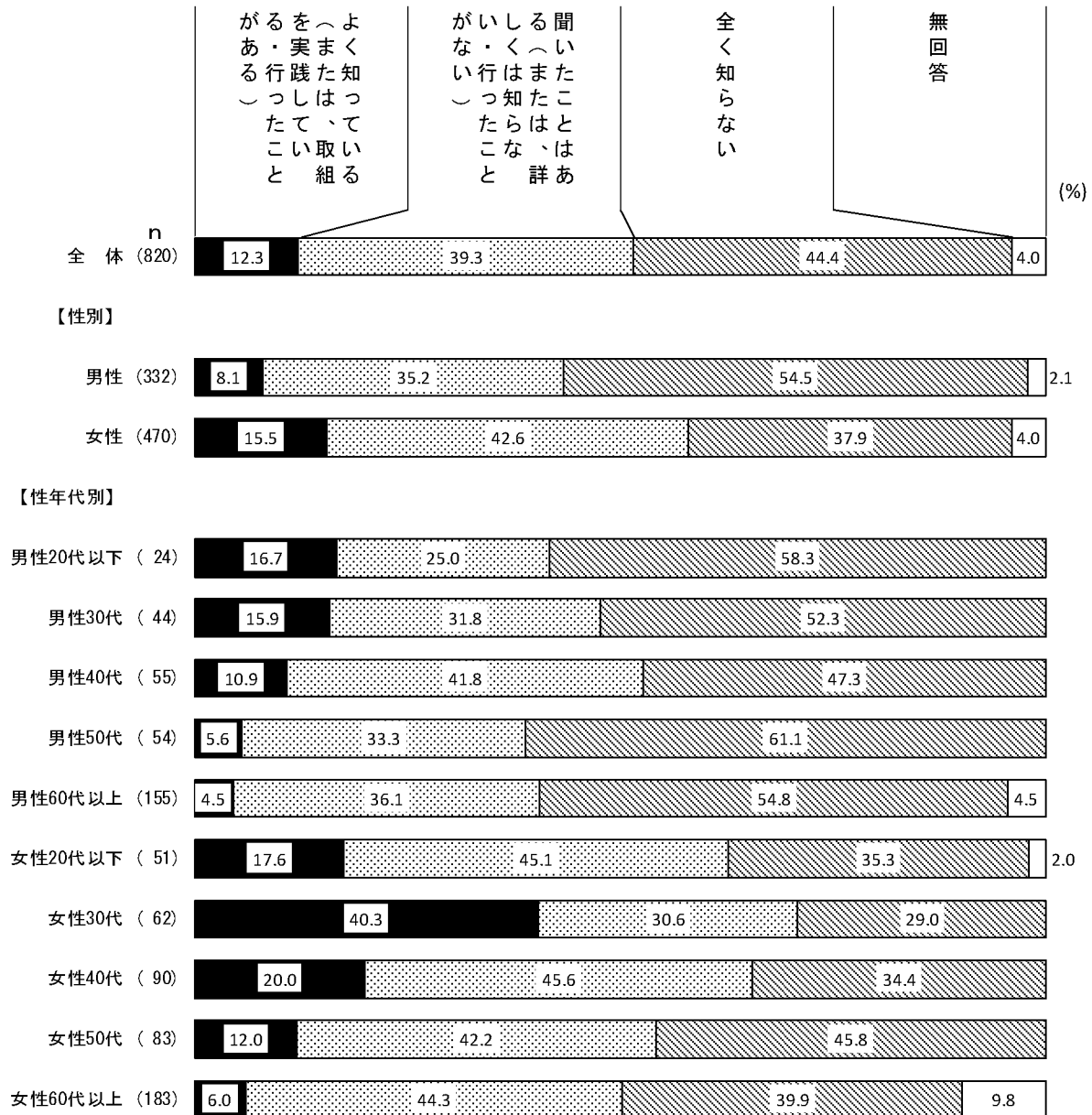


図2-2-15 川崎市(区)取組・発行物や区内施設の認知度

⑭地域の寺子屋 <性別・性年代別>

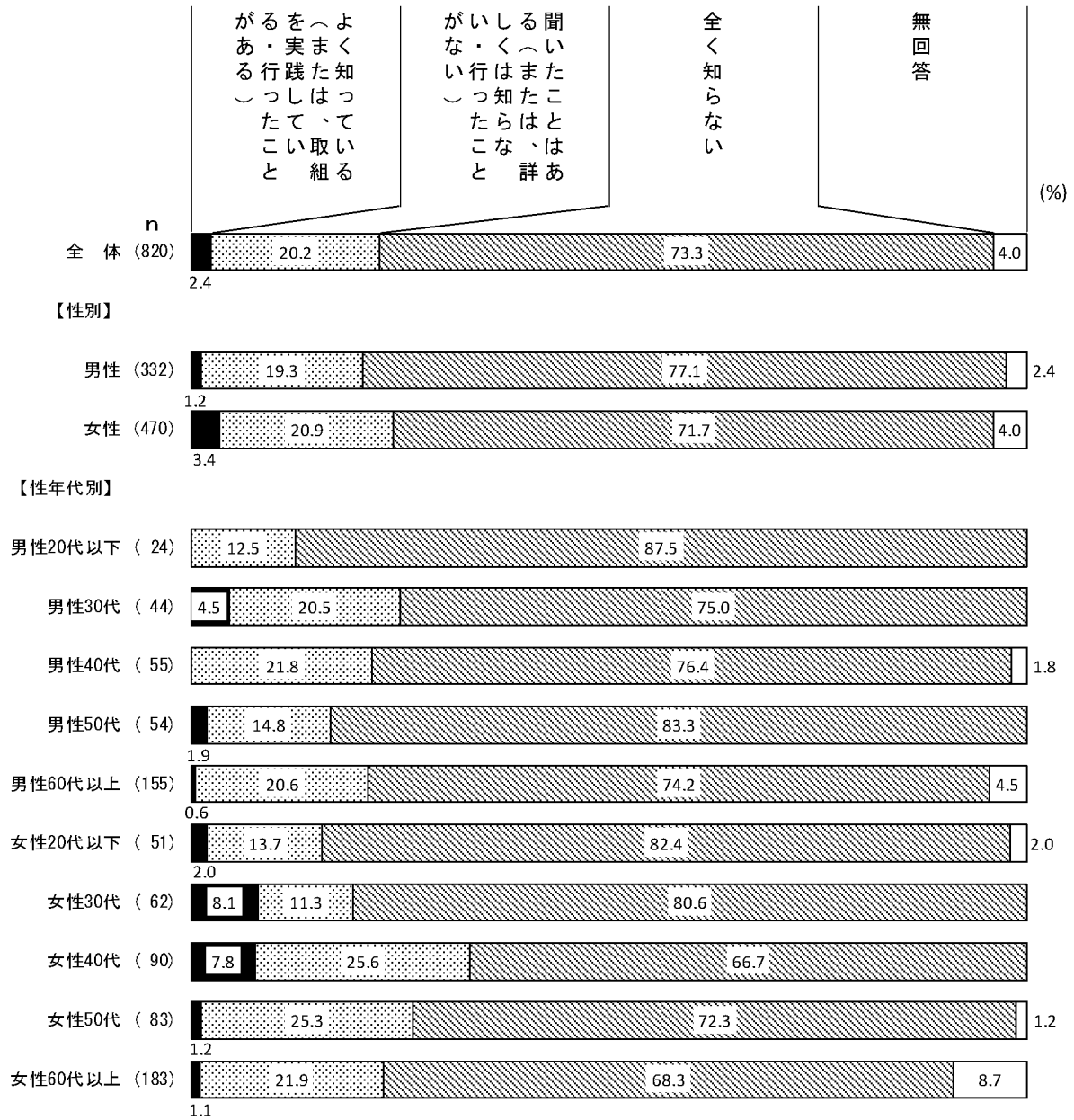


図2-2-16 川崎市(区)取組・発行物や区内施設の認知度

⑮川崎区区民会議 <性別・性年代別>

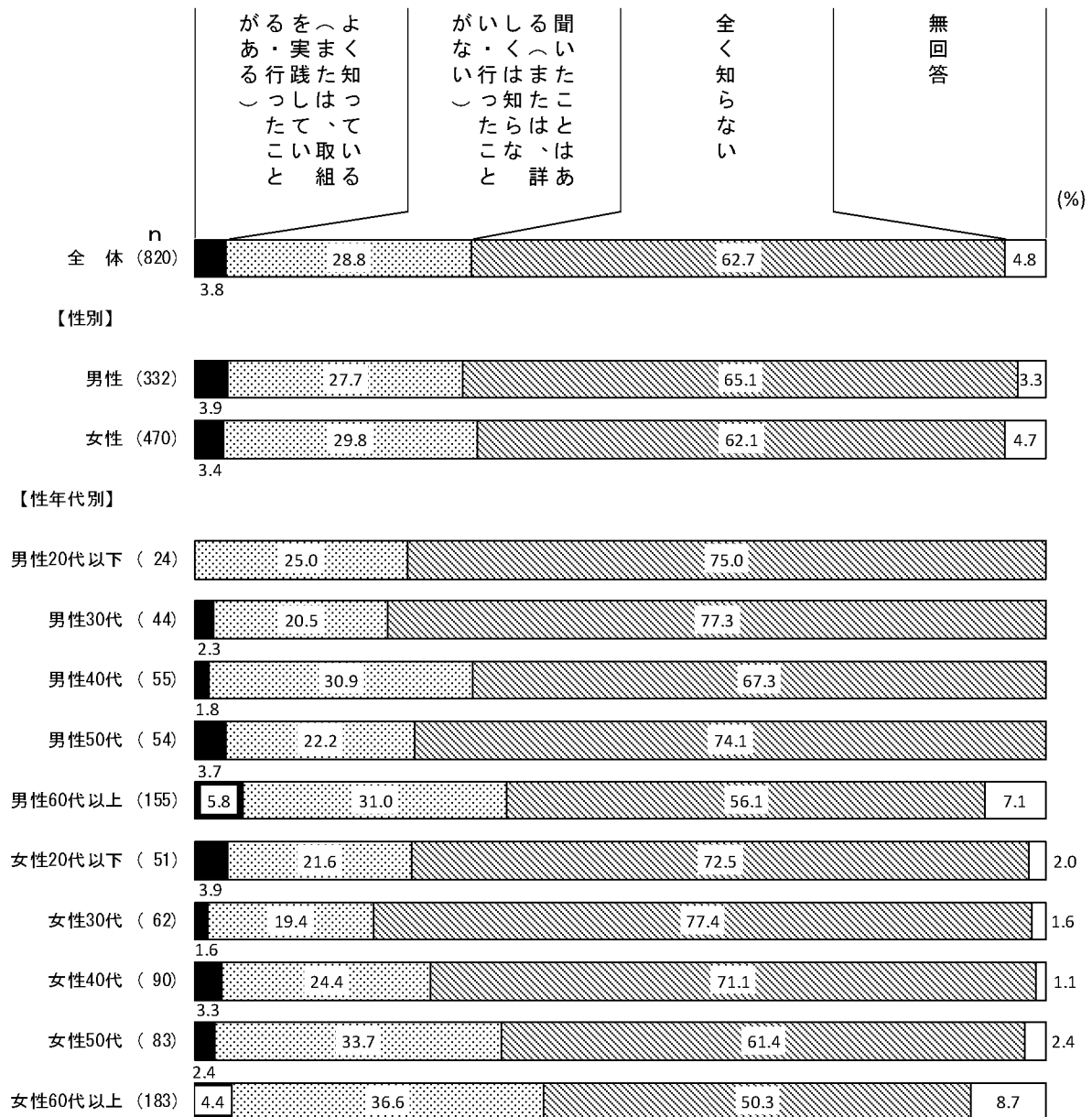


図2-2-17 川崎市(区)取組・発行物や区内施設の認知度
 ⑩区の花(ビオラ・ひまわり) 区の木(銀杏・長十郎梨) <性別・性年代別>

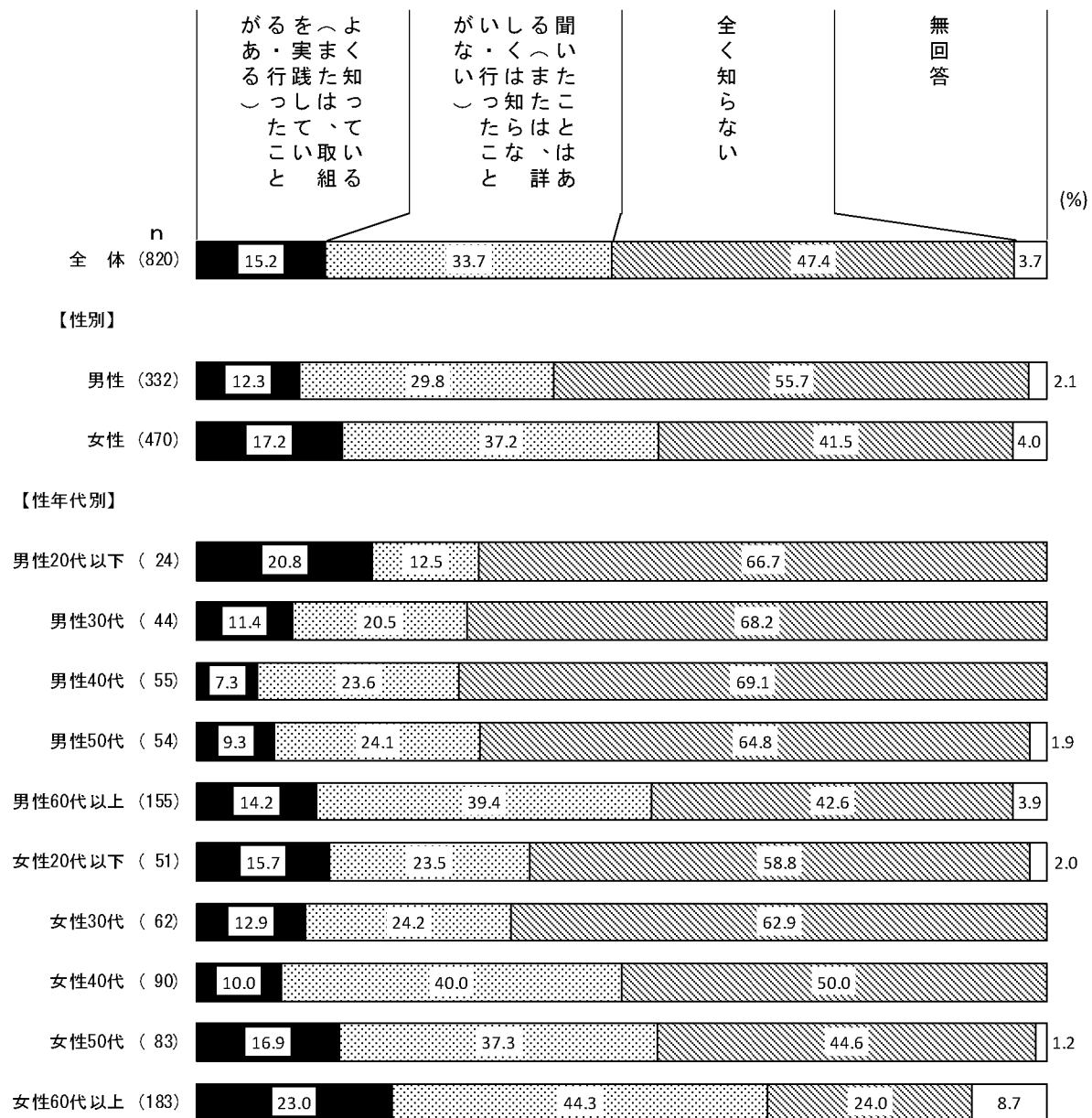


図2-2-18 川崎市(区)取組・発行物や区内施設の認知度

⑪区役所窓口の土曜開庁 <性別・性年代別>

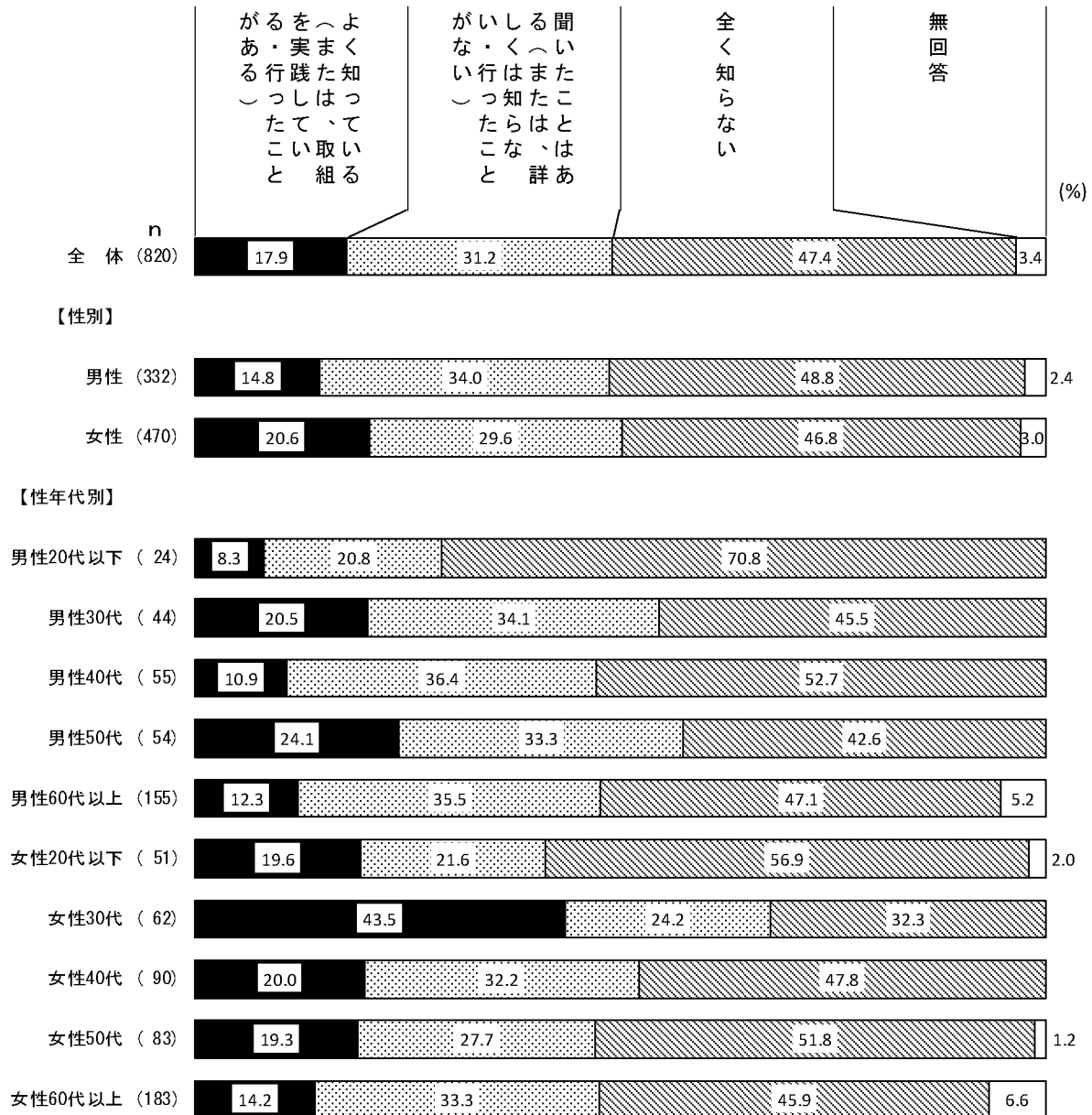
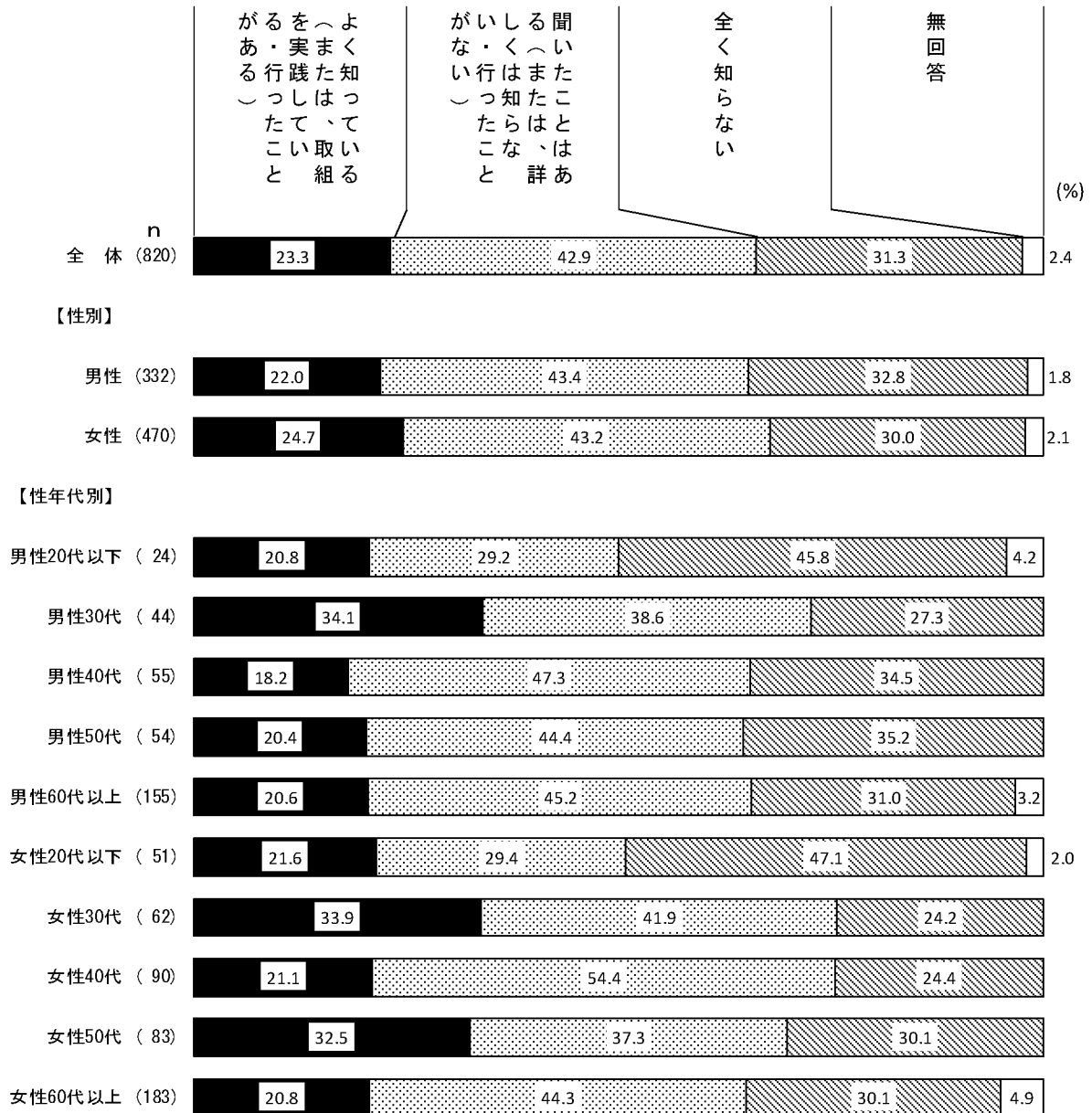


図2-2-19 川崎市(区)取組・発行物や区内施設の認知度

⑱住民票の写し等のコンビニ交付 <性別・性年代別>



(3) 行政情報の入手手段

問6 市役所・区役所からの行政情報をどのように入手していますか。
(あてはまるもの全てに○)

全 体 「市政だより」(63.0%) が最も高く、次いで「町内会の回覧板」(37.7%)、「広報掲示板や町内会掲示板のポスター・チラシ類」(23.5%)、「市(区)ホームページ」(20.0%)と続いている。(図2-3-1)

性 別 上位7項目及び「情報を入手していない」の中では、「市政だより」では、「女性」(68.9%)が「男性」(56.0%)より12.9ポイント高くなっている。一方、「情報を入手していない」では、「男性」(19.0%)が「女性」(14.7%)より4.3ポイント高くなっている。(図2-3-2)

性年代別 年齢が高くなるにつれて行政情報の入手手段として「市政だより」の割合が高くなる傾向にあり、「女性60代以上」(89.1%)は9割近くとなっている一方、「男性20代以下」は12.5%となっている。(図2-3-2)

居住年数別 「市政だより」、「町内会の回覧板」では居住年数が長くなるにつれ割合が高くなっていく。一方、「特に情報を入手していない」では居住年数が短いほど割合が高くなっていく。(図2-3-3)

図2-3-1 行政情報の入手手段

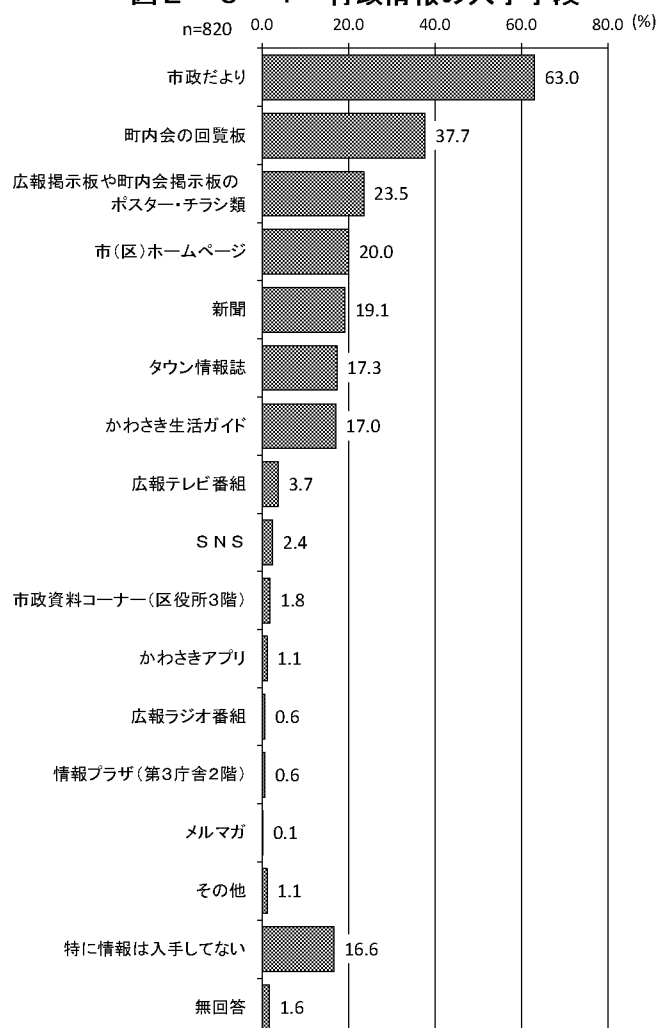


図2-3-2 行政情報の入手手段 <性別・性年代別>

(上位7項目+「特に情報は入手していない」)

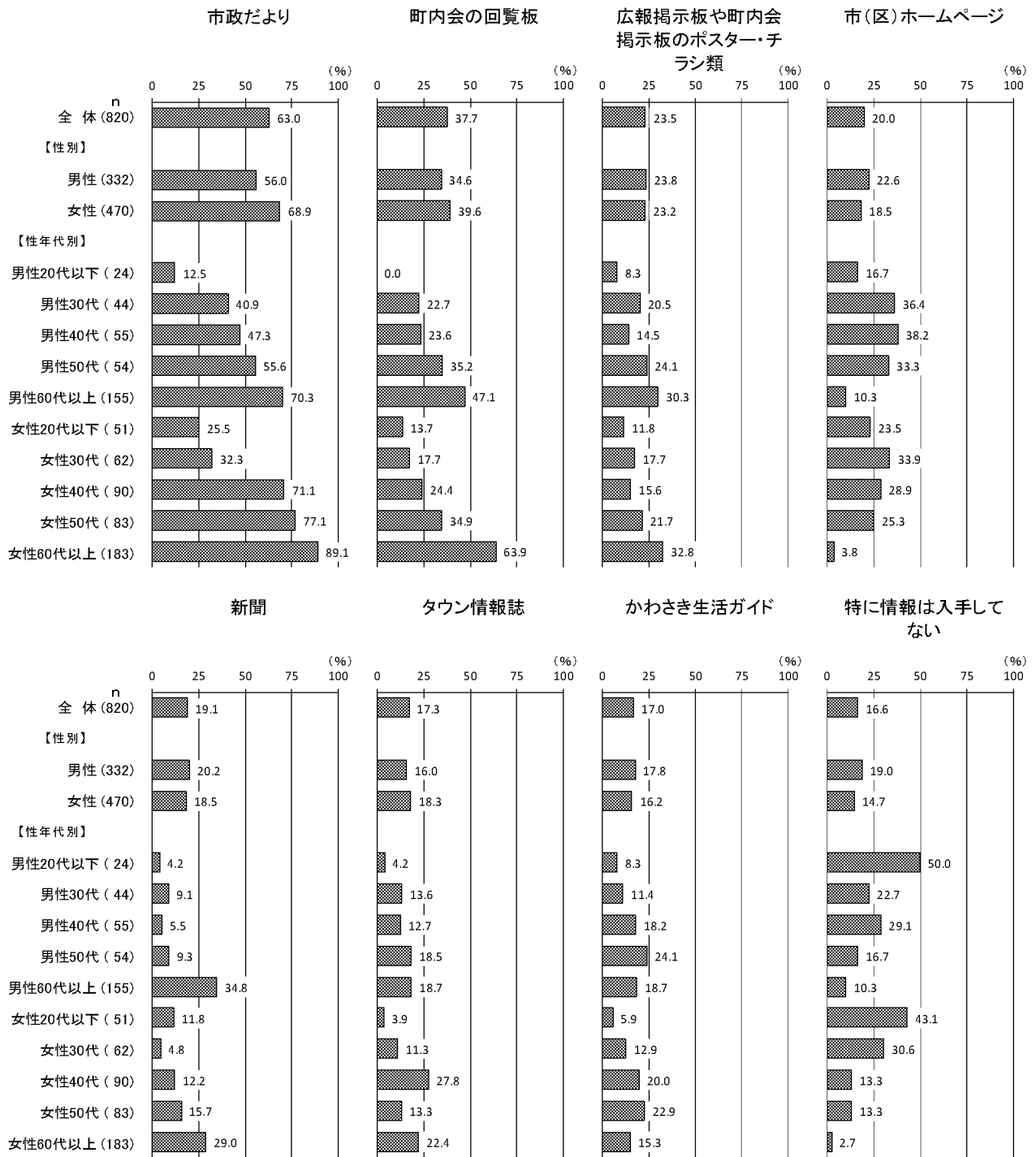
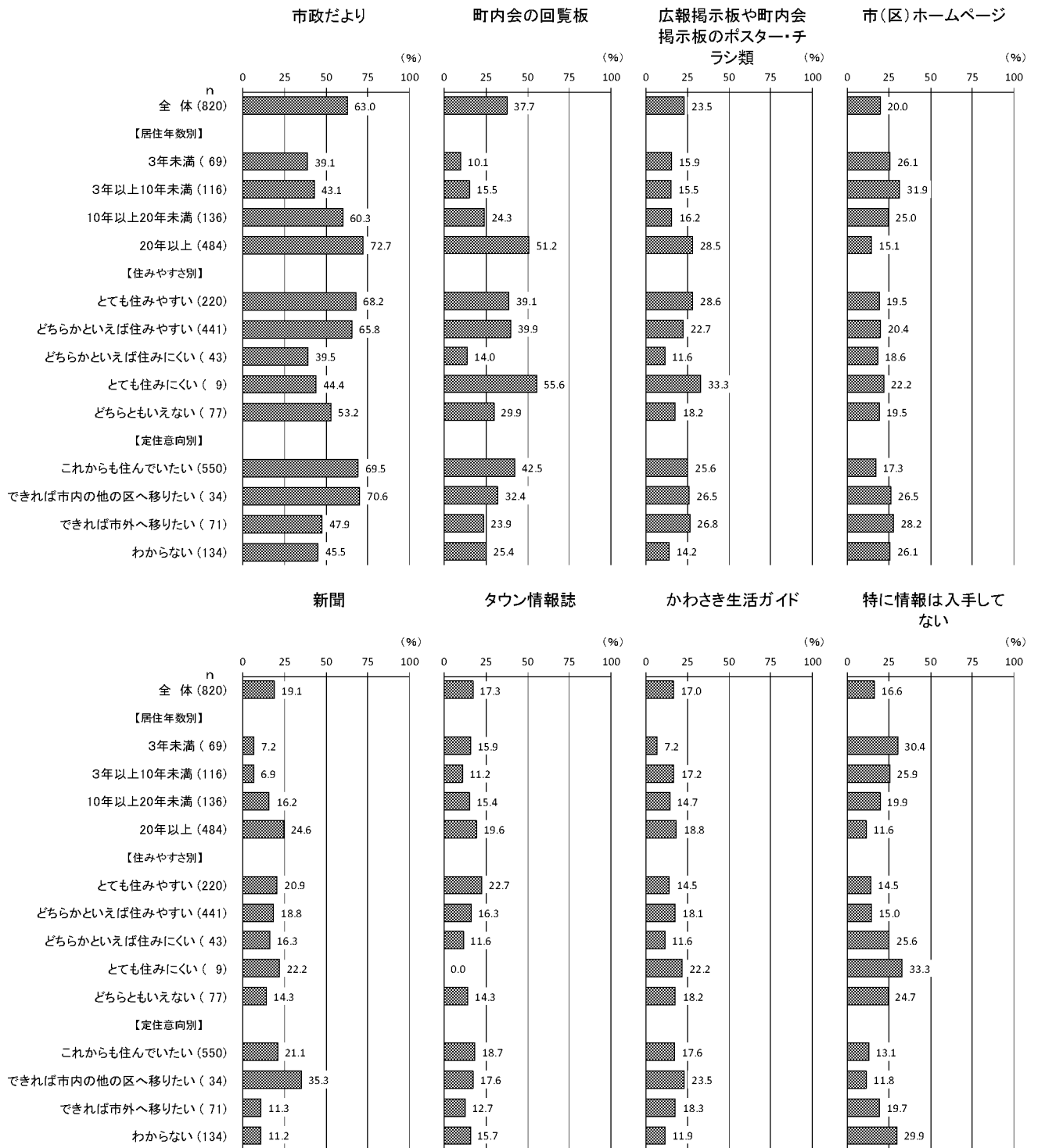


図 2-3-3 行政情報の入手手段

＜居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別＞

(上位 7 項目 + 「特に情報は入手していない」)



(4)「市政だより」で取り上げて欲しいテーマ

問7 「市政だより川崎区版（月1回発行）」では、どのようなテーマを取り上げて欲しいですか。（あてはまるものに、5つまで○）

- 全 体** 「防災情報」（43.2％）が最も高く、次いで「高齢者福祉情報」（36.3％）、「イベント・講座開催情報」（36.1％）と続いている。（図2-4-1）
- 性 別** 「防災情報」では、「男性」（46.7％）が「女性」（40.4％）より6.3ポイント高く、一方、「子育て情報」では、「女性」（20.9％）が「男性」（10.5％）より10.4ポイント、「イベント・講座開催情報」では、「女性」（40.6％）が「男性」（31.6％）より9.0ポイント高くなっている。（図2-4-2）
- 性年代別** 「防災情報」、「高齢者福祉情報」、「区役所窓口情報」を取り上げてほしいとする割合は年代が高くなるにつれて割合が高くなる傾向にあり、「防災情報」では、「男性60代以上」（58.1％）、「高齢者福祉情報」では「女性60代以上」（59.6％）が最も高くなっている。一方、「子育て情報」では、「女性30代以上」（54.8％）、「イベント・講座開催情報」では「女性40歳以上」（50.0％）が最も高くなっている。（図2-4-2）
- 居住年数別** 「高齢者福祉情報」、「健康づくり情報」では居住年数が長くなるにつれ割合が高くなっている。一方、「イベント・講座開催情報」では居住年数が短いほど割合が高くなっている。（図2-4-3）
- 川 崎 区 の 住 み や す さ 別** 「高齢者福祉情報」と「イベント・講座開催情報」では住みやすいと感じている人ほど割合が高くなっている。一方、「地域サークル・団体情報」、「子育て情報」では住みにくいと感じている人ほど割合が高くなっている。（図2-4-3）

図2-4-1 「市政だより」で取り上げて欲しいテーマ

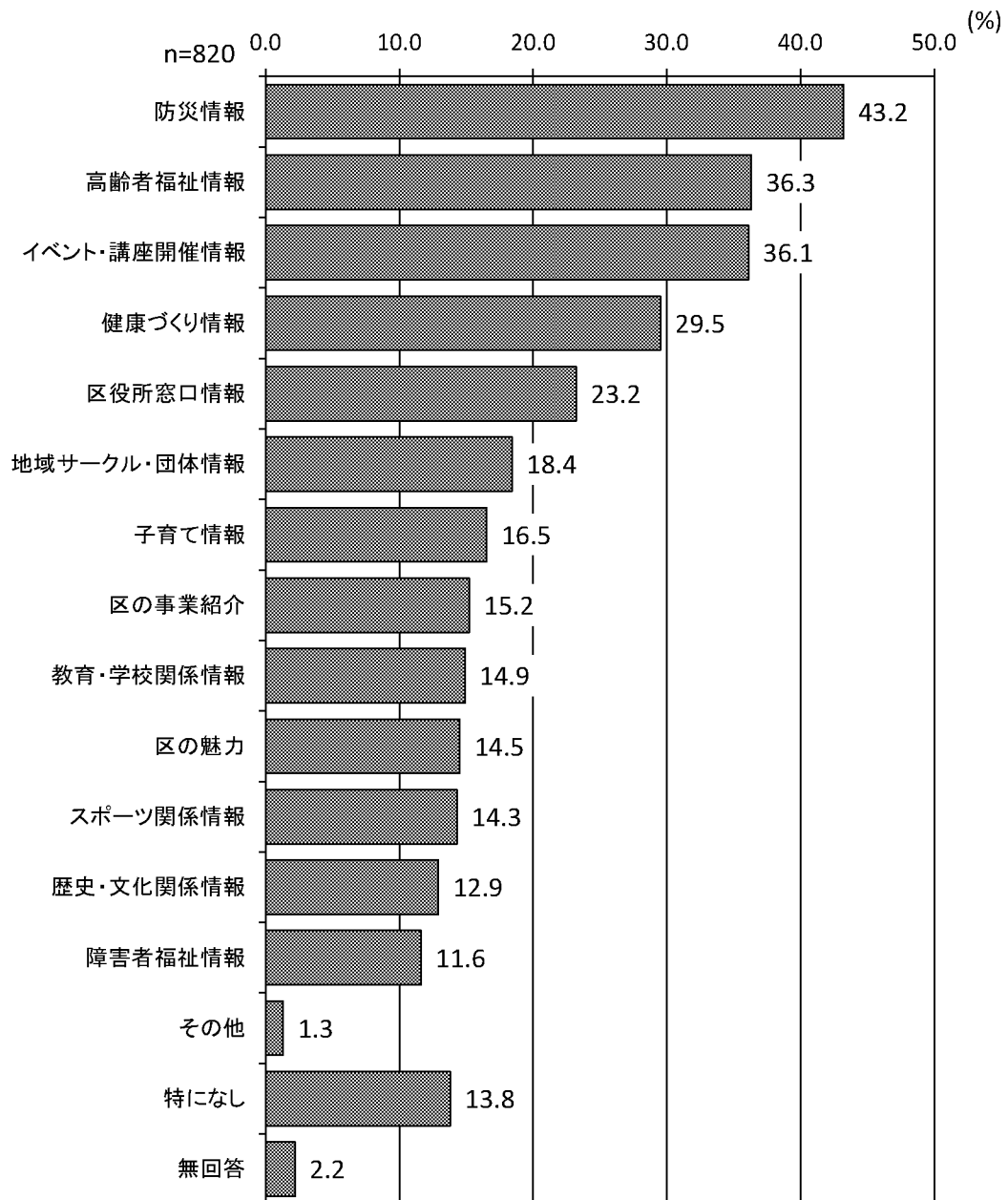


図2-4-2 「市政だより」で取り上げて欲しいテーマ <性別・性年代別>

(上位8項目)

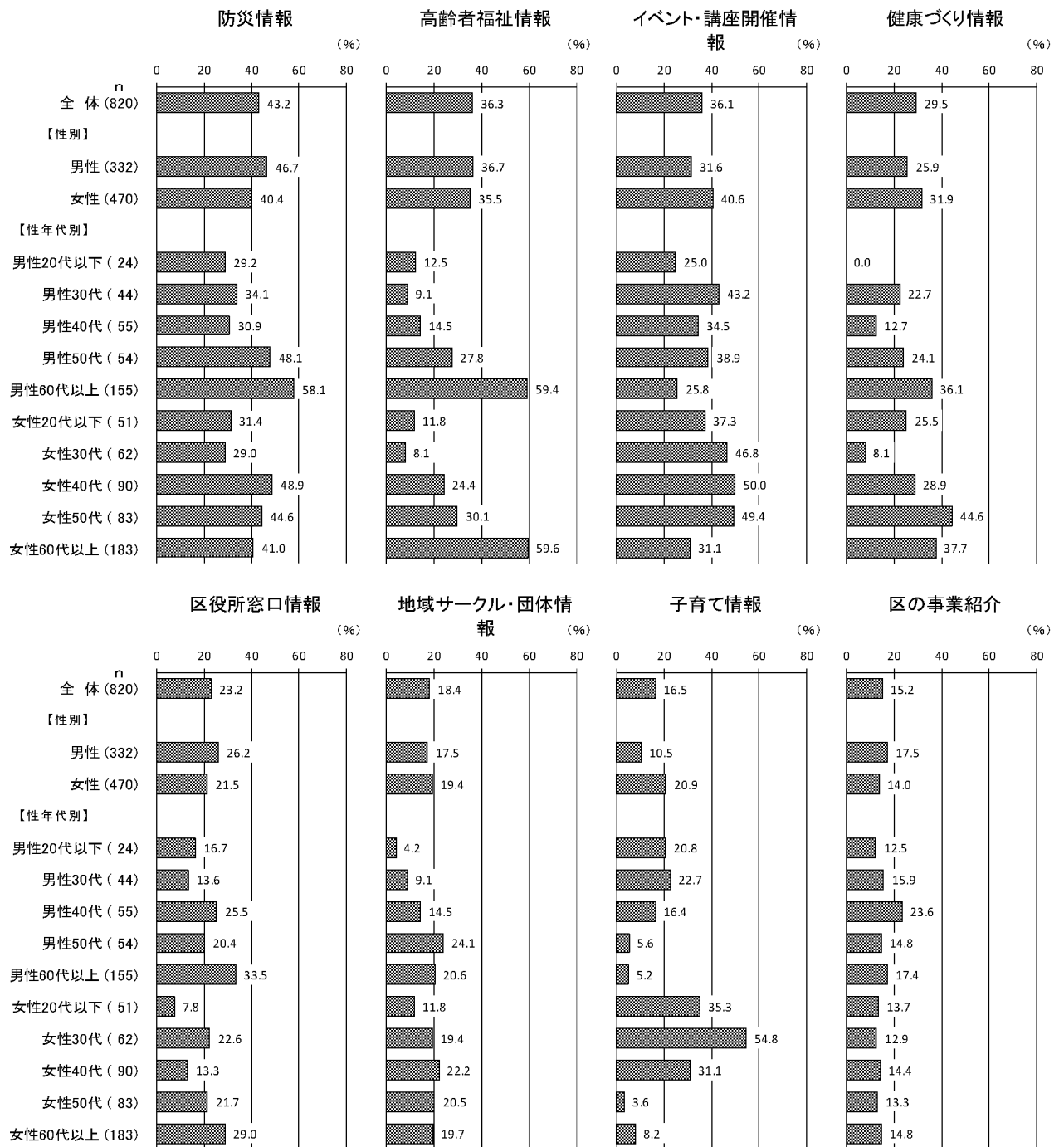
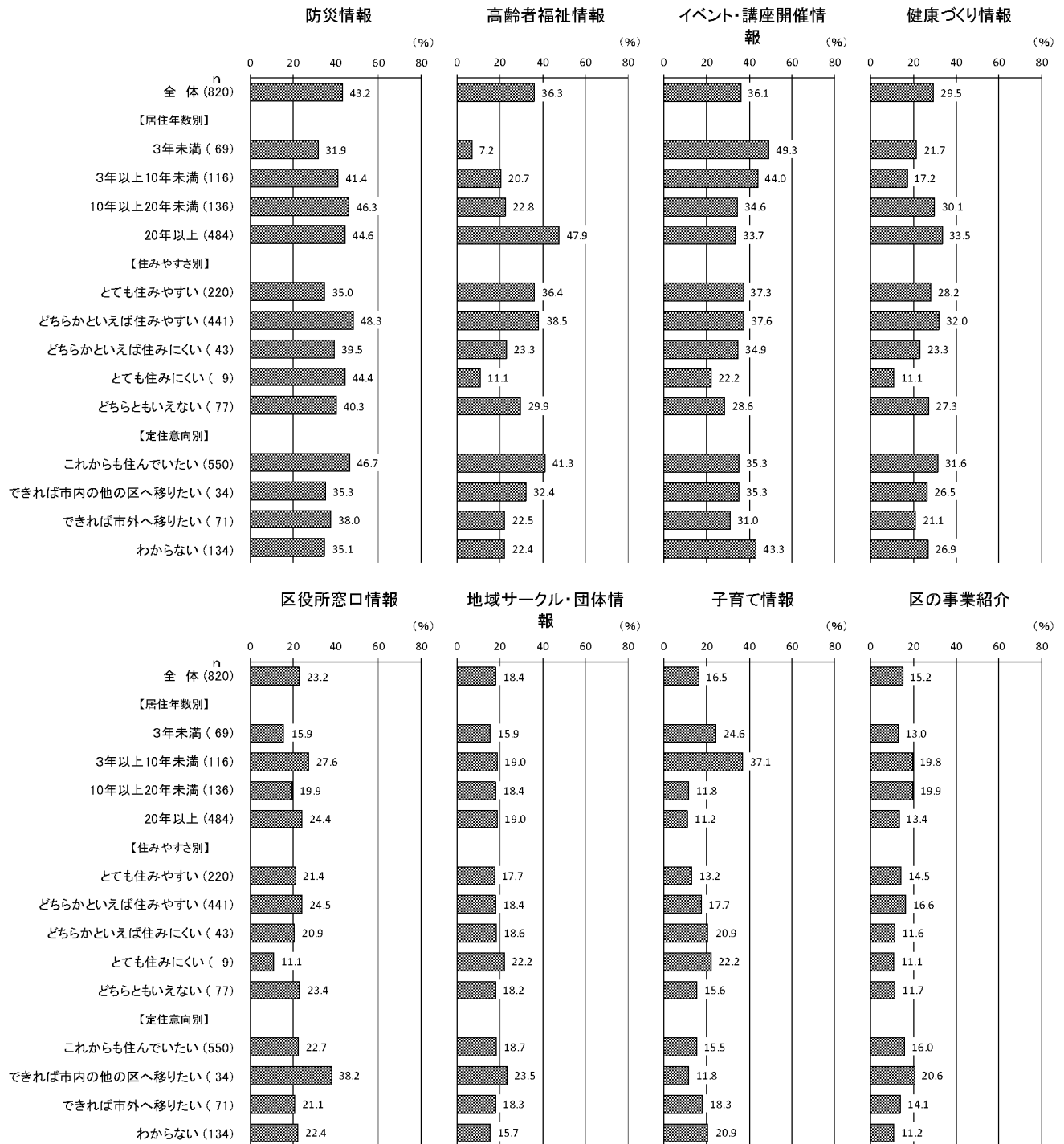


図2-4-3 「市政だより」で取り上げて欲しいテーマ

＜居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別＞
(上位8項目)



3 防災における自助の取組について

(1) 自助の取組として実践している取組

問8 「自助の取組」として実践していることを教えてください。
(あてはまるもの全てに○)

全 体 「非常食・飲料水の備蓄（3日～6日分）」（46.6%）が最も高く、次いで「家族との連絡手段の確認」（36.8%）、「非常持ち出し品の用意」（30.6%）と続いている。

（図3-1-1）

性 別 「自宅周辺の危険要素の把握（洪水発生時の浸水状況など）」では「男性」（20.2%）が「女性」（14.3%）より5.9ポイント高くなっている。一方、「非常持ち出し品の用意」では「女性」（33.2%）が「男性」（27.1%）より6.1ポイント高くなっている。

（図3-1-2）

性年代別 「非常食・飲料水の備蓄（3日～6日分）」では、年代が高くなるにつれて割合が高くなる傾向にある。（図3-1-2）

居住年数別 居住年数「3年未満」では、割合が低くなる傾向があり、「非常食・飲料水の備蓄（3日～6日分）」では34.8%と「3年以上10年未満」の50.9%に比べ、16.1ポイント低く、「非常持ち出し品の用意」では15.9%と「3年以上10年未満」の30.2%に比べ、14.3ポイント低くなっている。（図3-1-3）

図3-1-1 実践している取組

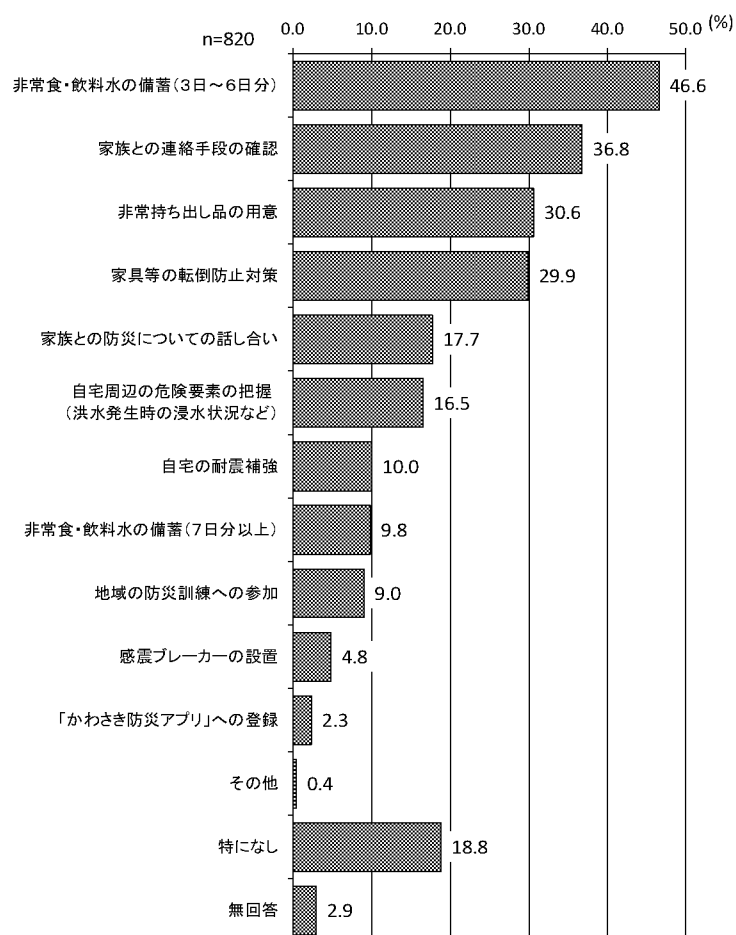


図3-1-2 実践している取組 <性別・性年代別>

(上位8項目)

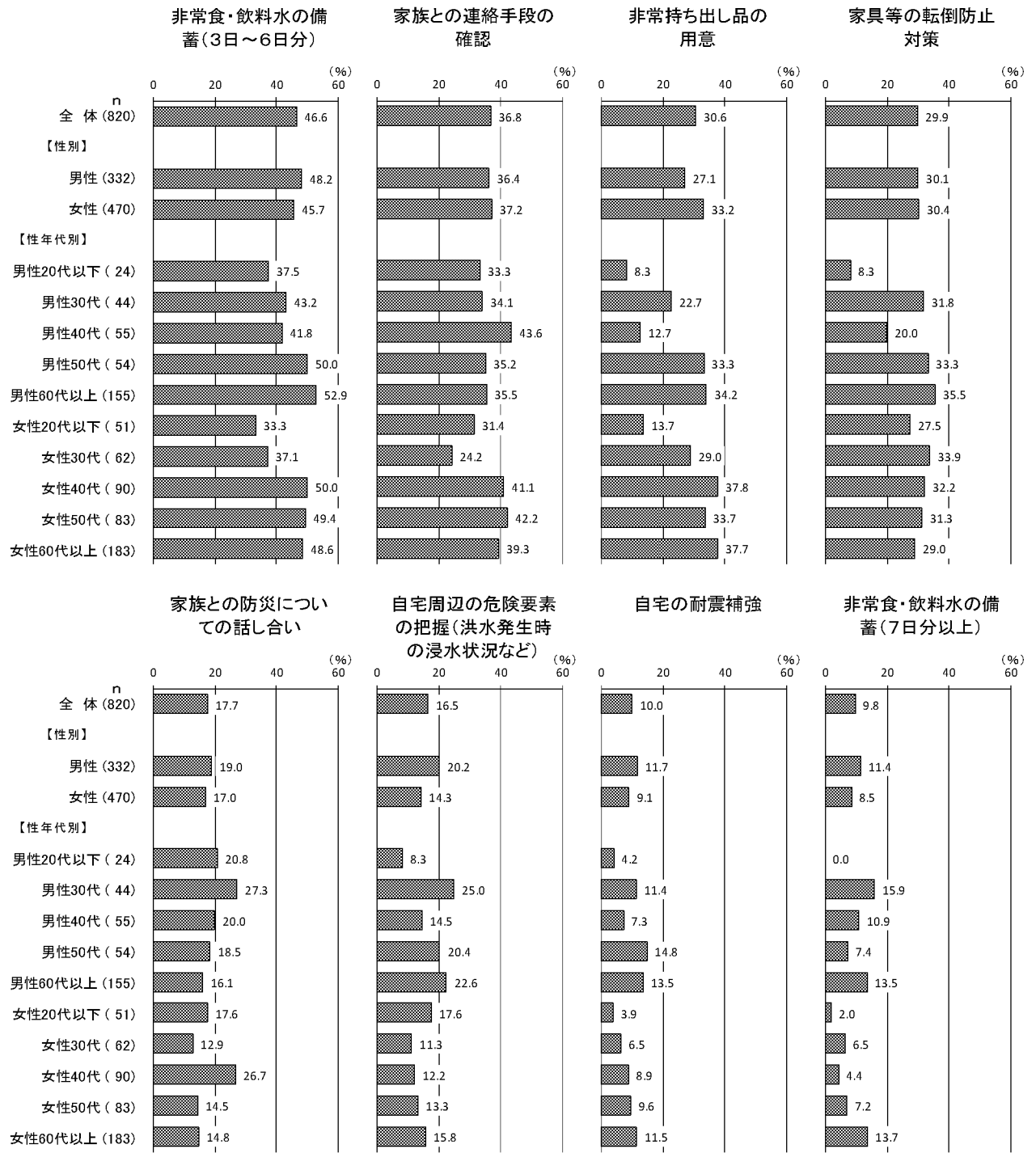
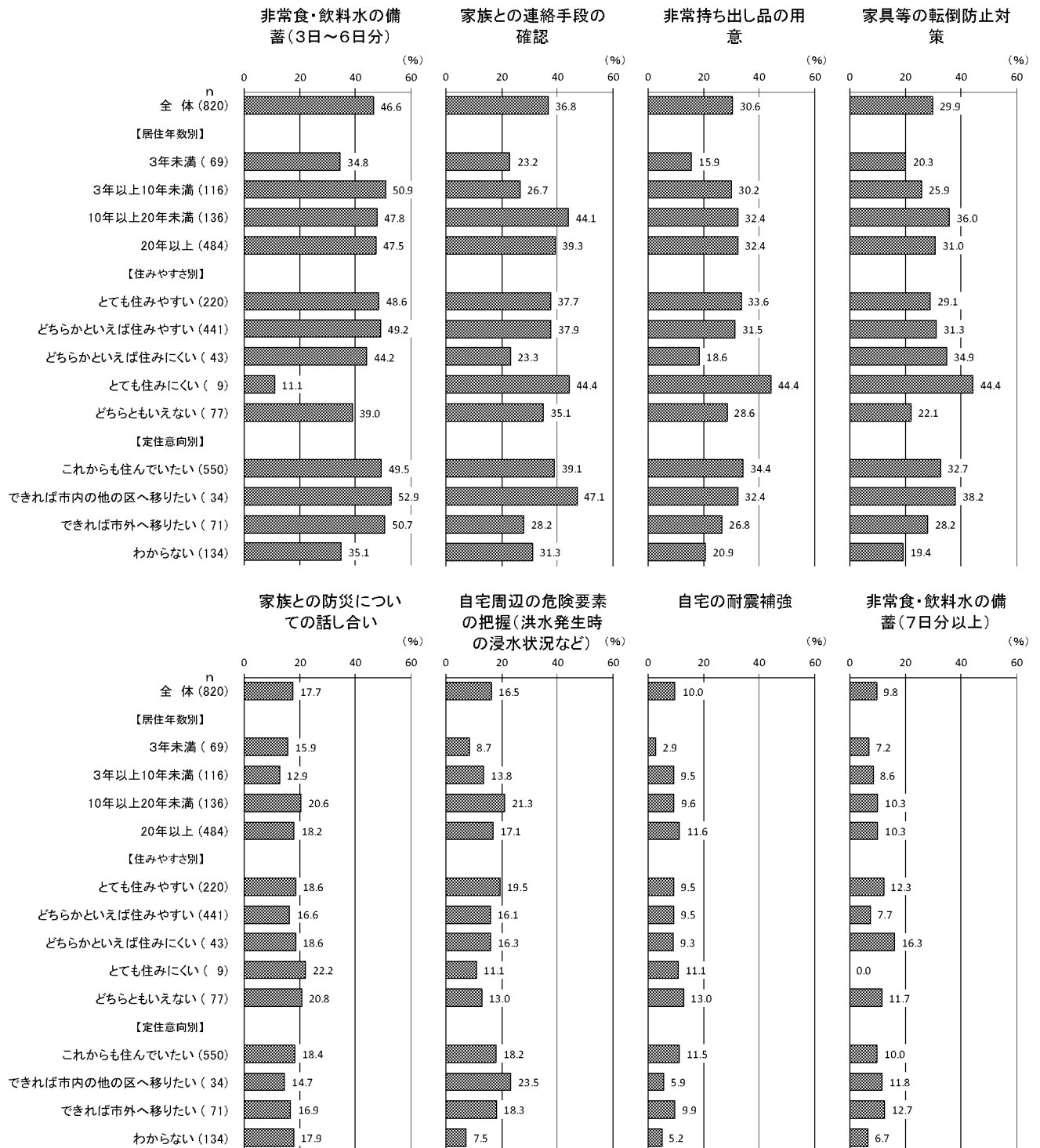


図 3-1-3 実践している取組

<居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別>

(上位8項目)



4 町内会・自治会活動、近所付き合い、地域包括ケアシステムなどについて

(1) 町内会・自治会への加入状況

問9 町内会・自治会に加入していますか。(あてはまるもの1つに○)

全 体 「加入している」が64.4%、「加入していない」が32.2%となっている。
(図4-1-1)

性 別 「加入している」では、「女性」(68.1%)が「男性」(60.2%)より7.9ポイント高くなっている。(図4-1-2)

性年代別 年代が高くなるにつれて「加入している」の割合は高くなる傾向にあり、「女性60代以上」(83.6%)で8割台、「女性50代」(71.1%)で約7割となっている。一方で、「加入していない」は「男性20代以下」(66.7%)が最も高く、次いで「女性20代以下」(58.8%)、「男性30代」(54.5%)と続いている。(図4-1-2)

居住年数別 居住年数が長くなるにつれて「加入している」の割合は高くなる傾向にあり、「20年以上」が77.3%、「10年以上20年未満」が63.2%となっている。一方で、「加入していない」は「3年未満」が68.1%で最も高く、次いで「3年以上10年未満」が56.9%と続いている。(図4-1-3)

図4-1-1 町内会・自治会への加入状況

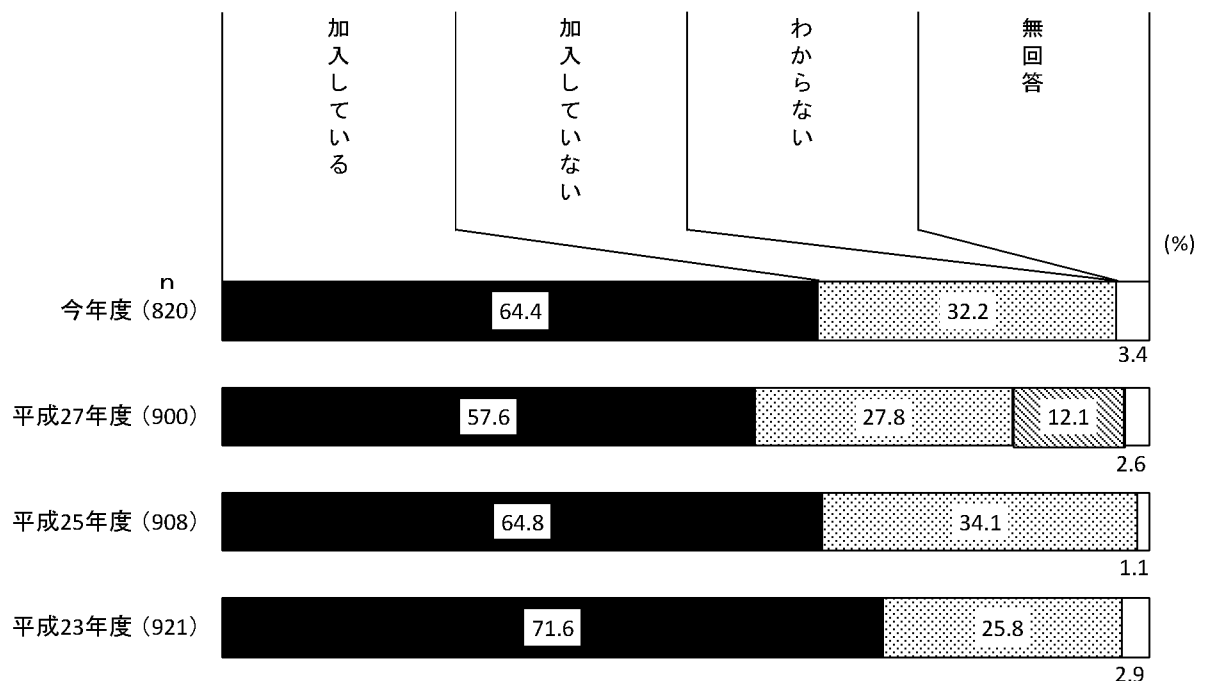


図 4－1－2 町内会・自治会への加入状況 <性別・性年代別>

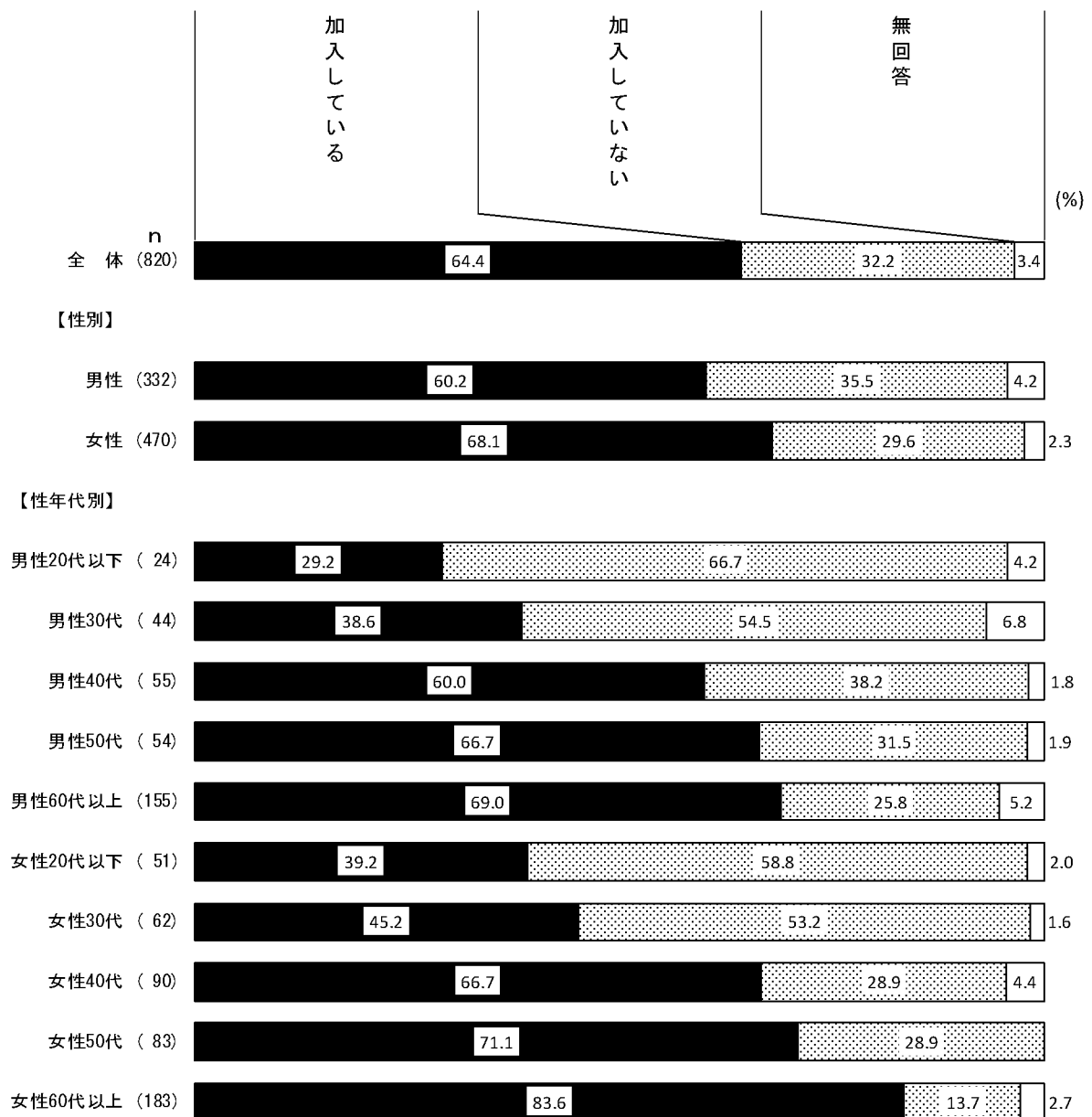
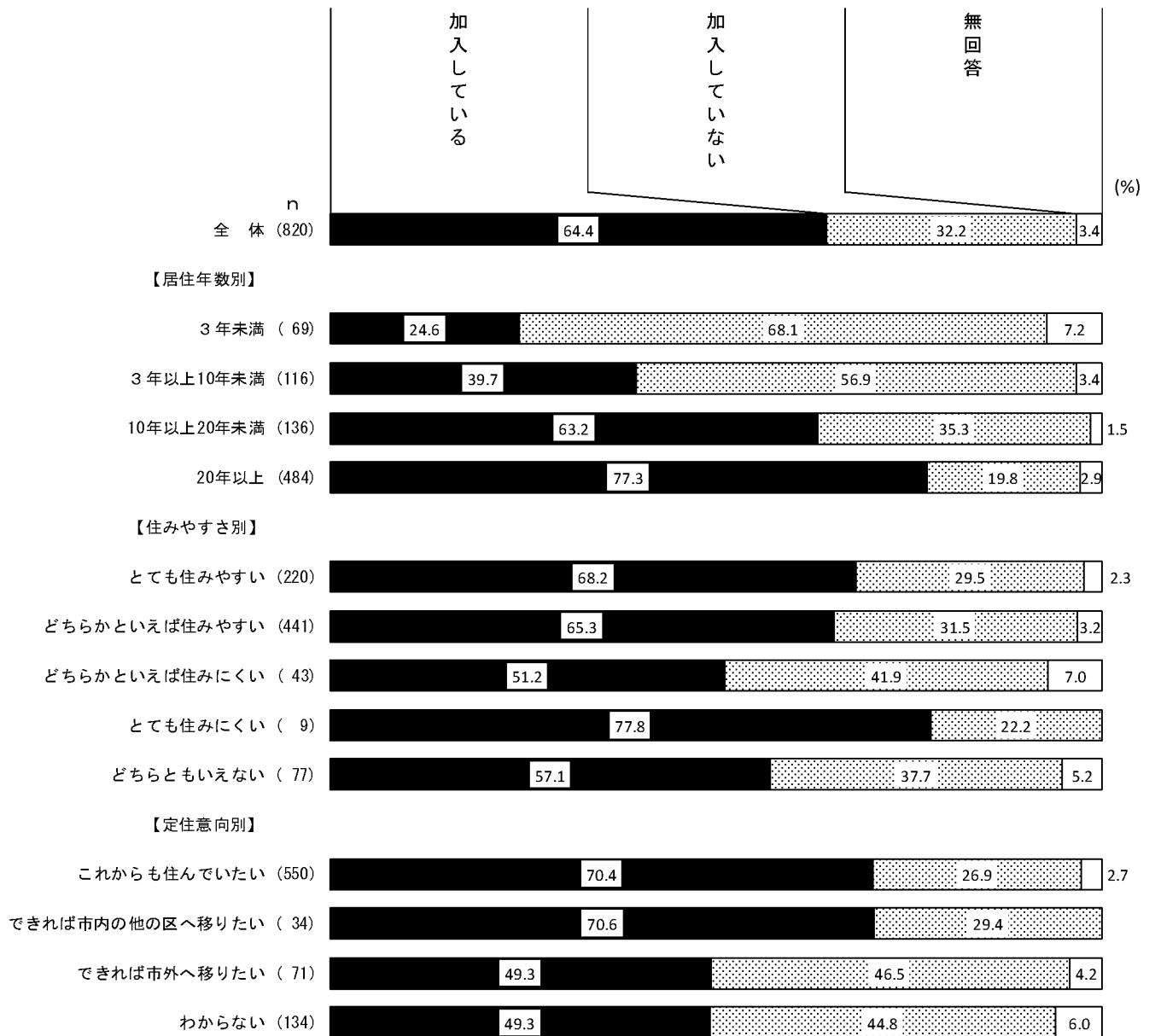


図 4 - 1 - 3 町内会・自治会への加入状況

＜居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別＞



(2) 町内会・自治会に加入していない理由

《問9で2と回答した方にお聞きします》

問10 町内会・自治会に加入していない理由をお選びください。(あてはまるもの全てに○)

全 体 「加入するきっかけがない」(46.6%/平成27年度調査42.4%)が最も高く、次いで「町内会・自治会の活動内容が分からない」(28.0%/平成27年度調査20.4%)、「加入の仕方が分からない」(27.7%/平成27年度調査20.0%)、「仕事、子育て、介護などで忙しい」(27.7%/平成27年度調査27.2%)となっている。(図4-2-1)

性 別 「町内会・自治会の活動に関心がない」では、「男性」が「女性」より5.1ポイント高くなっている。一方、「役員などの役割が負担になる」では、「女性」が「男性」より14.8ポイント、「町内会・自治会の活動内容が分からない」が10.9ポイント、「加入の仕方が分からない」が5.5ポイント高くなっている。(図4-2-2)

居住年数別 「加入するきっかけがない」では、「居住年数3年未満」(57.4%)が最も高くなっている。「役員などの役割が負担になる」では、「居住年数3年以上10年未満」(36.4%)が最も高くなっている。(図4-2-3)

図4-2-1 町内会・自治会に加入していない理由

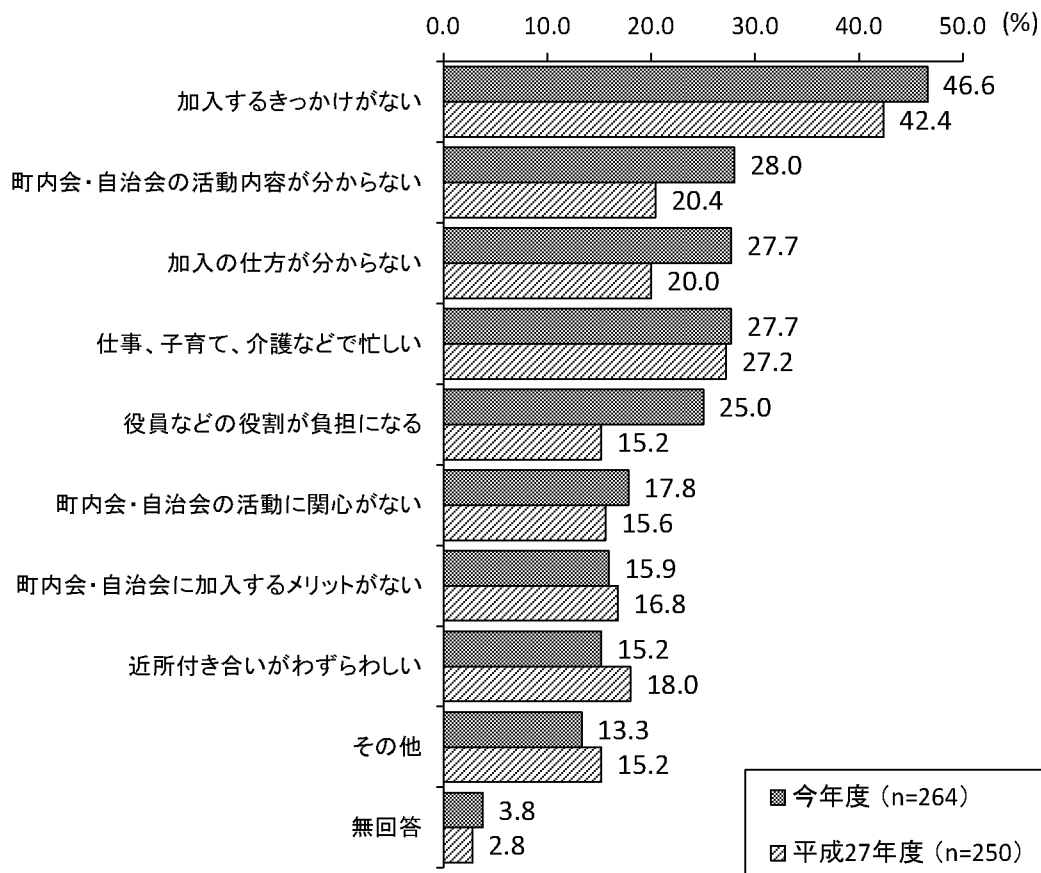


図4-2-2 町内会・自治会に加入していない理由＜性別・性年代別＞

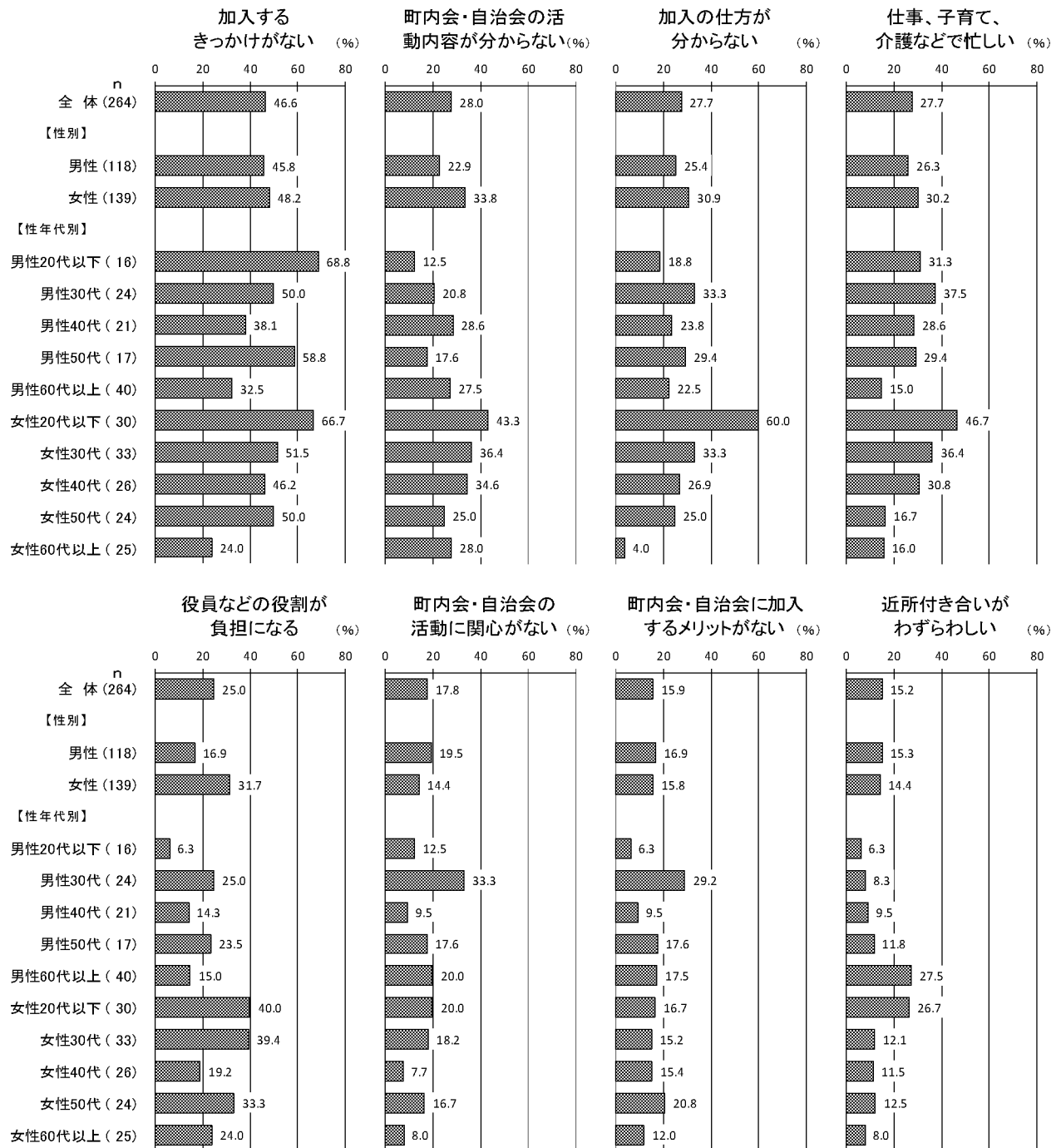
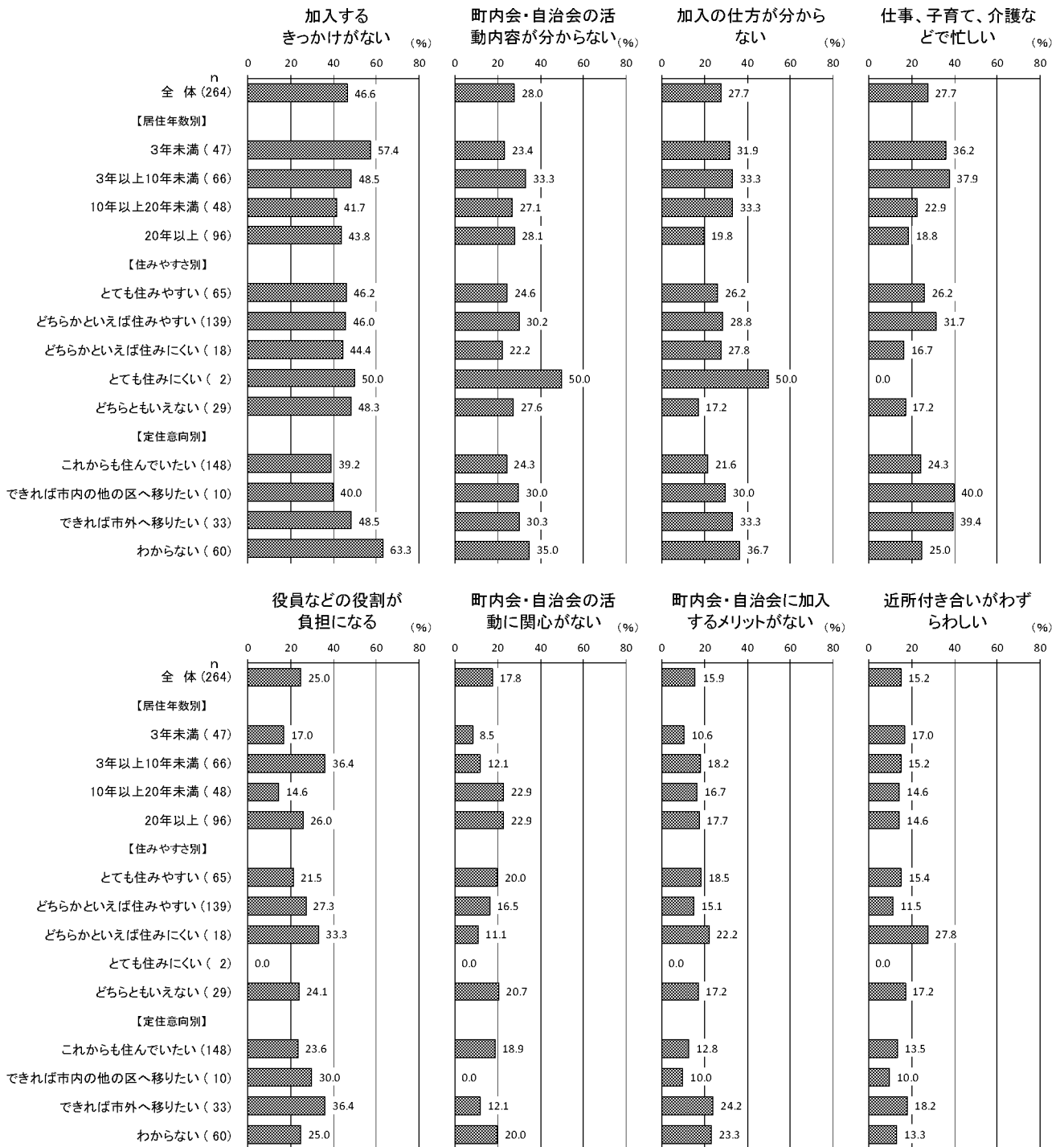


図 4-2-3 町内会・自治会に加入していない理由

<居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別>



(3) 町内会・自治会に加入していないことによる不安

《問9で2と回答した方にお聞きします》

問11 町内会・自治会に加入していないことにより、災害時、介護や支援を要する状態になった際の不安を感じることはありますか。(あてはまるもの1つに○)

全 体 「同居（または近くに住んでいる）の家族がいるので大丈夫」(25.8%)が最も高く、次いで「不安は感じるが、これまで加入していなかったので、今さら加入するのは気が引ける」(12.1%)、「不安は感じるが、それ以上に近所付き合いがわずらわしい」(11.4%)と続いている。(図4-3-1)

性 別 「自分でなんとかできるので大丈夫」では、「男性」(13.6%)の方が「女性」(4.3%)より9.3ポイント高くなっている。一方、「不安は感じるが、これまで加入していなかったので、今さら加入するのは気が引ける」では、「女性」(15.1%)が「男性」(9.3%)より5.8ポイント高くなっている。(図4-3-2)

図4-3-1 町内会・自治会に加入していないことによる不安

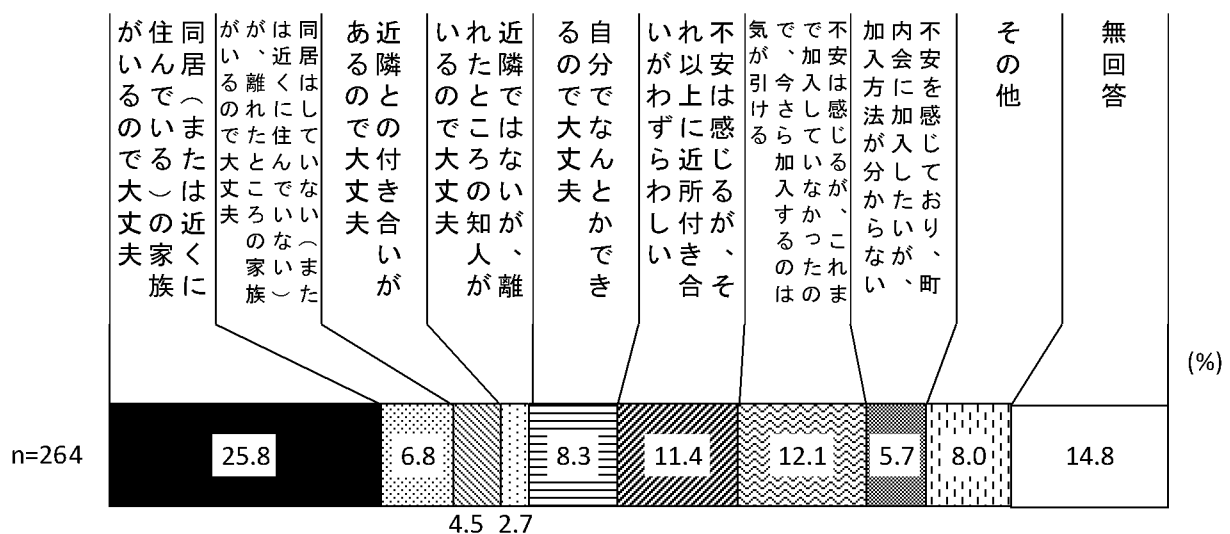
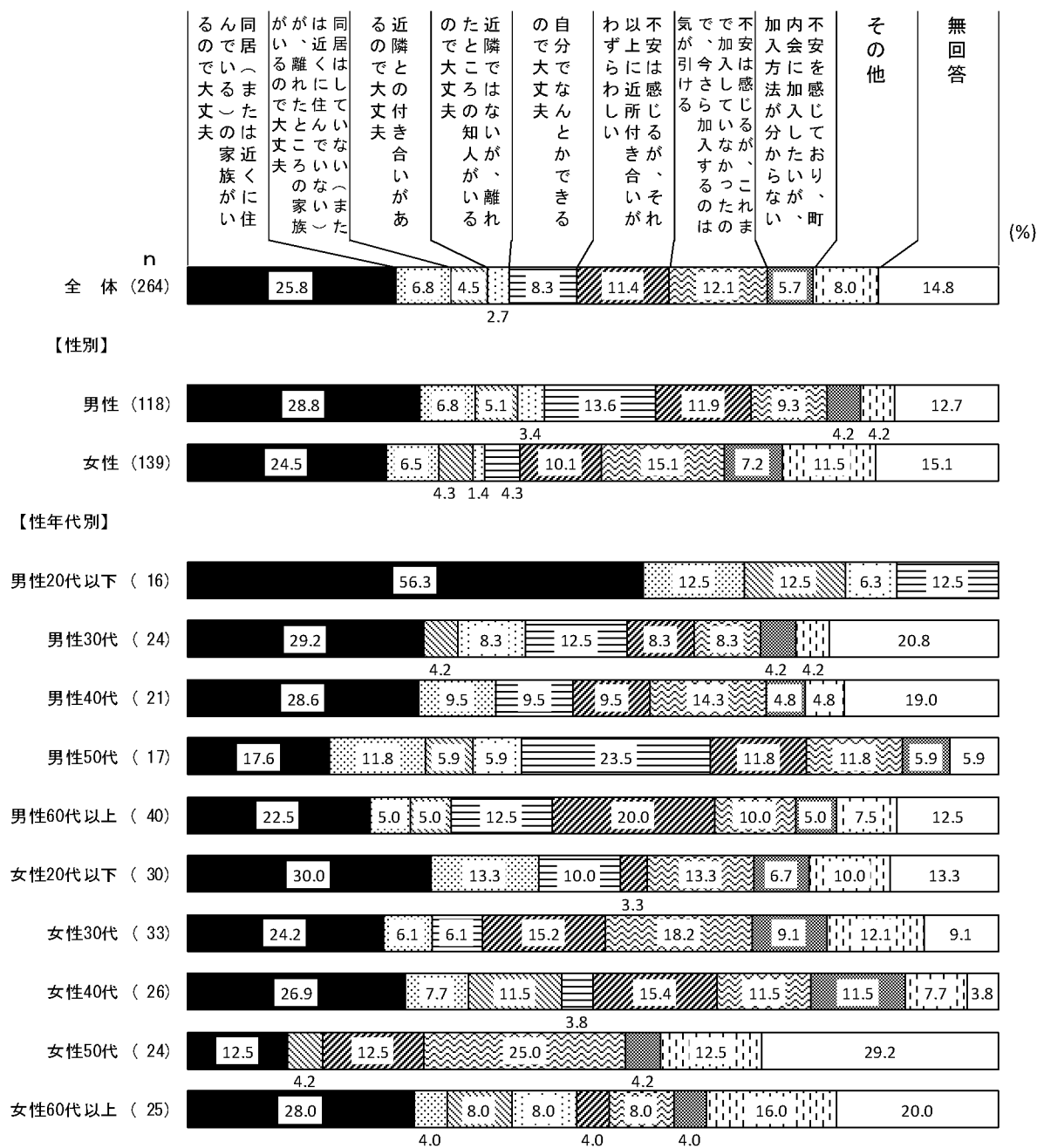


図4-3-2 町内会・自治会に加入していないことによる不安 <性別・性年代別>



(4) 近所付き合いの程度

問12 日頃の近所付き合いの程度について教えてください。(あてはまるもの1つに○)

全 体 「あいさつ程度」(36.8%)が最も高く、次いで「ときどき話をする程度」(18.7%)、「日常的に親しく話をする」(14.6%)、「ほとんど付き合いがない」(11.0%)と続いている。(図4-4-1)

性 別 「あいさつ程度」では、「男性」(40.4%)が「女性」(34.5%)より5.9ポイント高くなっている。一方、「日常的に親しく話をする」では、「女性」(16.2%)が「男性」(13.0%)より3.2ポイント高くなっている。(図4-4-2)

性年代別 「あいさつ程度」では、「男性20代以下」(58.3%)、「男性30代」(54.5%)で高くなっている。一方、「日常的に親しく話をする」では、「女性60代以上」(27.3%)が高くなっている。(図4-4-2)

居住年数別 「ときどき話をする程度」では居住年数が長くなるにつれ割合が高くなっており、「20年以上」(21.7%)で最も高くなっている。一方、「ほとんど付き合いがない」では居住年数が長くなるにつれ割合が低くなっている。(図4-4-3)

川 崎 区 の 住みやすさ別 「日常的に親しく話をする」では、「とても住みやすい」(21.8%)が最も高く、次いで「どちらかといえば住みやすい」(12.5%)が続いている。一方、「ほとんど付き合いがない」では「とても住みにくい」(22.2%)で割合が高くなっている。(図4-4-3)

図4-4-1 近所付き合いの程度

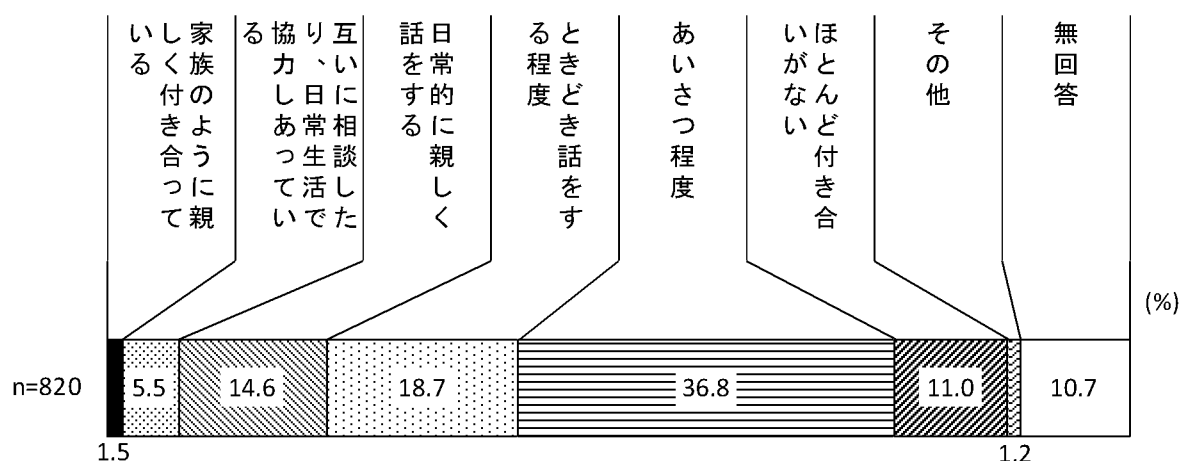


図 4-4-2 近所付き合いの程度 <性別・性年代別>

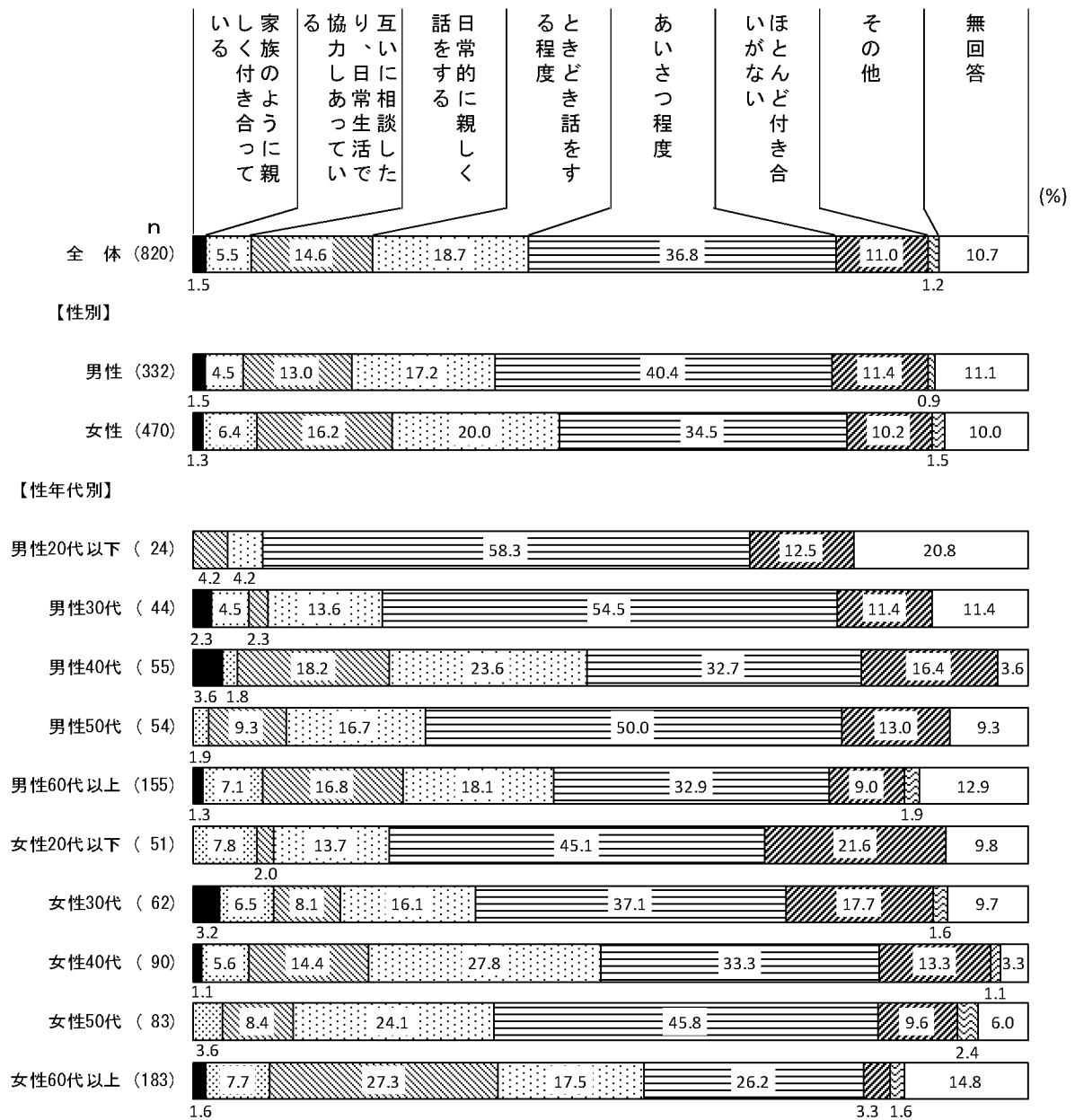
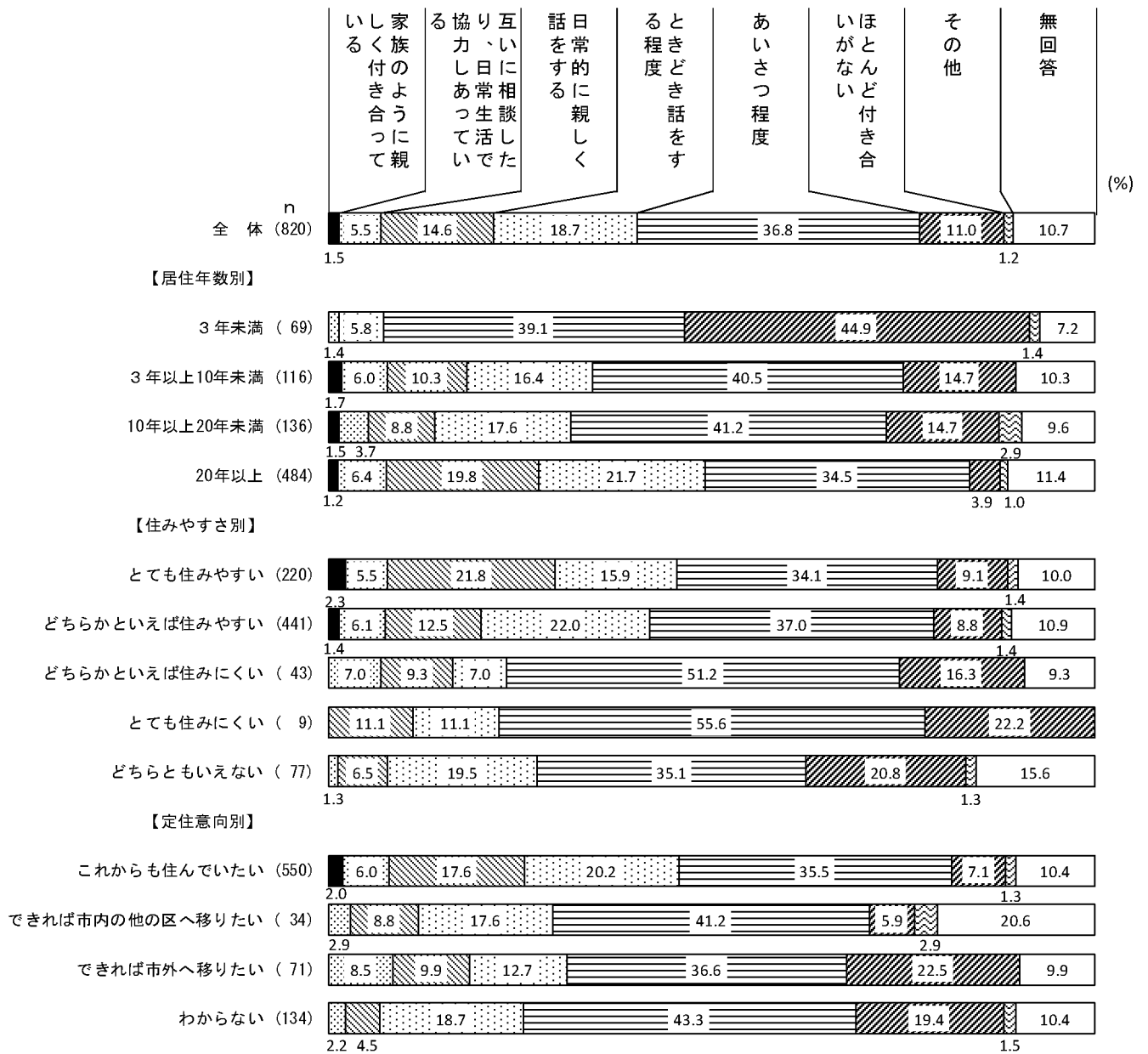


図 4-4-3 近所付き合いの程度

<居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別>



(5) 地域包括ケアシステムの認知度

問13 地域包括ケアシステムという言葉を知っていますか。(あてはまるもの1つに○)

全 体 「知らない」が68.7%、「知っている」が24.6%となっている。(図4-5-1)

性 別 「知っている」では、「女性」(29.4%)の方が「男性」(18.7%)より10.7ポイント高くなっている。(図4-5-2)

性年代別 年代が高くなるにつれて「知っている」の割合は高くなる傾向にあり、「女性60代以上」(42.1%)で最も高くなっている。(図4-5-2)

居住年数別 居住年数が長くなるにつれて「知っている」の割合は高くなる傾向にあり、「20年以上」(31.0%)で最も高くなっている。(図4-5-3)

川 崎 区 の 住みやすさ別 住みやすいと感じている人ほど「知っている」の割合が高く、「とても住みやすい」(28.6%)で最も高くなっている。(図4-5-3)

定住意向別 「知っている」では、「これからも住んでいたい」(26.5%)が最も高く、「できれば市内の他の区へ移りたい」(23.5%)、「できれば市外へ移りたい」(21.1%)と続いている。(図4-5-3)

図4-5-1 地域包括ケアシステムの認知度

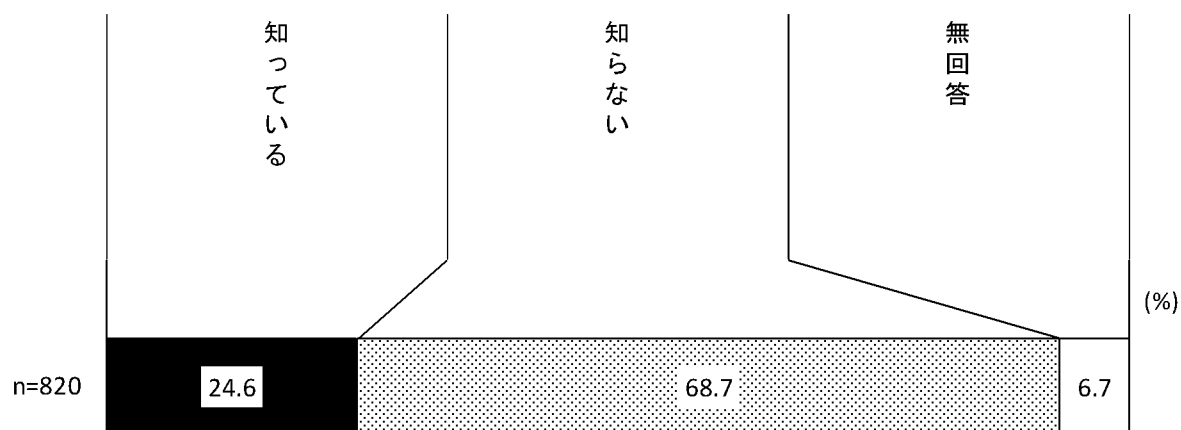


図4-5-2 地域包括ケアシステムの認知度 <性別・性年代別>

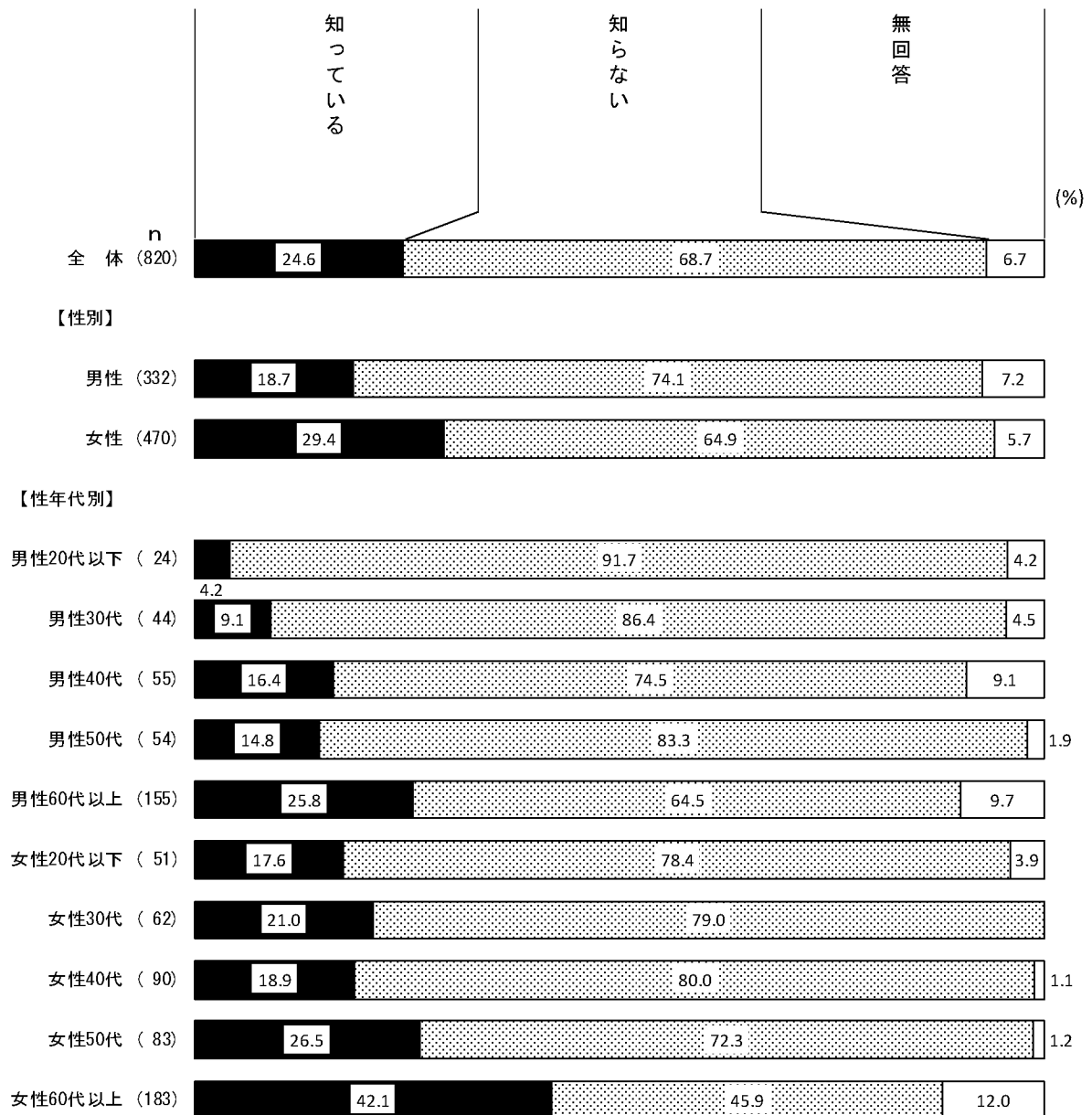
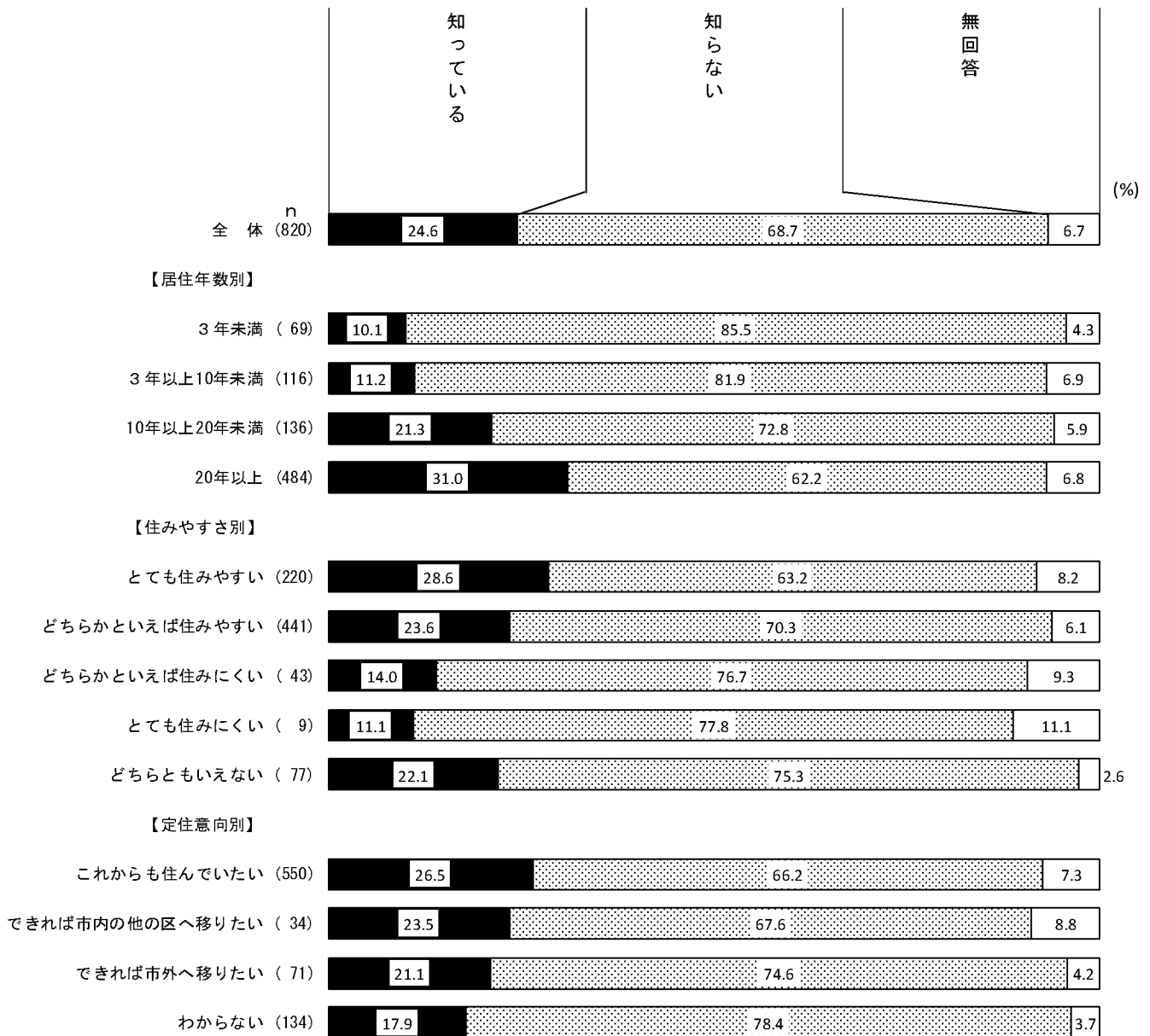


図 4－5－3 地域包括ケアシステムの認知度

＜居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別＞



(6) 地域包括ケアシステムに関する行動

《問13で1と回答した方にお聞きします》

問14 地域包括ケアシステムに関する具体的な行動をしていますか。(あてはまるもの1つに○)

全 体 「何をしたらよいか分からないので、「具体的な行動はしていない」(45.0%)が最も高く、次いで「何をしたらよいかは分かっているが、「具体的な行動はしていない」(27.2%)、「具体的に行動している」(25.2%)と続いている。(図4-6-1)

性 別 「具体的に行動している」では、「男性」(30.6%)の方が「女性」(22.5%)より8.1ポイント高くなっている。(図4-6-2)

図4-6-1 地域包括ケアシステムに関する行動

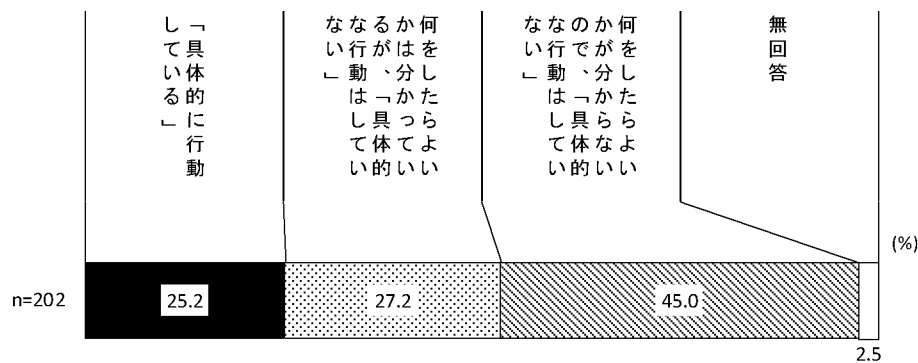
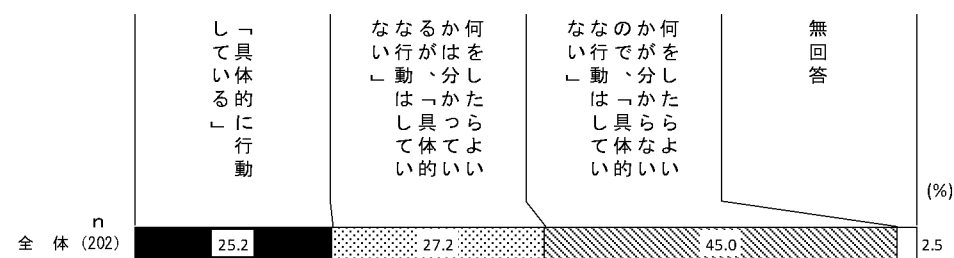
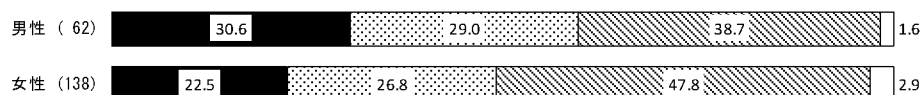


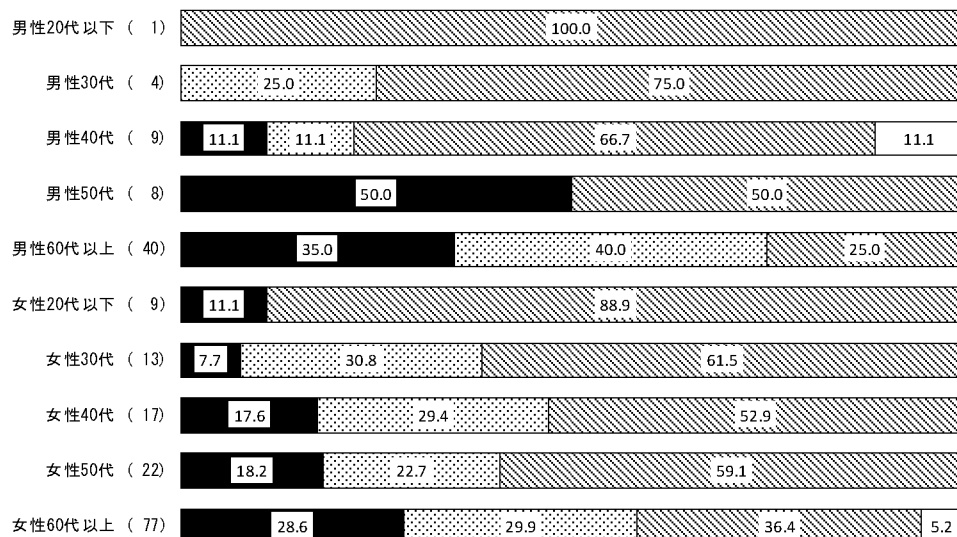
図4-6-2 地域包括ケアシステムに関する行動 <性別・性年代別>



【性別】



【性年代別】



(7) 困り事を相談できる人の有無

問15 困り事があったときに、近所に相談できる人やちょっとした手助けを頼める人がいますか。
(あてはまるもの1つに○)

全 体 「いる」が52.6%、「いない」が43.8%となっている。(図4-7-1)

性 別 「いる」では、「女性」(55.3%)が「男性」(49.7%)より5.6ポイント高くなっている。(図4-7-2)

性年代別 「いる」では、「女性30代」(64.5%)、「男性20代以下」(62.5%)、「女性60代以上」(61.7%)で割合が高くなっている。一方、「いない」では「女性50代」(60.2%)、「男性30代」(59.1%)、「男性50代」(55.6%)で割合が高くなっている。(図4-7-2)

居住年数別 居住年数が長くなるにつれて「いる」の割合は高くなる傾向にあり、「20年以上」(55.6%)で最も高くなっている。(図4-7-3)

川 崎 区 の 住みやすいと感じている人ほど「いる」の割合は高くなる傾向にあり、「とても住み
住みやすさ別 やすい」(59.5%)で最も高くなっている。(図4-7-3)

図4-7-1 困り事を相談できる人の有無

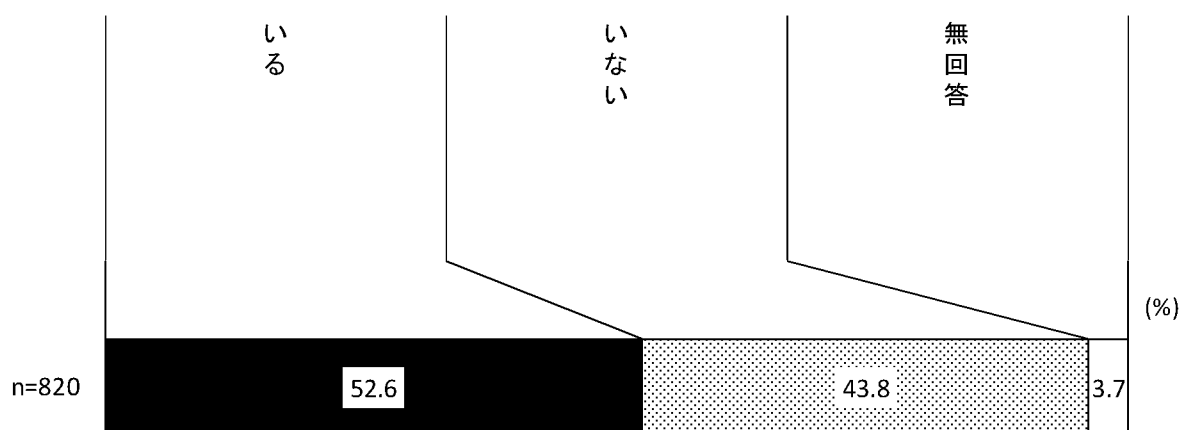


図 4－7－2 困り事を相談できる人の有無 <性別・性年代別>

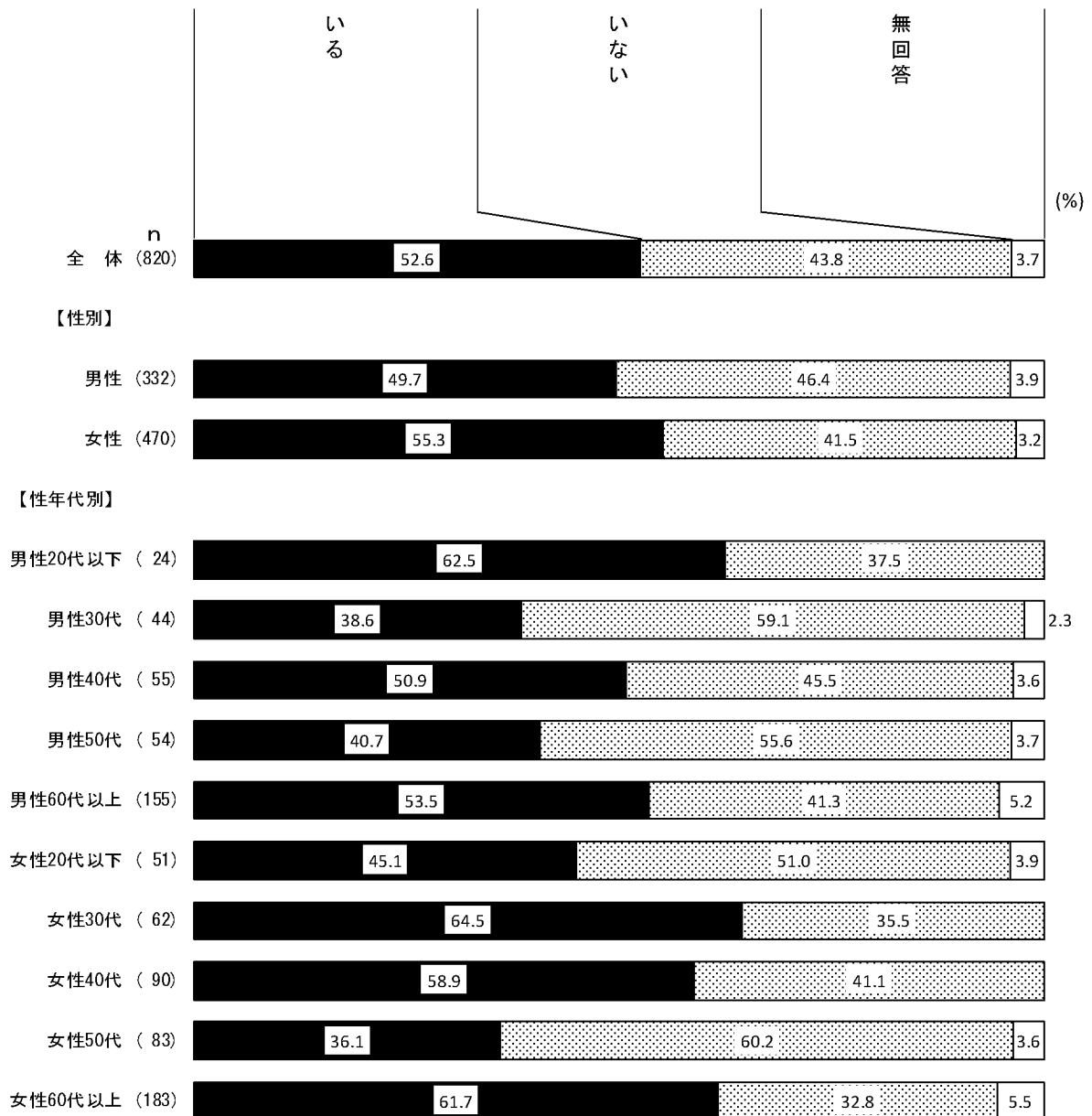
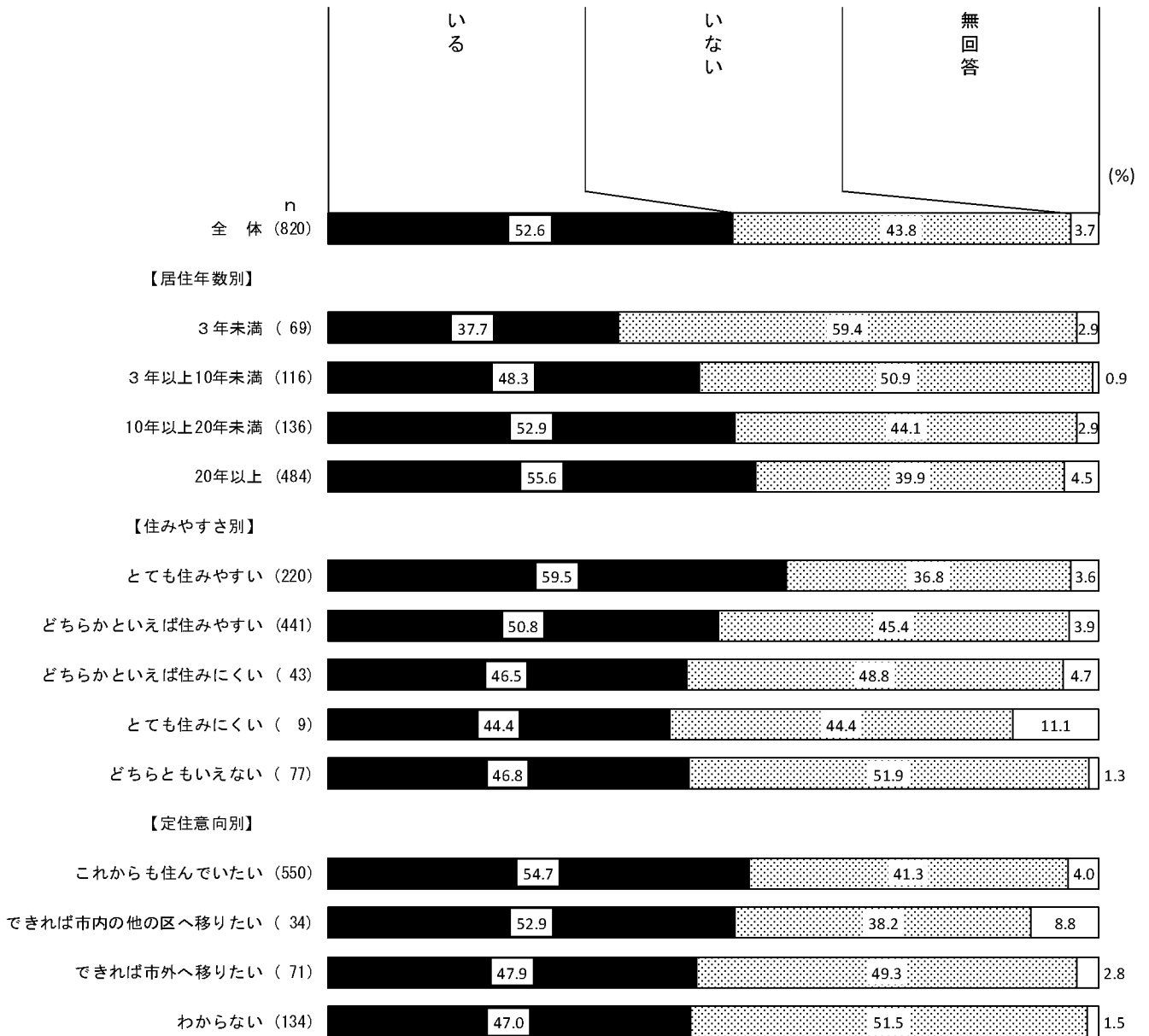


図 4－7－3 困り事を相談できる人の有無

<居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別>



(8) 介護や支援に関する相談相手

問16 あなたが介護や支援を要する状態になったとき、または家族が介護や支援を要する状態になったとき、誰に相談したいですか。(あてはまるものに、3つまで○)

全 体 「家族」(77.8%) が最も高く、次いで「友人・知人」(34.5%)、「ケアマネージャー・ヘルパー」(31.0%) と続いている。(図4-8-1)

性 別 「男性」、「女性」とともに、「家族」が最も高く、ついで、「友人・知人」、「ケアマネージャー・ヘルパー」となっており、性別による特徴的な差は見られなかった。
(図4-8-2)

性年代別 「家族」では、「男性20代以下」(91.7%)、「女性20代以下」(90.2%)と他の年代より割合が高くなっている。一方、「民生委員・児童委員」では、「男性60代以上」(14.1%)、「女性60代以上」(13.1%)と割合が高くなっている。(図4-8-2)

居住年数別 「ケアマネージャー・ヘルパー」、「地域包括支援センター」では居住年数が長くなるにつれ割合が高くなっている。一方、「区役所(地域みまもり支援センター)」では居住年数が「3年以上10年未満」(37.9%)で割合が最も高くなっている。
(図4-8-3)

定住意向別 「これからも住んでいたい」では「地域包括支援センター」(24.5%)、「民生委員・児童委員」(11.3%)で割合が高くなっている。一方、「できれば市外へ移りたい」では「家族」(81.7%)で割合が高くなっている。(図4-8-3)

図4-8-1 介護や支援に関する相談

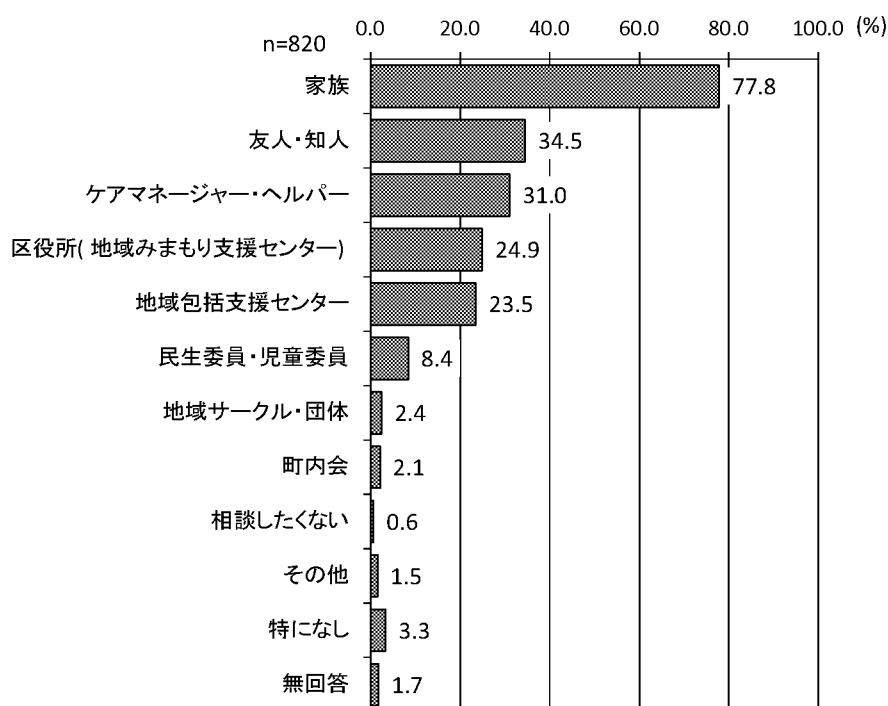


図4-8-2 介護や支援に関する相談 <性別・性年代別>

(上位7項目+「相談したくない」)

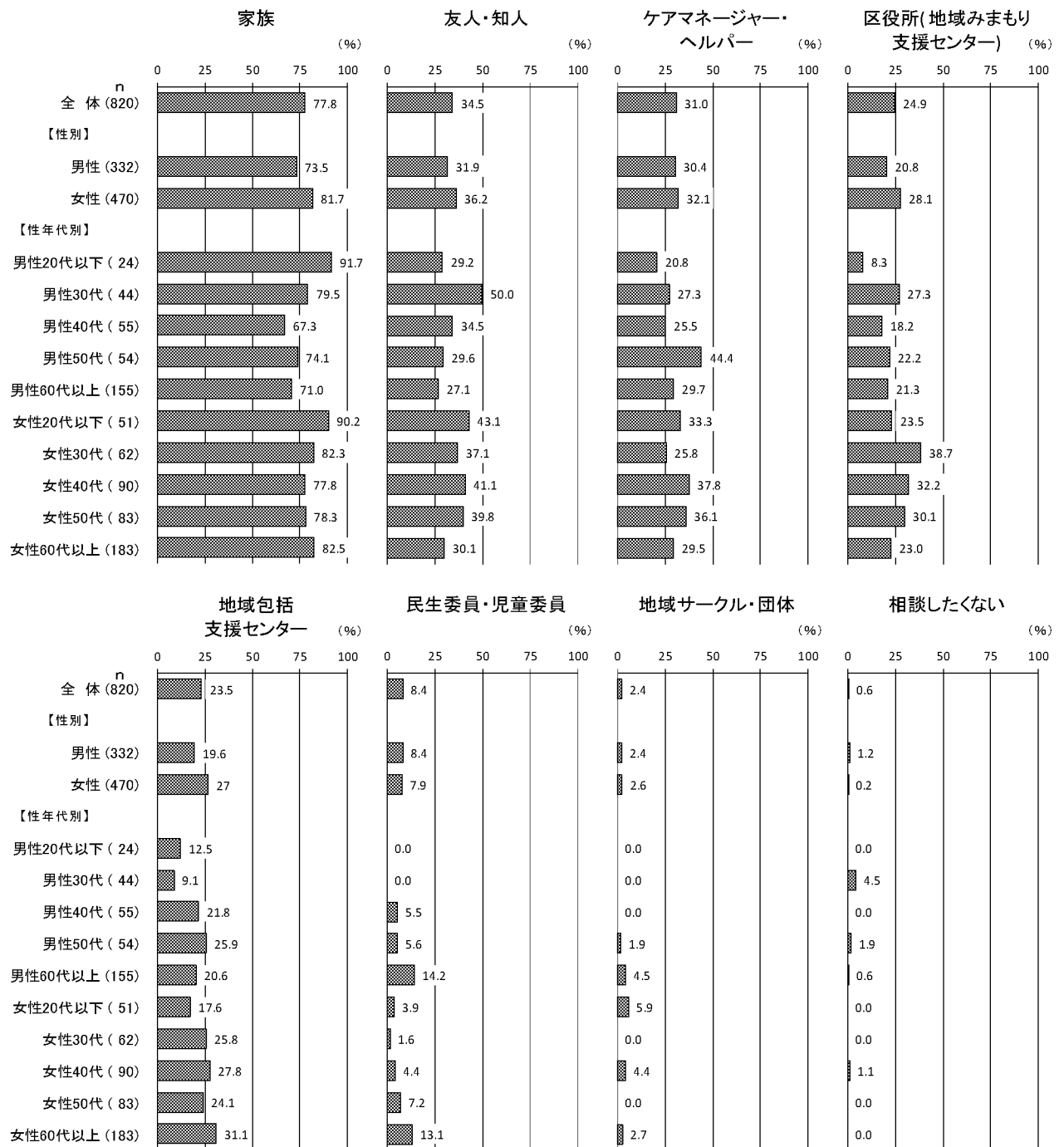
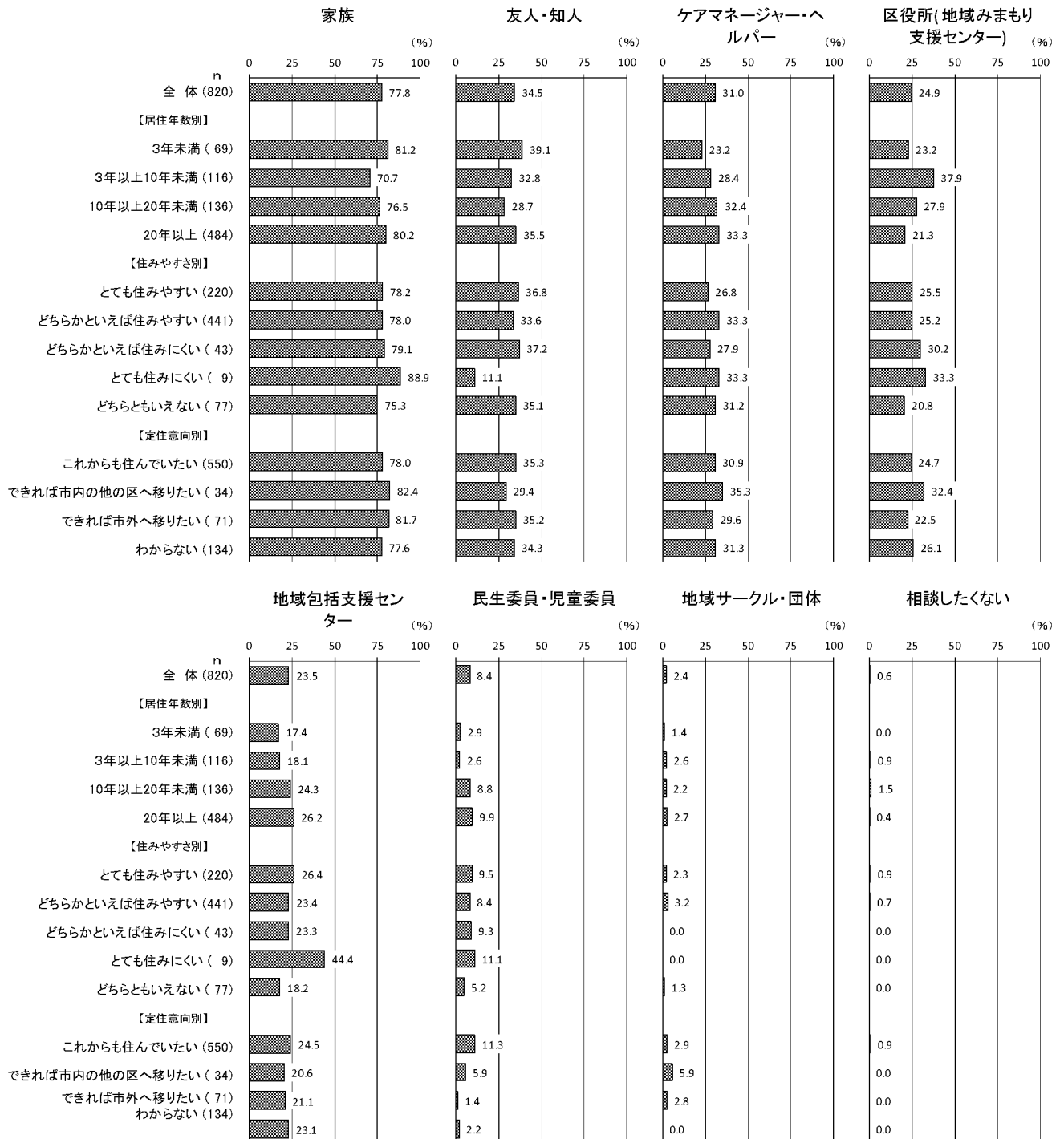


図 4－8－3 介護や支援に関する相談

<居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別>

(上位 7 項目 + 「相談したくない」)



5 「区制50周年」・「東海道川崎宿起立400年」について

(1) 「区制50周年」にあたり重視すべき視点

問17 「区制50周年」にあたり、どのような視点を重視すべきだと思いますか。
(最も重視すべきだと思うもの1つに○)

- 全 体** 「区のイメージアップ」(17.1%)が最も高く、次いで「地域への愛着」(15.5%)、「若者の参画・次世代育成」(11.3%)となっている。(図5-1-1)
- 性 別** 「区のイメージアップ」では、「女性」(19.8%)の方が「男性」(14.2%)より5.6ポイント高くなっている。一方、「歴史への回顧」では、「男性」(7.8%)の方が「女性」(3.6%)より4.2ポイント高くなっている。(図5-1-2)
- 性年代別** 「区のイメージアップ」では、「女性30代」(33.9%)、「男性20代以下」(29.2%)で高くなっている。「地域への愛着」では、「男性50代」(25.9%)で割合が高くなっている。(図5-1-2)
- 居住年数別** 「地域への愛着」では居住年数が「20年以上」(17.6%)で割合が高くなっている。一方、「区のイメージアップ」では居住年数が短くなるにつれ割合が高くなっている。(図5-1-3)
- 川 崎 区 の 住 み や す さ 別** 「地域への愛着」では住みやすいと感じている人ほど割合が高くなっている。一方、「区のイメージアップ」では「どちらかといえば住みにくい」(32.6%)で割合が最も高くなっている。(図5-1-3)
- 定住意向別** 「これからも住んでいたい」では「地域への愛着」(18.4%)で割合が高くなっている。一方、「できれば市外へ移りたい」では「区のイメージアップ」(32.4%)で割合が高くなっている。(図5-1-3)

図5-1-1 区制50周年で重視すべき視点

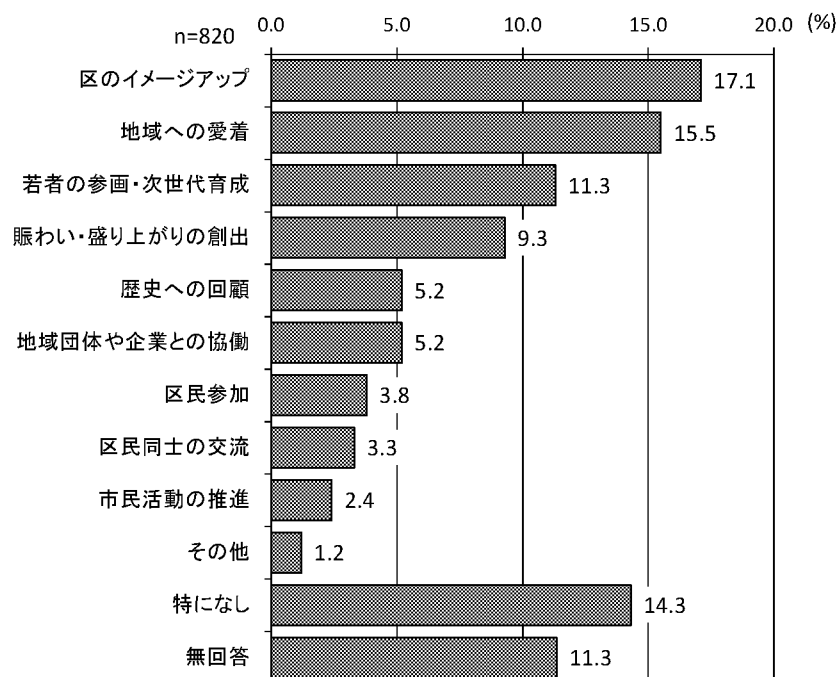


図5－1－2 区制50周年で重視すべき視点 <性別・性年代別>

(上位8項目)

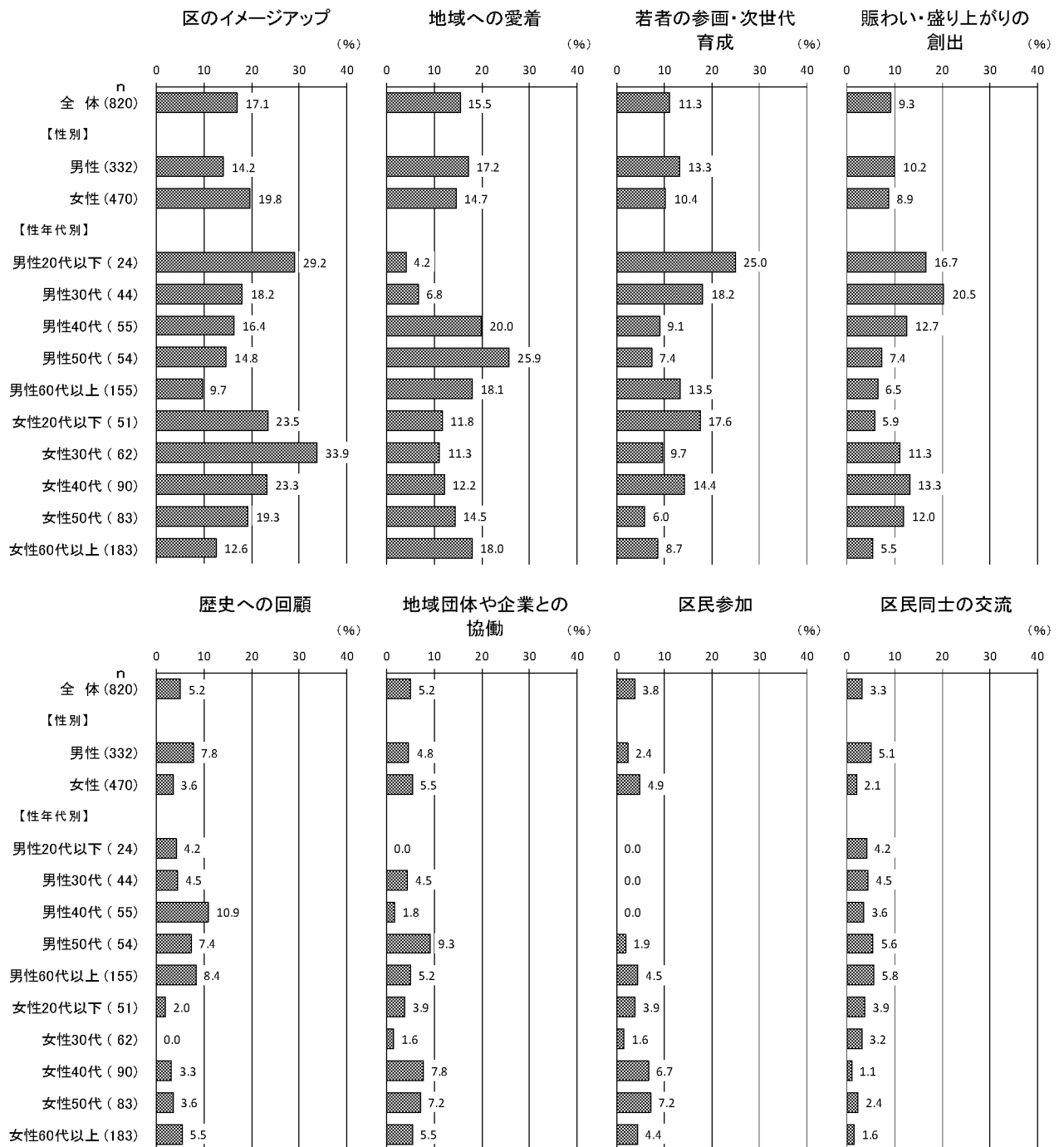
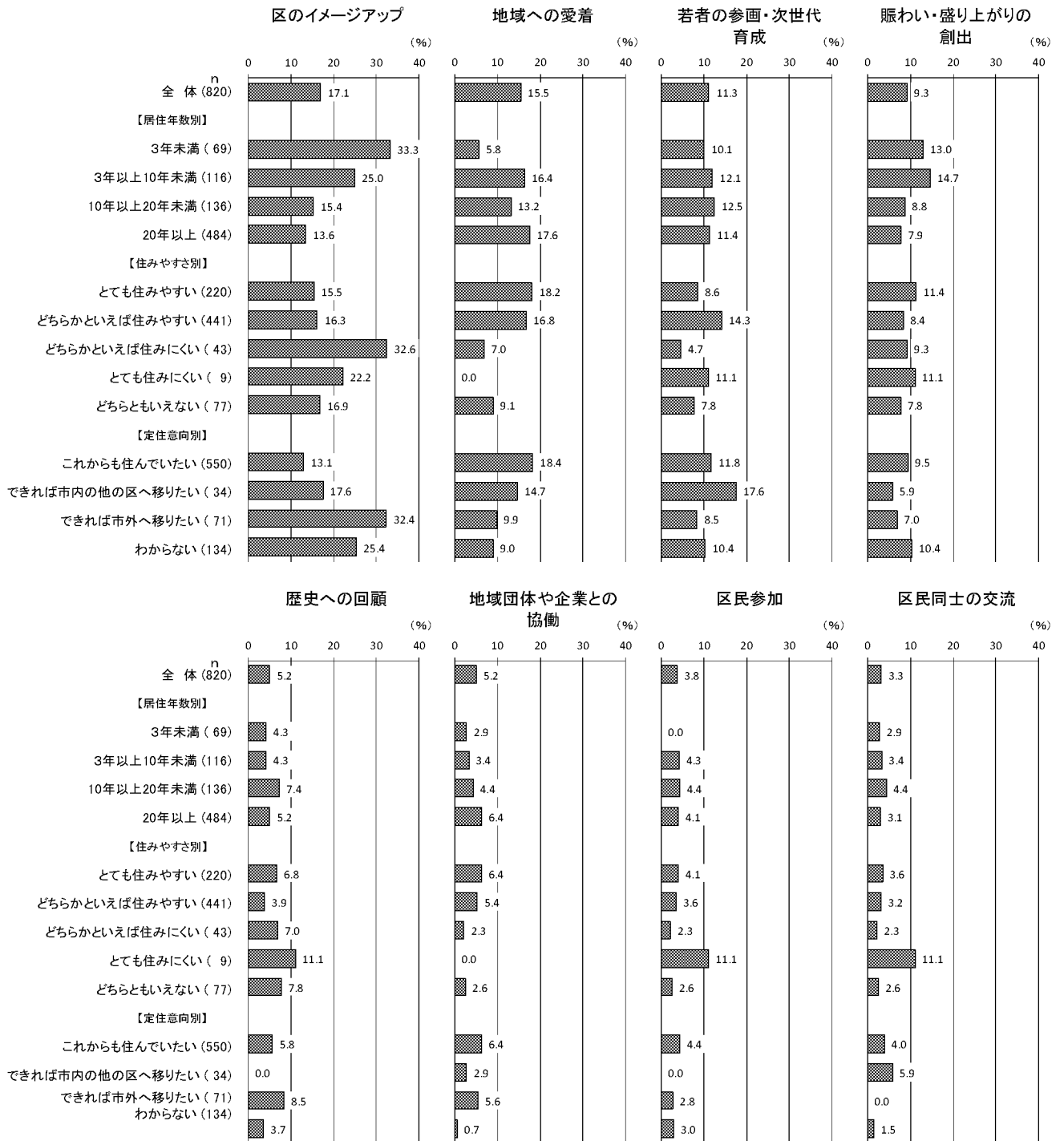


図5－1－3 区制50周年で重視すべき視点

<居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別>

(上位8項目)



(2)「区制50周年」で行う事業

問18 「区制50周年」にあたり、どのような事業を行うとよいと思いますか。
(あてはまるもの全てに○)

全 体 「大きなお祭り」(44.4%)が最も高く、次いで「音楽イベント」(28.3%)、「スポーツイベント」(18.5%)と続いている。(図5-2-1)

性 別 「大きなお祭り」では、「女性」(48.7%)が「男性」(40.1%)より8.6ポイント高くなっている。また「記念誌の作成」では、「男性」(13.9%)が「女性」(9.8%)より4.1ポイント高くなっている。(図5-2-2)

性年代別 「大きなお祭り」では、「女性」の方が「男性」より高い傾向が見られ、「女性20代以下」(68.6%)、「女性30代」(62.9%)で割合が高くなっている。一方、「記念誌の作成」では「男性50代」(18.5%)、「男性60代以上」(17.4%)で割合が高くなっている。(図5-2-2)

図5-2-1 「区制50周年」で行う事業

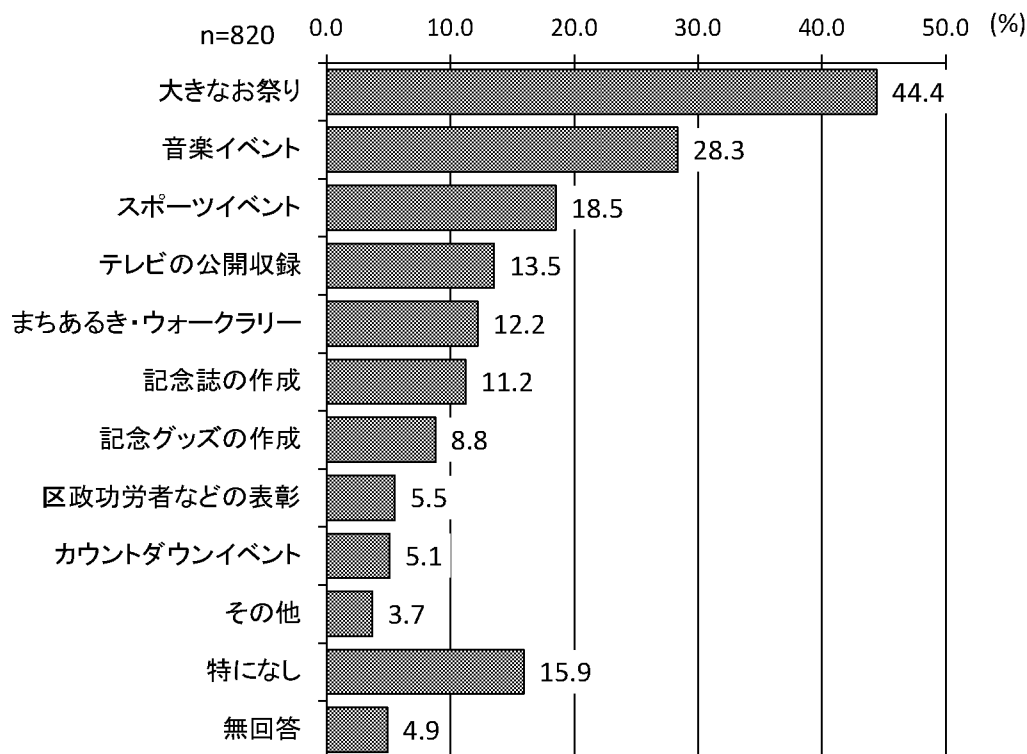
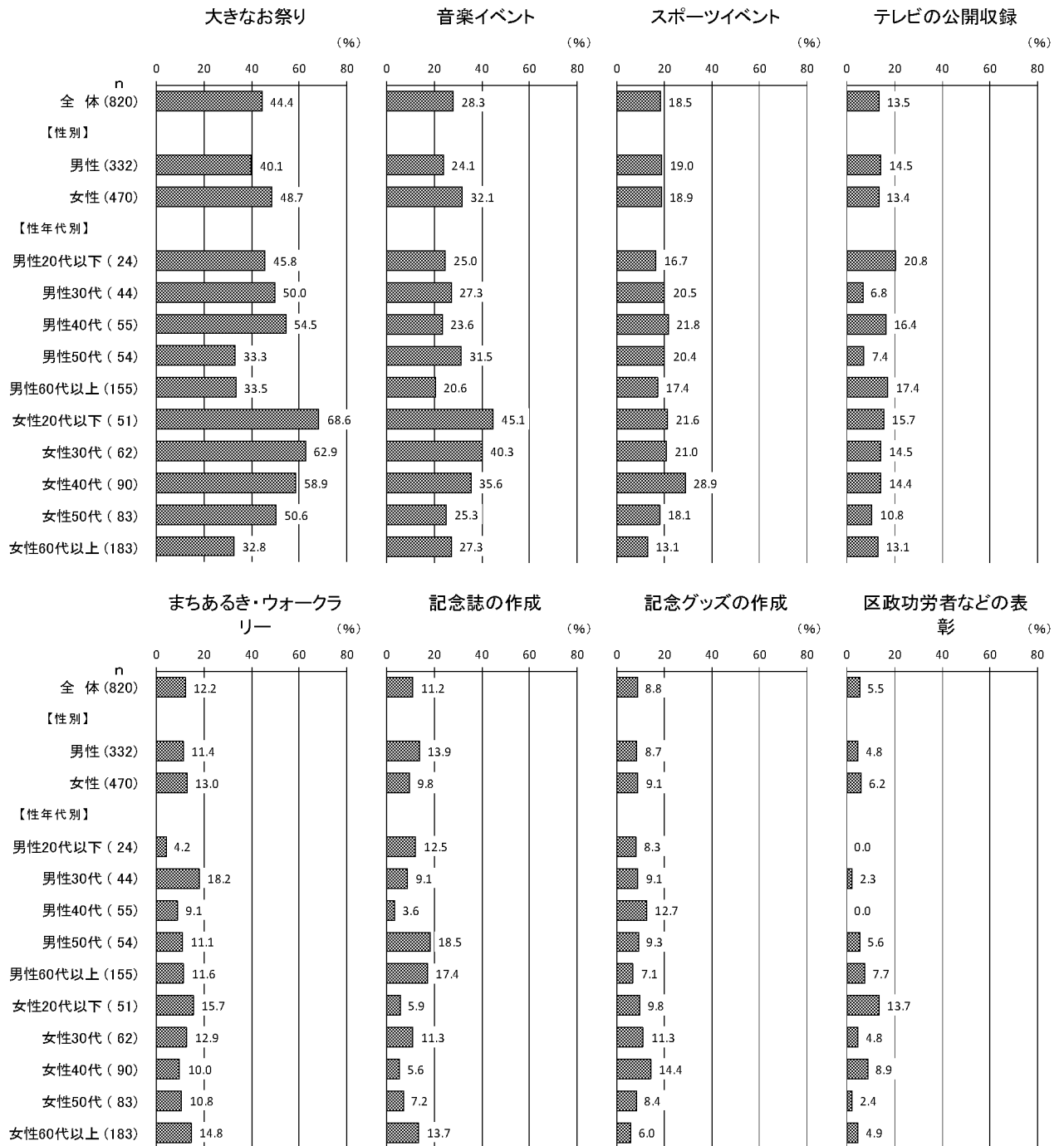


図5-2-2 「区制50周年」で行う事業 <性別・性年代別>

(上位8項目)



(3)「東海道川崎宿起立400年」の認知度

問19 平成35(2023)年に「東海道川崎宿起立400年」を迎えることを知っていますか。
(あてはまるもの1つに○)

全 体 「知らない」が84.9%、「知っている」が10.4%となっている。(図5-3-1)

性 別 「知っている」では、「男性」(12.3%)が「女性」(8.9%)より3.4ポイント高くなっている。(図5-3-2)

性年代別 「知っている」では、「男性60代以上」(16.8%)、「女性60代以上」(15.3%)で割合が高くなっている。(図5-3-2)

図5-3-1 「東海道川崎宿起立400年」の認知度

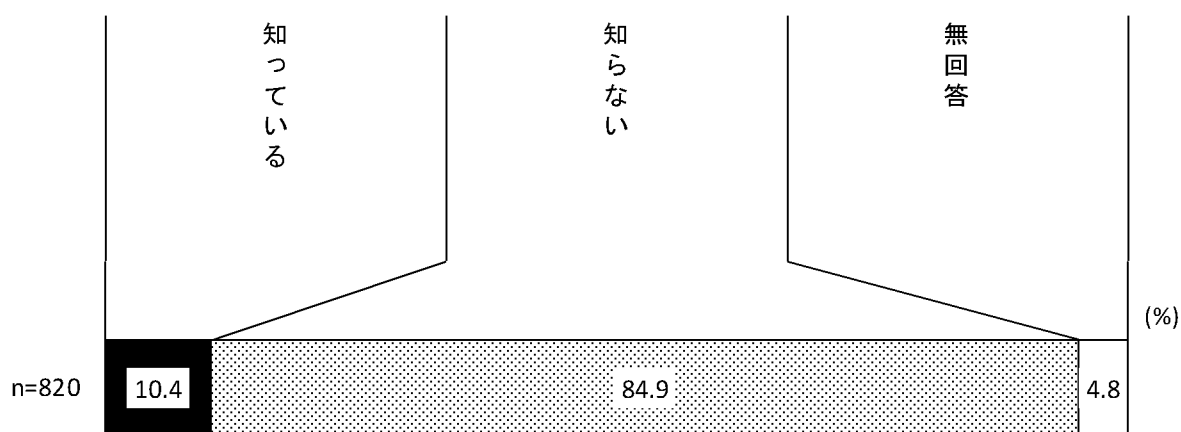
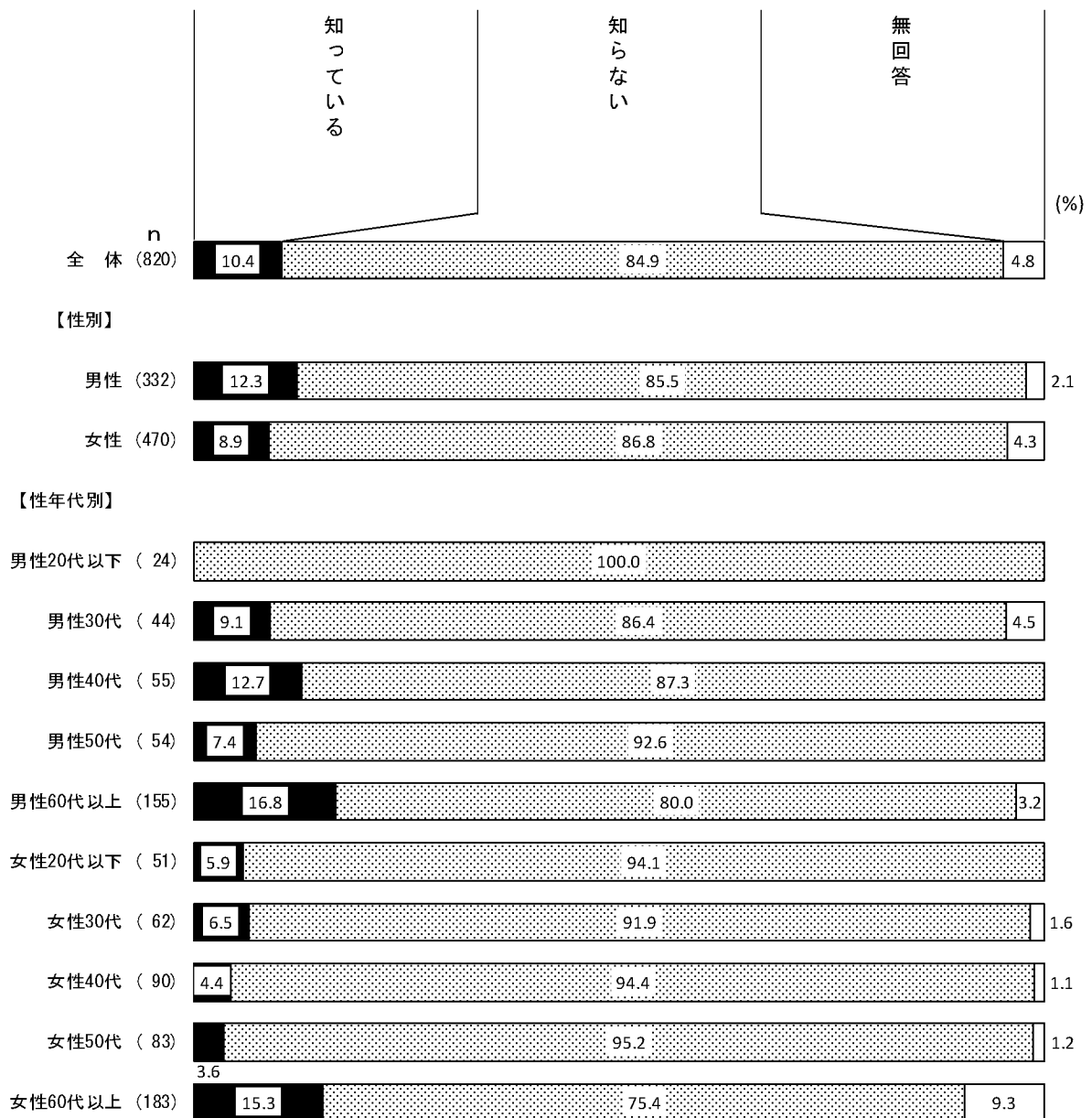


図5-3-2 「東海道川崎宿起立400年」の認知度 <性別・性年代別>



(4)「東海道川崎宿起立400年」で力を入れていく取組

問20 平成35(2023)年に「東海道川崎宿起立400年」にあたり、現在、次のような取組を進めているところですが、今後どのような取組に力を入れていくとよいと思いますか。
(あてはまるもの全てに○)

全 体 「東海道をテーマにした「お祭り」の実施」(35.1%)が最も高い。次いで、「東海道の歴史に関連した「解説看板」の設置」(31.6%)、「東海道沿道の景観(まちなみ)のルール作り」(27.3%)と続いている。(図5-4-1)

性 別 「東海道の歴史に関連した「解説看板」の設置」では、「男性」(36.1%)が「女性」(29.4%)より6.7ポイント高くなっている。一方、「三角おむすびレシピコンテスト」では、「女性」(14.3%)が「男性」(7.2%)より7.1ポイント高くなっている。(図5-4-2)

性年代別 「東海道かわさき宿交流館を活用した「東海道川崎宿」の情報発信」では、「男性60代以上」(37.4%)で割合が高くなっている。一方、「東海道をテーマにした「お祭り」の実施」では、「女性40代」(53.3%)、「女性20代以下」(52.9%)、「女性30代」(50.0%)で割合が高くなっている。(図5-4-2)

図5-4-1 「東海道川崎宿起立400年」で力を入れていく取組

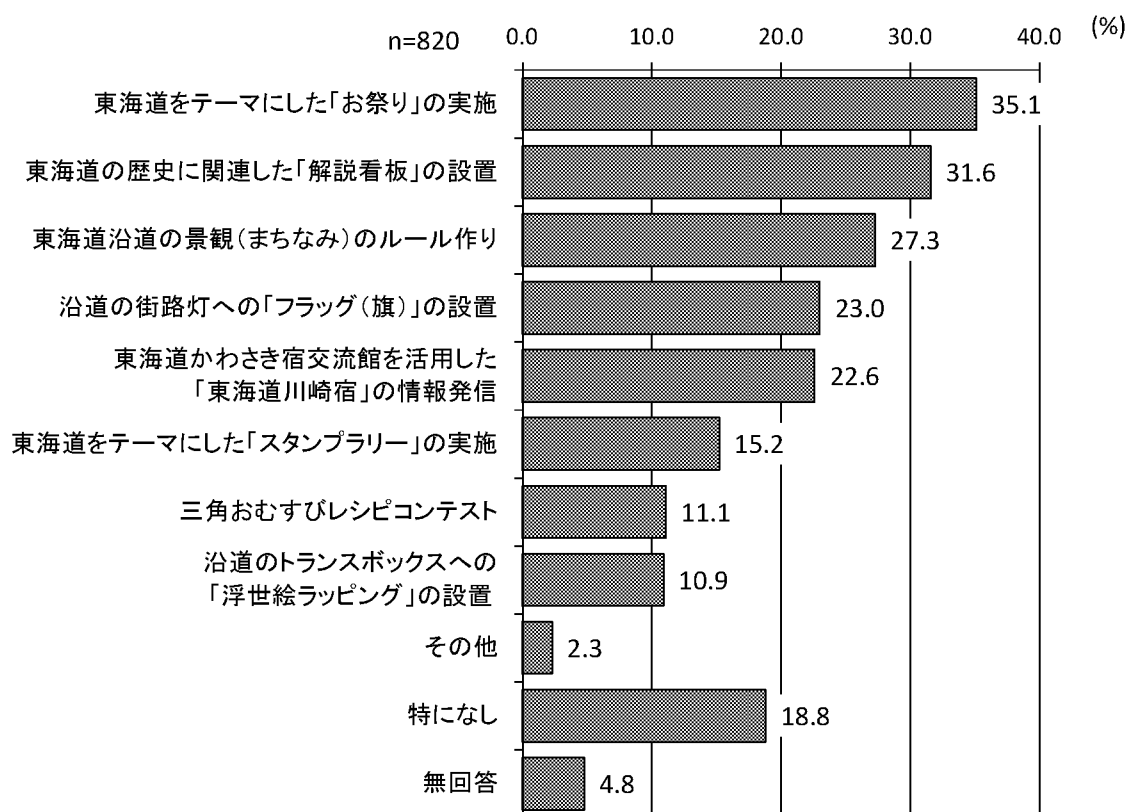
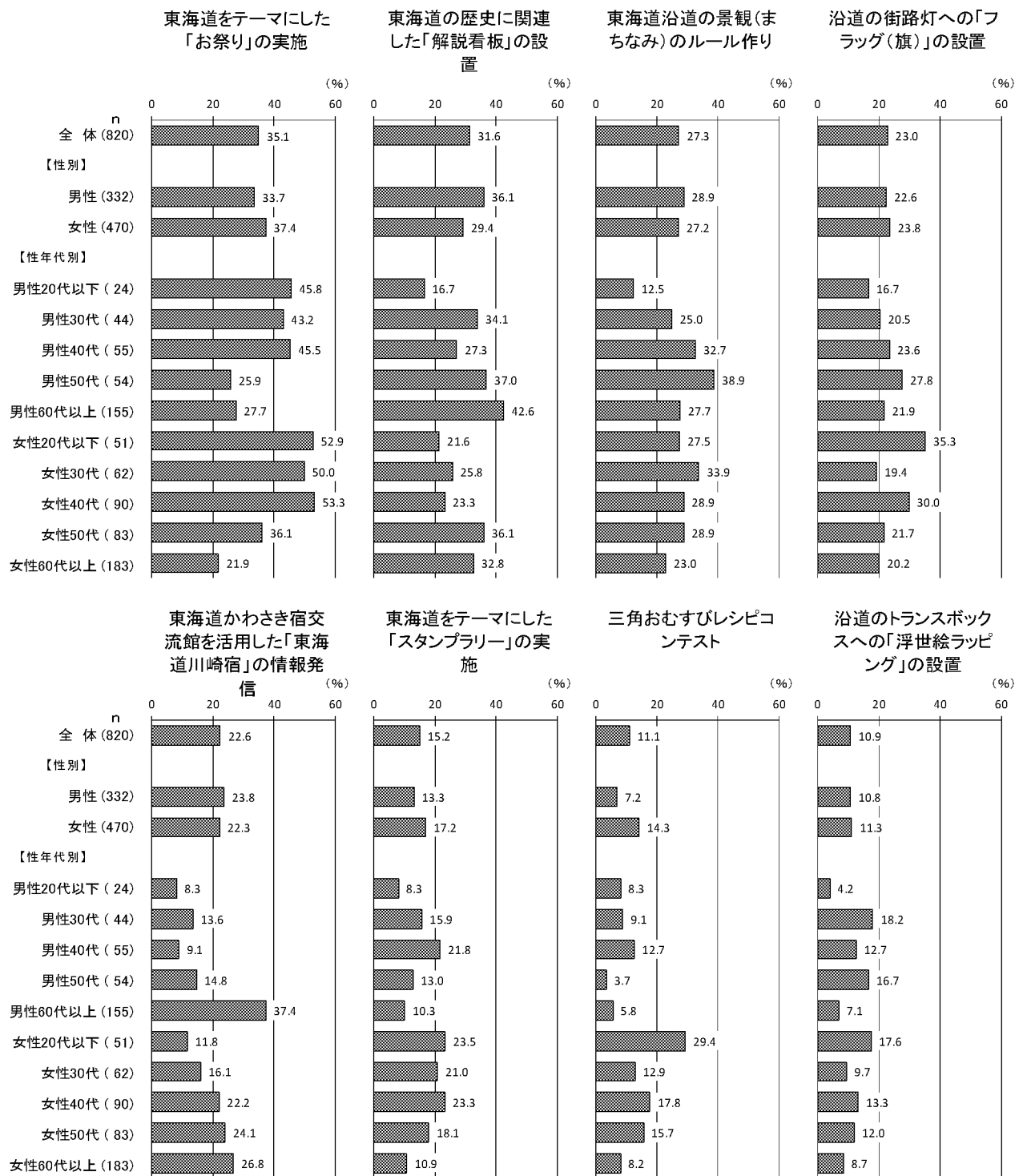


図5-4-2 「東海道川崎宿起立400年」で力を入れていく取組 ＜性別・性年代別＞





KAWASAKI CITY



かわさきく

平成29年度 川崎区区民アンケート

～ アンケート調査への御協力をお願い ～

～ アンケート調査票への記入にあたっての注意とお願い ～

この調査は、区内にお住まいの満18歳以上の方々2,000人を無作為に抽出して御協力をお願いしております。

お答えいただいた内容は、調査目的のための統計的な集計分析のみに使用いたしますので、お答えいただいた個人が特定されたり、個々の御意見が直接外部に公表されることはありません。

- 1 この調査は、無記名調査です。調査票や返信用封筒に氏名や住所は記入しないでください。
- 2 お答えは、あてはまる番号を「○」で囲んでください。
- 3 「その他」にあてはまる場合は()の中に、具体的な内容を記入してください。
- 4 調査票は、11月24日(金)までに同封の返信用封筒に入れて返信してください。

◇このアンケート調査の御不明点や御質問は下記までお問合せください。

川崎区役所まちづくり推進部企画課

電話:044-201-3267

メール:61kikaku@city.kawasaki.jp

1 川崎区の住みやすさについて

問1 川崎区の住みやすさをどのように思われますか。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 とても住みやすい | 2 どちらかといえば住みやすい |
| 3 どちらかといえば住みにくい | 4 とても住みにくい |
| 5 どちらともいえない | |

問2 川崎区に住み続けたいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|---------------|-------------------|
| 1 これからも住んでいたい | 2 できれば市内の他の区へ移りたい |
| 3 できれば市外へ移りたい | 4 わからない |

問3 次の表にあげる項目の、満足度を教えてください。

(①から⑲までの項目ごとに、あてはまるもの1つに○)

項 目	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満
① 治安や風紀	1	2	3	4	5
③ バス・電車などの交通の便	1	2	3	4	5
⑤ 交通安全対策	1	2	3	4	5
⑦ 放置自転車対策	1	2	3	4	5
⑨ スポーツや文化施設の充実	1	2	3	4	5
⑪ 青少年の健全育成	1	2	3	4	5
⑬ 病院や救急医療などの地域医療の状況	1	2	3	4	5
⑮ 障害者が安心して暮らすための環境	1	2	3	4	5
⑰ 緑や公園などの自然環境	1	2	3	4	5
⑲ 区役所職員の窓口サービス	1	2	3	4	5

2 川崎区役所の事業や広報について

問4 川崎区役所が行う事業で、今後、特に力を入れるべきだと思う事業を教えてください。
(あてはまるものに、5つまで○)

1 防災対策	2 防犯・防火対策	3 交通安全対策
4 放置自転車対策	5 高齢者福祉	6 障害者福祉
7 健康増進	8 環境美化、地域緑化	9 子育て支援
10 教育	11 生涯学習の推進	12 産業・商業の振興
13 地域コミュニティ活性化	14 観光振興	15 文化振興
16 スポーツ振興	17 外国人市民に関する事業	18 窓口サービスの向上
19 その他 ()	20 特になし	

問5 次の表にあげる「川崎市(区)役所の取組・発行物」や「区内の施設」などをご存じですか。
(①から⑱までの項目ごとに、あてはまるもの1つに○)

取組内容、施設名など	よく知っている (または、取組を実践して いる・行ったことがある)	聞いたことはある (または、詳しくは知らない ・行ったことがない)	全く知らない
① 川崎市総合計画	1	2	3
③ いきいきかわさき区提案事業	1	2	3
⑤ 洪水ハザードマップ	1	2	3
⑦ 区内の放置自転車禁止区域	1	2	3
⑨ 川崎駅周辺の自転車押し歩きエリア	1	2	3
⑪ 東海道かわさき宿交流館	1	2	3
⑬ 地域子育て支援センター	1	2	3
⑮ 川崎区区民会議	1	2	3
⑰ 区役所窓口の土曜開庁	1	2	3

問6 市役所・区役所からの行政情報をどのように入手していますか。(あてはまるもの全てに○)

1 市政だより	2 市(区)ホームページ	3 かわさき生活ガイド
4 広報テレビ番組(「LOVEかわさき」など)		
5 広報ラジオ番組(「かわさき for you」など)		
6 SNS(市や区の公式TwitterやFacebookのアカウント)	7 情報プラザ(第3庁舎2階)	
8 市政資料コーナー(区役所3階)	9 かわさきアプリ	
10 新聞	11 タウン情報誌	12 町内会の回覧板
13 広報掲示板や町内会掲示板のポスター・チラシ類	14 メルマガ(インターコムかわさきく)	
15 その他()	16 特に情報は入手してない	

問7 「市政だより川崎区版(月1回発行)」では、どのようなテーマを取り上げて欲しいですか。
(あてはまるものに、5つまで○)

1 防災情報	2 健康づくり情報	3 高齢者福祉情報
4 障害者福祉情報	5 子育て情報	6 イベント・講座開催情報
7 歴史・文化関係情報	8 スポーツ関係情報	9 教育・学校関係情報
10 地域サークル・団体情報	11 区の事業紹介	12 区役所窓口情報
13 区の魅力	14 その他()	15 特になし

3 防災における自助の取組について

問8 「自助の取組」として実践していることを教えてください。(あてはまるもの全てに○)

1 非常食・飲料水の備蓄(3日～6日分)	2 非常食・飲料水の備蓄(7日分以上)
3 家具等の転倒防止対策	4 非常持ち出し品の用意
5 自宅の耐震補強	6 感震ブレーカーの設置
7 家族との連絡手段の確認	8 家族との防災についての話し合い
9 自宅周辺の危険要素の把握(洪水発生時の浸水状況など)	
10 「かわさき防災アプリ」への登録	11 地域の防災訓練への参加
12 その他()	13 特になし

4 町内会・自治会活動、近所付き合い、地域包括ケアシステムなどについて

問9 町内会・自治会に加入していますか。(あてはまるもの1つに○)

1 加入している	⇒ 問12へ
2 加入していない	⇒ 問10、11へ

《問9で「1 加入していない」と回答した方にお伺いします。》

問10 町内会・自治会に加入していない理由を教えてください。(あてはまるもの全てに○)

1 加入するきっかけがない	2 加入の仕方が分からない
3 町内会・自治会の活動内容が分からない	4 町内会・自治会の活動に関心がない
5 役員などの役割が負担になる	6 町内会・自治会に加入するメリットがない
7 近所付き合いがわずらわしい	8 仕事、子育て、介護などで忙しい
9 その他()	

《問9で「1 加入していない」と回答した方にお伺いします。》

問11 町内会・自治会に加入していないことにより、災害時、介護や支援を要する状態になった際の不安を感じることはありますか。(あてはまるもの1つに○)

- 1 同居(または近くに住んでいる)の家族がいるので大丈夫
- 2 同居はしていない(または近くに住んでいない)が、離れたところの家族がいるので大丈夫
- 3 近隣との付き合いがあるので大丈夫
- 4 近隣ではないが、離れたところの知人がいるので大丈夫
- 5 自分でなんとかできるので大丈夫
- 6 不安は感じるが、それ以上に近所付き合いがわずらわしい
- 7 不安は感じるが、これまで加入していなかったので、今さら加入するのは気が引ける
- 8 不安を感じており、町内会に加入したいが、加入方法が分からない
- 9 その他()

問12 日頃の近所付き合いの程度について教えてください。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|--------------------|--------------------------|
| 1 家族のように親しく付き合っている | 2 互いに相談したり、日常生活で協力しあっている |
| 3 日常的に親しく話をする | 4 ときどき話をする程度 |
| 5 あいさつ程度 | 6 ほとんど付き合いがない |
| 7 その他() | |

問13 地域包括ケアシステムという言葉を知っていますか。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|----------------|---------------|
| 1 知っている ⇒ 問14へ | 2 知らない ⇒ 問15へ |
|----------------|---------------|

※川崎市の地域包括ケアシステム＝『高齢者をはじめ誰もが、住み慣れた地域や自らが望む場所で暮らし続けることができるよう、地域において「介護・リハビリテーション」「医療・看護」「保健・予防」「福祉・生活支援」などの必要なサービスが必要な方に提供されるための仕組み』

《問13で「1 知っている」と回答した方にお伺いします。》

問14 地域包括ケアシステムに関する具体的な行動をしていますか。(あてはまるもの1つに○)

- 1 「具体的に行動している」
- 2 何をしたらよいかは分かっているが、「具体的な行動はしていない」
- 3 何をしたらよいか分からないので、「具体的な行動はしていない」

問15 困り事があったときに、近所に相談できる人やちょっとした手助けを頼める人がいますか。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|------|-------|
| 1 いる | 2 いない |
|------|-------|

問16 あなたが介護や支援を要する状態になったとき、または家族が介護や支援を要する状態になったとき、誰に相談したいですか。(あてはまるものに、3つまで○)

- | | | |
|-----------------|---------------------|--------------|
| 1 家族 | 2 友人・知人 | 3 町内会 |
| 4 民生委員・児童委員 | 5 地域サークル・団体 | 6 地域包括支援センター |
| 7 ケアマネージャー・ヘルパー | 8 区役所(地域みまもり支援センター) | 9 相談したくない |
| 10 その他() | 11 特になし | |

5 「区制50周年」・「東海道川崎宿起立400年」について

問17 「区制50周年」にあたり、どのような視点を重視すべきだと考えますか。

(最も重視すべきだと思うもの1つに○)

- | | | |
|-----------|---------------|----------------|
| 1 地域への愛着 | 2 歴史への回顧 | 3 賑わい・盛り上がりの創出 |
| 4 区民参加 | 5 地域団体や企業との協働 | 6 若者の参画・次世代育成 |
| 7 区民同士の交流 | 8 市民活動の推進 | 9 区のイメージアップ |
| 10 その他 (|) | 11 特になし |

問18 「区制50周年」にあたり、どのような事業を行うとよいと思いますか。

(あてはまるもの全てに○)

- | | | |
|-----------------|--------------|---------------|
| 1 大きなお祭り | 2 音楽イベント | 3 スポーツイベント |
| 4 まちあるき・ウォークラリー | 5 記念誌の作成 | 6 記念グッズの作成 |
| 7 テレビの公開収録 | 8 区政功労者などの表彰 | 9 カウントダウンイベント |
| 10 その他 (|) | 11 特になし |

問19 平成35(2023)年に「東海道川崎宿起立400年」を迎えることを知っていますか。

(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|---------|--------|
| 1 知っている | 2 知らない |
|---------|--------|

問20 平成35(2023)年に「東海道川崎宿起立400年」にあたり、現在、次のような取組を進めているところですが、今後どのような取組に力を入れていくとよいと思いますか。

(あてはまるもの全てに○)

- | | |
|---------------------------------|---|
| 1 沿道の街路灯への「フラッグ(旗)」の設置 | |
| 2 沿道のトランスボックスへの「浮世絵ラッピング」の設置 | |
| 3 東海道の歴史に関連した「解説看板」の設置 | |
| 4 東海道をテーマにした「スタンプラリー」の実施 | |
| 5 東海道をテーマにした「お祭り」の実施 | |
| 6 東海道沿道の景観(まちなみ)のルール作り | |
| 7 東海道かわさき宿交流館を活用した「東海道川崎宿」の情報発信 | |
| 8 三角おむすびレシピコンテスト※ | |
| 9 その他 (|) |
| 10 特になし | |

※東海道川崎宿は、「三角おむすび発祥の地」と言われています。

最後に、あなた自身についてお伺いします (平成29年10月1日現在)

F1 性別 (あてはまるもの1つに○)

1 男性

2 女性

F2 年齢 (あてはまるもの1つに○)

1 20歳未満

2 20代

3 30代

4 40代

5 50代

6 60歳～64歳

7 65歳～74歳

8 75歳以上

F3 お住まい (あてはまるもの1つに○)

1 川崎区役所 管内

2 大師支所 管内

3 田島支所管内

※1 川崎区役所管内の町丁(50音順)

旭町、池田、砂子、駅前本町、榎町、大島、大島上町、小川町、小田(1丁目のみ)、貝塚、京町、境町、下並木、新川通、鈴木町、堤根、中島、日進町、東田町、富士見、堀之内町、本町、港町、南町、宮前町、宮本町、元木、渡田、渡田山王町、渡田新町、渡田東町、渡田向町

※2 大師支所管内の町丁(50音順)

池上新町、伊勢町、浮島町、江川、川中島、観音、小島町、塩浜、昭和、大師駅前、大師河原、大師公園、大師本町、大師町、台町、田町、千鳥町、出来野、殿町、中瀬、東扇島、東門前、日ノ出、藤崎、水江町、夜光、四谷上町、四谷下町

※3 田島支所管内の町丁(50音順)

浅田、浅野町、池上町、追分町、扇町、大川町、扇島、小田(1丁目を除く)、小田栄、鋼管通、桜本、白石町、田島町、田辺新田、浜町、南渡田町

F4 川崎区に、お住まいになって何年になりますか。 (あてはまるもの1つに○)

1 3年未満

2 3年以上10年未満

3 10年以上20年未満

4 20年以上

F5 職業をお伺いします。 (あてはまるもの1つに○)

1 会社員(公務員・団体職員含む)

2 自営業

3 パート・アルバイト

4 学生

5 無職

F6 世帯構成をお伺いします。 (あてはまるもの1つに○)

1 ひとり暮らし

2 夫婦のみ

3 二世帯

4 三世帯

5 その他()

F7 お勤め先、または通学先の所在地をお伺いします。 (あてはまるもの1つに○)

1 川崎区内

2 川崎市(川崎区以外)

3 神奈川県内(川崎市以外)

4 東京都内

5 その他

6 通勤・通学していない



平成29年度 川崎区区民アンケート ＜詳細版＞

平成30年2月

発行 川崎区役所まちづくり推進部企画課

〒210-8570 川崎市川崎区東田町8番地

TEL 044-201-3267（直通）

FAX 044-201-3209